

定期事業者検査報告書
(定期事業者検査開始時)

関原発第485号
2024年1月10日

原子力規制委員会 殿

大阪市北区中之島3丁目6番16号
関西電力株式会社
執行役社長 森 望

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の16第3項の規定により次のとおり定期事業者検査について報告します。

氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	名称 関西電力株式会社 住所 大阪市北区中之島3丁目6番16号 代表者の氏名 森 望
発電用原子炉を設置した工場又は事業所の名称及び所在地	名称 大飯発電所 所在地 福井県大飯郡おおい町大島
検査に係る発電用原子炉施設の種類及び施設番号	第3号機 電気出力 1,180,000kW 熱出力 3,423,000kW 当該発電用原子炉施設の種類は、別紙-1のとおり
検査の実績又は予定の概要	自(解列) 2024年 2月10日(予定) 原子炉起動 2024年 4月 5日(予定) 並列 2024年 4月 7日(予定) 至(総合負荷) 2024年 5月 2日(予定) 定期事業者検査の計画及び実績は、別紙-2のとおり

発電用原子炉施設の 種類及び施設番号	第3号機 原子炉本体
	" 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
	" 原子炉冷却系統施設
	" 計測制御系統施設
	" 放射性廃棄物の廃棄施設
	" 放射線管理施設
	" 原子炉格納施設
	" その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 補助ボイラー 浸水防護施設 緊急時対策所

定期事業者検査の計画及び実績

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
クラス1 機器供用期間中検査	—	○	—	
燃料集合体外観検査	—	○	—	
燃料集合体炉内配置検査	—	○	—	
原子炉停止余裕検査	—	—	○	
燃料取扱装置機能検査	—	○	—	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	—	○	—	
クラス2 機器供用期間中検査	—	○	—	
重大事故等クラス2 機器供用期間中検査	—	○	—	
蒸気発生器伝熱管体積検査	—	○	—	
加圧器安全弁機能検査	—	○	—	
加圧器安全弁漏えい検査	—	○	—	
加圧器安全弁分解検査	—	○	—	
加圧器逃がし弁機能検査	—	○	—	
加圧器逃がし弁漏えい検査	—	○	—	
加圧器逃がし弁分解検査	—	○	—	
加圧器逃がし弁元弁機能検査	—	○	—	
主蒸気安全弁機能検査	—	○	—	
主蒸気安全弁漏えい検査	—	○	—	
主蒸気逃がし弁機能検査	—	○	—	
主蒸気逃がし弁漏えい検査	—	○	—	
主蒸気隔離弁機能検査	—	○	—	
非常用炉心冷却系機能検査	—	○	—	
非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
非常用炉心冷却系主要弁分解検査	—	○	—	
その他原子炉注水系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
その他原子炉注水系主要弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
その他原子炉注水系機能検査	—	○	—	
原子炉補機冷却系機能検査	—	○	—	
補助給水系機能検査	—	○	—	
補助給水系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	—	○	—	
制御用空気圧縮系機能検査	—	○	—	
制御棒駆動系機能検査	—	○	—	
ほう酸ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
ほう酸ポンプ機能検査	/	/	/	今回計画なし

今回定期事業者検査計画及び実績 (○:計画、●:実績、—:計画・実績なし)

※1 : 先行実施検査 (前回の検査終了～解列前の期間)

※2 : 解列後～原子炉起動前の期間

※3 : 原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
安全保護系機能検査	—	○	—	
安全保護系設定値確認検査	—	○	○	
重大事故時安全停止回路機能検査	—	○	—	
プラント状態監視設備機能検査	—	○	—	
気体廃棄物処理系機能検査	—	—	○	
プロセスモニタ機能検査	—	○	—	
エリアモニタ機能検査	—	○	—	
中央制御室非常用循環系機能検査	—	○	—	
緊急時制御室非常用循環系機能検査	—	○	—	
中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	○	○	—	
緊急時制御室非常用循環系フィルター検査	●	○	—	2023. 7. 25 終了(※1分)
中央制御室の居住性確認検査	●	—	—	2023. 12. 15 終了
緊急時制御室の居住性確認検査	/	/	/	今回計画なし
緊急時対策所の居住性確認検査	●	—	—	2023. 7. 28 終了
原子炉格納容器全体漏えい率検査	/	/	/	今回計画なし
原子炉格納容器局部漏えい率検査	—	○	—	
原子炉格納容器隔離弁機能検査	—	○	—	
原子炉格納容器隔離弁分解検査	—	○	—	
原子炉格納容器安全系機能検査	—	○	—	
原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
圧力逃がし系機能検査	—	○	—	
原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	—	○	—	
アニュラス循環排気系機能検査	—	○	—	
アニュラス循環排気系フィルター性能検査	○	○	—	
非常用ディーゼル発電機分解検査	○	○	—	
非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)	—	○	—	
非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	—	○	—	
その他非常用発電装置の分解検査	/	/	/	今回計画なし
その他非常用発電装置の機能検査	—	○	—	
直流電源系機能検査	—	○	—	
直流電源系作動検査	—	○	—	
蒸気タービン開放検査	—	○	—	

今回定期事業者検査計画及び実績 (○:計画、●:実績、—:計画・実績なし)

※1: 先行実施検査 (前回の検査終了～解列前の期間)

※2: 解列後～原子炉起動前の期間

※3: 原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
蒸気タービン性能検査	—	○	○	
供用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	—	○	—	
供用期間中特別検査のうちクラス1機器 Ni 基合金使用部位特別検査	/	/	/	今回計画なし
総合負荷性能検査	—	—	○	
可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
タービンバイパス弁機能検査	—	○	—	
野外モニタ機能検査	●	—	—	2023. 12. 5 終了
液体廃棄物処理系機能検査	●	—	○	2023. 12. 15 終了(※1分)
固体廃棄物処理系焼却炉機能検査	●	—	—	2023. 8. 3 終了
流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置 及び警報装置機能検査	—	○	—	
充てんポンプ冷却材補給系機能検査	—	○	—	
化学体積制御系充てんポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
計測制御系機能検査	—	○	○	
計測制御系監視機能検査	●	○	○	2023. 9. 29 終了(※1分)
原子炉の停止制御回路健全性確認検査	—	○	—	
燃料取扱設備検査	—	○	—	
放射線監視装置機能検査	○	○	○	
1次系換気空調設備検査	●	○	—	2023. 12. 26 終了(※1分)
格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び 格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器 機能検査	—	○	—	
原子炉格納容器供用期間中検査	/	/	/	今回計画なし
炉物理検査	—	—	○	
1次系ポンプ機能検査	○	○	—	
1次系弁検査	—	○	—	
1次系安全弁検査	○	—	—	
1次系逆止弁検査	—	○	—	
1次系真空破壊弁検査	/	/	/	今回計画なし
1次冷却材ポンプメカニカルシール分解 検査	○	○	—	
1次系熱交換器検査	—	○	—	
1次冷却材ポンプ機能検査	—	○	○	
燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	○	○	—	
気体廃棄物処理系設備検査	/	/	/	今回計画なし

今回定期事業者検査計画及び実績 (○:計画、●:実績、—:計画・実績なし)

※1: 先行実施検査(前回の検査終了～解列前の期間)

※2: 解列後～原子炉起動前の期間

※3: 原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
液体廃棄物処理系設備検査	—	○	—	
耐震健全性検査	—	○	—	
構造健全性検査	—	○	—	
プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査				今回計画なし
核計装設備検査	—	○	○	
制御棒クラスタ動作検査	—	○	—	
制御棒クラスタ検査	—	○	—	
制御棒位置指示装置設定値検査	—	○	—	
炉内計装用シンプルチューブ体積検査				今回計画なし
インバータ機能検査	—	○	—	
総合インターロック検査	—	○	—	
レストレイント検査	—	○	—	
乾燥造粒装置・セメントガラス固化装置機能検査	—	—	○	
液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	●	○	—	2023. 5. 12 終了(※1分)
流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査（最終の流入サンプル）	—	○	—	
2次系ポンプ分解検査	○	—	—	
2次系ポンプ機能検査	—	○	—	
2次系弁検査	—	○	—	
2次系安全弁検査	—	○	—	
2次系容器検査	—	○	—	
2次系熱交換器検査	—	○	—	
2次系配管検査	—	○	○	
補助ボイラー開放検査				今回計画なし
補助ボイラー性能検査				今回計画なし
補助ボイラー設備検査	●	—	—	2023. 11. 20 終了
非常用予備発電機付属設備検査	○	○	—	
クラス3機器供用期間中検査	—	○	—	
蒸気タービン附属設備機能検査	—	—	○	
原子炉格納容器再循環サンプルスクリーン検査				今回計画なし
浸水防護設備検査				今回計画なし
その他非常用発電装置の付属設備検査	—	○	—	
可搬型重大事故等対処設備機能検査	●	○	—	2023. 12. 11 終了(※1分)

今回定期事業者検査計画及び実績（○：計画、●：実績、—：計画・実績なし）

※1：先行実施検査（前回の検査終了～解列前の期間）

※2：解列後～原子炉起動前の期間

※3：原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
可搬型代替電源設備検査	○	○	—	
火災防護設備検査				今回計画なし
可搬型換気空調設備検査	●	—	—	2023. 7. 19 終了
重大事故等クラス3 機器供用期間中検査	○	○	—	
供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査				今回計画なし
供用期間中特別検査のうちクラス1 配管特別検査	—	○	—	
重大事故等クラス1 機器供用期間中検査	—	○	—	

今回定期事業者検査計画及び実績 (○:計画、●:実績、—:計画・実績なし)

※1 : 先行実施検査 (前回の検査終了～解列前の期間)

※2 : 解列後～原子炉起動前の期間

※3 : 原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

添 付 書 類

- 添付書類一 定期事業者検査の計画
- 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について
定量的に定める施設管理の目標
- 添付書類三 施設管理の実施に関する計画
- 添付書類四 定期事業者検査の判定方法
- 添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容からの変更内容
- 添付書類六 保全の有効性評価の結果に関する説明書
- 添付書類七 特定重大事故等対処施設に関する説明書

添付書類一 定期事業者検査の計画

大 飯 発 電 所

第 3 号 機

第 2 0 回定期事業者検査計画書

目 次

- 1. 定期事業者検査の計画工程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 前回の定期事業者検査からの変更点・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

別紙：定期事業者検査工程

1. 定期事業者検査の計画工程

定期事業者検査（実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第55条第1項の時期に行う定期事業者検査）については、次の期間で実施する。

（1）定期事業者検査の工程

自 2024年 2月10日

至 2024年 5月 2日

（並列日は、2024年 4月 7日 （解列から並列までの期間は58日間））

（2）当該定期事業者検査中に実施する工事

なし

2. 前回の定期事業者検査からの変更点

（1）特定重大事故等対処施設、常用直流電源設備（3系統目）に係る検査項目を設定した。

（2）重大事故等クラス1機器供用期間中検査

- ・特定重大事故等対処施設の供用開始を受け、特定重大事故等対処施設に関連する検査を追加。

別紙

定期事業者検査工程

添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について
定量的に定める施設管理の目標

目 次

1. 保全活動管理指標	1
-------------	---

別紙：保全活動管理指標

1. 保全活動管理指標

保全の有効性を監視、評価するために、保全重要度を踏まえ、「プラントレベル」及び「系統レベル」の保全活動管理指標及びその目標値を別紙のとおり設定する。※

※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七にて掲載する。

別紙

保 全 活 動 管 理 指 標

保全活動管理指標

1. プラントレベル

項目	目標値
計画外自動・手動スクラム回数	< 1回 / 7000 臨界時間
計画外出力変動回数	< 2回 / 7000 臨界時間
工学的安全施設の計画外作動回数	< 1回

2. 系統レベル

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 (目標値)	非待機時間 (目標値)	
1次冷却材系統(蒸気発生器含む)	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能(PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能(MS-1)	<1回/サイクル	—	
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能(PS-2)	<1回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能(MS-2)	加圧器逃がし弁 <1回/サイクル 加圧器逃がし弁元弁、加圧器後備ヒータ <2回/サイクル	[加圧器逃がし弁、元弁、加圧器後備ヒータ※] <72時間/2サイクル/弁、ヒータ	※：逃がし弁駆動空気、ヒータ電源含む
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	—	
化学体積制御系統	未臨界維持機能(MS-1)	<1回/サイクル	[系統共通箇所以外] <240時間/2サイクル	
	プラント計測・制御機能(安全保護機能を除く)(PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
	原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能(MS-2)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	—	
余熱除去系統	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	—	
	炉心冷却機能(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA <240時間/2サイクル トレインB <240時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	—	
燃料取替用水系統	未臨界維持機能(MS-1) 炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	燃料取替用水ピット <1時間/2サイクル	
	燃料プール水の補給機能(MS-2)	<2回/サイクル	燃料取替用水ピット <1時間/2サイクル 燃料取替用水ピット以外 <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<1回/サイクル	—	
安全注入系統	炉心冷却機能(MS-1) 未臨界維持機能(MS-1)	<1回/サイクル	高压注入系、低压注入系 トレインA <240時間/2サイクル トレインB <240時間/2サイクル 蓄圧注入系※ <1時間/2サイクル/基	※：蓄圧注入系は未臨界維持機能を有しない。
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	トレインA <240時間/2サイクル トレインB <240時間/2サイクル	
	燃料プール水の補給機能(MS-2)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数（目標値）	非待機時間（目標値）	
格納容器システム	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	よう素除去薬品カク <72時間/2サイクル よう素除去薬品カク以外 トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
	アクシデントマネジメント対応機能 [代替再循環、格納容器内注水]	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
蒸気発生器ローダシステム	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
換気空調設備 (7-フェース空気 浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
換気空調設備 (排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
換気空調設備 (安全補機室 冷却系)	炉心冷却機能（間接関連系） (MS-2)	<2回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	当該換気空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・未臨界維持機能（間接関連系） (MS-2) ・原子炉停止後の除熱機能（間接関連系） (MS-2) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能（間接関連系） (MS-2)
換気空調設備 (中央制御室 空調系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1) 安全上特に重要な関連機能（直接関連系） (MS-1)	<1回/サイクル	トレインA<720時間/2サイクル トレインB<720時間/2サイクル トレイン共通箇所<240時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室 非常用循環 系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トレインA<720時間/2サイクル トレインB<720時間/2サイクル トレイン共通箇所<240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
換気空調設備 (電動補助給 水ポンプ室換 気系)	原子炉停止後の除熱機能（間接関連系） (MS-2)	<1回/サイクル	トレインA<221時間/2サイクル トレインB<212時間/2サイクル	
換気空調設備 (ディーゼル発 電機室換気 系)	安全上特に重要な関連機能（間接関連系） (MS-2)	<1回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能（間接関連系） (MS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
換気空調設備 (制御用空気 圧縮機室換気 系)	安全上特に重要な関連機能（間接関連系） (MS-2)	<2回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
換気空調設備 (安全補機開 閉器室空調 系)	安全上特に重要な関連機能（直接関連系） (MS-1)	<1回/サイクル	トレインA<720時間/2サイクル トレインB<720時間/2サイクル トレイン共通箇所<240時間/2サイクル	
主蒸気・給水 系統（主蒸気 管系統）	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	主蒸気安全弁 <6時間/2サイクル/弁 主蒸気逃がし弁 <168時間/2サイクル/弁 主蒸気隔離弁※ <8時間/2サイクル/弁	※：パイパス弁を含む
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/弁	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 (目標値)	非待機時間 (目標値)	
主蒸気・給水系統 (主給水管系統)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	主給水隔離弁 <72時間/2サイクル/弁	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	主給水制御弁※ <72時間/2サイクル/弁	※: パイプ制御弁を含む
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	復水ピット <168時間/2サイクル 復水ピット以外 補助給水系統 (電動) トレインA <220時間/2サイクル トレインB <211時間/2サイクル 補助給水系統 (タービン動) <144時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
主単線結線系統 (マタラ・パワセンタ)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<4時間/2サイクル/母線	
直流系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	[直流母線] <2時間/2サイクル/母線 [蓄電池] <240時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
特高開閉所設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
主変圧器設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
所内変圧器設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
予備変圧器設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線の保護機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (非常用所内電源系) (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
系統独立制御盤 (中央制御室外原子炉停止盤)	制御室外からの安全停止機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル/機能	
原子炉補機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トレインA <240時間/2サイクル トレインB <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数（目標値）	非待機時間（目標値）	
原子炉補機冷却海水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トレン A <240時間/2サイクル トレン B <240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能（間接関連系）(MS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）(MS-2)	<2回/サイクル	—	
空調用冷水設備系統	安全上特に重要な関連機能（直接関連系）(MS-1)	<1回/サイクル	トレン A <240時間/2サイクル トレン B <240時間/2サイクル	
	炉心冷却機能（間接関連系）(MS-2)	<2回/サイクル	トレン A <240時間/2サイクル トレン B <240時間/2サイクル	次の安全機能を兼ねる。 ・未臨界維持機能（間接関連系）(MS-2) ・原子炉停止後の除熱機能（間接関連系）(MS-2) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能（間接関連系）(MS-2)
1次系試料採取系統	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トレン A <240時間/2サイクル トレン B <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
ディーゼル発電機系統（冷却水系統）	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トレン A <240時間/2サイクル トレン B <240時間/2サイクル	
ディーゼル発電機系統（始動空気系統）	安全上特に重要な関連機能 (MS-1) 安全上特に重要な関連機能（吸気系）(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機系統（潤滑油系統）	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機系統（燃料油系統）	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
系統独立制御盤（原子炉安全保護計装盤）	原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	原子炉保護系論理回路 モート ¹ 1, 2 <6時間/2サイクル/トレン モート ³ 3, 4 (トリップ遮断器が閉じている場合) <48時間/2サイクル/トレン 原子炉保護系信号部 手動トリップ <48時間/2サイクル/チャンネル 自動トリップ <6時間/2サイクル/チャンネル インターロック <1時間/2サイクル/チャンネル	
	工学的安全施設への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	工学的安全施設等作動論理回路 <6時間/2サイクル/トレン 工学的安全施設等作動信号部 手動 <48時間/2サイクル/チャンネル 自動 <6時間/2サイクル/チャンネル インターロック <1時間/2サイクル/チャンネル ディーゼル発電機起動論理回路 <6時間/2サイクル/トレン 中央制御室非常用循環系作動論理回路 (手動起動回路含む) 論理回路 <720時間/2サイクル/トレン 手動起動 <720時間/2サイクル/チャンネル	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 (目標値)	非待機時間 (目標値)	
エリア・プロセスモニタ装置	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う設備機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
燃料取扱設備構築物	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
炉内構築物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1) 炉心形状の維持機能 (冷却材流路形成機能) (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスター案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
燃料集合体及び非核燃料炉心構成品	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1) 未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
原子炉格納容器	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (原子炉格納容器バウンダリ機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロック	
制御棒駆動装置 (機械系)	過剰反応度の印加防止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1) 未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
制御棒駆動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トリップ遮断器 モード1, 2 <1時間/2サイクル/トレイン モード3, 4 (トリップ遮断器が閉じている場合) <48時間/2サイクル/トレイン	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
原子炉周辺建屋	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (アニュラス部を構成する機能) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	火災防護機能 (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	溢水による損傷防止機能 (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
付属建屋	竜巻防止機能 (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
制御建屋	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
取水口・放水口設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	浸水防護機能 (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	津波監視機能 (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	火災防護機能 (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 (目標値)	非待機時間 (目標値)	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<678時間/2サイクル	
	1次系のフィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	高压注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	
	炉心注水をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	炉心注水 (非常用炉心冷却系) - 炉心注水 (蓄圧タンク) - 代替炉心注水 (B充てんポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注水 (A格納容器スプレイポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注水 (可搬式代替低圧注水ポンプ) <720時間/2サイクル 代替再循環 (A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS 連絡ライン使用)) <72時間/2サイクル 代替再循環 (B高压注入ポンプ (海水冷却)) <720時間/2サイクル	
	1次冷却系の減圧をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 (窒素ポンベまたは可搬式空気圧縮機 を使用した減圧) <240時間/2サイクル (可搬型バッテリーを使用した減圧) <720時間/2サイクル	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ - 代替原子炉格納容器スプレイ (恒設代替 低圧注水ポンプ) <720時間/2サイクル 代替原子炉格納容器スプレイ (可搬式代 替低圧注水ポンプ) <720時間/2サイクル	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 大容量ポンプによる原子炉格納容器内 自然対流冷却 <240時間/2サイクル	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水) をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	-	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出) をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	水素濃度低減 (静的触媒式水素再結合装置) <72時間/2サイクル 水素濃度低減 (原子炉格納容器水素燃焼装置) <72時間/2サイクル 水素濃度監視 <720時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	(アニユラス空気浄化系) <72時間/2サイクル (代替空気 (窒素) 系統) <240時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	海水から使用済燃料ピットへの注水 - 使用済燃料ピットへのスプレイ - 使用済燃料ピットの監視 - 軽油用ドラム缶による燃料補給設備 <48時間/2サイクル	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 (目標値)	非待機時間 (目標値)	
重大事故等対処設備	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	< 240時間/2サイクル	
	重大事故等の収束に必要なとなる水の供給設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	海水を用いた復水ピットへの補給 < 240時間/2サイクル 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 < 720時間/2サイクル 燃料取替用水ピット < 1時間/2サイクル 復水ピット < 72時間/2サイクル	
	電源設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	空冷式非常用発電装置、号機間電力融通ケーブル、電源車 < 720時間/2サイクル 蓄電池 — 可搬式整流器 < 240時間/2サイクル 代替所内電気設備 < 72時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンクまたは重油タンク、タンクローリー < 48時間/2サイクル	
	計装設備 (-)	< 2回/サイクル	記録以外 < 720時間/2サイクル 記録 —	
	中央制御室 (SA-2)	< 1回/サイクル	中央制御室非常用循環系 < 72時間/2サイクル 可搬型照明 (SA)、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 < 240時間/2サイクル	
	監視測定設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	—	
	緊急時対策所 (SA-2)	< 1回/サイクル	居住性 (緊急時対策所可搬型エリアモニタ) — 居住性 (緊急時対策所可搬型エリアモニタ以外) < 240時間/2サイクル	
	通信連絡を行うために必要な設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	< 240時間/2サイクル	
	その他の設備 (-)	< 2回/サイクル	< 240時間/2サイクル	

添付書類三 施設管理の実施に関する計画

目 次

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間・・・・・・・・ 1
2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期・・・・・・・・・・・・ 2
4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置・・・・ 2

別紙：点検計画（第20保全サイクル）

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

別表：長期施設管理方針実施状況総括表

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第20回定期事業者検査開始日から第21回定期事業者検査開始日の前日までの期間（第20回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間(※)）とし、以降、この期間を第20保全サイクルという。

ただし、この期間内に第21回定期事業者検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※:第20回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

(1) 工事の計画

a. 火災感知器設置工事：設計及び工事計画認可申請

○ 工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

○ 予定時期

2019年2月～2024年5月

b. 電線管耐火隔壁他設置工事：設計及び工事計画認可申請

○ 工事概要

火災防護対象ケーブルの系統分離対策を実施する。

○ 予定時期

2023年6月～2024年3月

c. 高感度型主蒸気管モニタ他取替工事：設計及び工事計画認可申請

○ 工事概要

放射線管理施設プロセスモニタリング設備のうち高感度型主蒸気管モニタについて、製造メーカーによる修理及び修繕対応が終了したことから、新たな高感度型主蒸気管モニタへの改造を実施する。

○ 予定時期

第20回定期事業者検査期間中

d. 加圧器安全弁取替工事：設計及び工事計画届出

○ 工事概要

安全弁（3V-RC-055）について、定期的な分解手入れにより弁座シート部の手入れ代が減少したことから、予防保全の観点より当該安全弁一式の取替えを実施する。

○ 予定時期

第20回定期事業者検査期間中

e. A直流電源装置盤取替工事

○ 工事概要

充電器および変圧器が経年劣化傾向にあるため、予防保全の観点からA充電器(変圧器、ドロップ盤含む)の取替えを実施する。

○ 予定時期

第20回定期事業者検査期間中

f. 2次系配管取替工事

○ 工事概要

減肉対策として、2次系配管を耐食性に優れた材料へ取替えを実施する。

○ 予定時期

第20回定期事業者検査期間中

3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「大飯発電所 保修業務所則(平成15大原保所則 第1号)」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「大飯発電所 土木建築業務所則(平成19大原土所則 第1号)」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・ 保全活動管理指標の監視結果
- ・ 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・ トラブルなど運転経験
- ・ 安全性向上評価
- ・ 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・ リスク情報、科学的知見

4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画

は、別図のとおりである。※

また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七にて記載する。

別紙

点 検 計 画
(第 2 0 保 全 サ イ ク ル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係る点検
- ・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{*1}の点検等）については、「大飯発電所 保守業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した

「保全指針」及び「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

〔潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス〕
〔レジューサ、フローグラス 等〕

（3）保全の重要度について

「グレード分け通達（平成18原品証通達第2号）」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定し、事後保全是選定していない。

（4）保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

（5）点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※²と表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・ これ以外で性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※²により

表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。

- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- ・機能・性能試験の結果等を踏まえて適宜実施する点検については、「X」により表記している。

※2：「B」、「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備は備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視技術のうち振動診断の頻度については、年度におけるデータ採取回数を「M」表示となるよう平均し記載している。

なお、第20保全サイクル中に点検を計画するものについては、「点検計画」に「○」※³を記載している。

また、「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）※⁴も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

目次※

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/52
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/52
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	4/52
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[原子炉補機冷却設備]	
[原子炉補機冷却毎水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
[蒸気タービンの附属設備]	
計測制御系統施設	20/52
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	23/52
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	27/52
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
[生体遮蔽装置]	
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子炉格納施設	35/52
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	41/52
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	41/52
[その他設備]	
蒸気タービン	42/52
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	47/52
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
[常用電源設備]	
[補助ボイラー]	
[火災防護設備]	
[浸水防護施設]	
[補機駆動用燃料設備]	
[非常用取水設備]	
土木建築設備	52/52
プラント総合	52/52
全般機器	52/52

- 別表－１：クラス１機器供用期間中検査１０年計画
別表－２：クラス２機器供用期間中検査１０年計画
別表－３：クラス３機器供用期間中検査１０年計画
別表－４：クラス１機器Ni 基合金使用部位特別検査１０年計画
別表－５：クラス２管（原子炉格納容器内）特別検査１０年計画
別表－６：原子炉格納容器供用期間中検査１０年計画
別表－７：重大事故等クラス１機器供用期間中検査１０年計画
別表－８：重大事故等クラス２機器供用期間中検査１０年計画
別表－９：重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画
別表－１０：クラス１配管特別検査４年計画

※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七に記載する。

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉本体 〔炉心〕	照射済燃料集集体	※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	19回	燃料集集体外観検査	※：炉心設計による
	照射済燃料集集体（取出燃料）	※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	19回		※：炉心設計による
	燃料集集体	193体	1. 外観点検 （炉内配置）	高	1F	○	19回	燃料集集体炉内配置検査	
	内挿物 ・制御棒クラスタ ・バーナブルポイズン ・シンプルプラグアセンブリ ・2次中性子源	※ 1式	1. 外観点検 （炉内配置）	高	1F	○	19回	燃料集集体炉内配置検査	※：炉心設計による
	原子炉本体のうち炉心		1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験	高	1F 1F	○ ○	19回 19回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後
原子炉本体 〔原子炉容器〕	原子炉容器		1. 開放点検	高	13M	○	19回		
	原子炉容器 （制御棒クラスタ案内管支持ピンおよび水位計支持管用支持ピン）	116箇所	1. 外観点検	高	3F	—	19回	構造健全性検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	燃料移送装置	1台	1. 機能・性能試験 （リフティング・フレイム）	高	1F	○	19回	燃料取扱装置機能検査	
			2. 機能・性能試験		1F	○	19回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
			3. 簡易点検 （潤滑油給油）		26M	○	18回		
	燃料取替クレーン	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	燃料取扱装置機能検査	
			2. 機能・性能試験		1F	○	19回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
			3. 簡易点検 （潤滑油給油）		26M	○	18回		
	使用済燃料ピットクレーン	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	燃料取扱装置機能検査	先行実施
			2. 機能・性能試験		1F	○	19回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
			3. 簡易点検 （潤滑油給油）		26M	○	18回		
	新燃料エレベータ	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	燃料取扱設備検査	先行実施
			2. 機能・性能試験		1F	○	19回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
			3. 簡易点検 （潤滑油給油）		26M	○	18回		
	補助建屋クレーン	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	燃料取扱設備検査	先行実施
			2. 機能・性能試験		1F	○	19回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
			3. 簡易点検 （点検手入れ）		1Y	○	19回		
新燃料取扱工具	1台	1. 外観点検	低	1F	○	19回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	年次点検 プラント運転中又は定期事業者検査停止中 先行実施	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	使用済燃料取扱工具	1台	1. 外観点検	低	1F	○	19回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	先行実施
	燃料仮置ラック	1台	1. 外観点検	高	1F	○	19回	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～156M	○	19回		有効性評価 No.1の反映
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵設備〕	使用済燃料ピット温度	3台	1. 特性試験	高	13M～26M	○	19回	計測制御系監視機能検査	有効性評価 No.24の反映
	使用済燃料ピット水位	1台	1. 特性試験	高	13M	○	19回	計測制御系監視機能検査	
	可搬式使用済燃料ピット水位	3台	1. 特性試験	高	13M	○	19回	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット温度（AM用）	2台	1. 特性試験	高	13M	○	19回	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット水位（AM用）	2台	1. 特性試験	高	13M	○	19回	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回		16回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回施設定検時に設置
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	使用済燃料ピット浄化冷却設備		1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含む)	高	1F	○	19回	使用済燃料ピット関係設備機能検査	
	A 使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	—	19回		(振動診断：1 2M) 先行実施
			2. 分解点検 (電動機)		78M	○	16回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	19回		
	B 使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	○	15回		(振動診断：1 2M) 先行実施
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	18回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	18回		
	送水車	3台	1. 機能・性能試験	高	15M	○	19回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置 先行実施
			2. 外観点検		1Y	○	19回		
	大容量ポンプ（放水砲用）	3台	1. 機能・性能試験	高	15M	○	19回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置 X*：10Y詳細点検の結果により 適宜実施 先行実施
			2. 分解点検		X*	—	—		
	A 使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	—	17回		先行実施
B 使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	—	16回		先行実施	
A 使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検	高	195M	—	9回	1次系熱交換器検査	先行実施	
		2. 非破壊試験		195M	—	9回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験		195M	—	9回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	B 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検	高	195M	—	16回	1次系熱交換器検査	先行実施		
		2. 非破壊試験		195M	—	16回	1次系熱交換器検査			
		3. 漏えい試験		195M	—	16回				
	C 使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検	高	130M	—	17回		先行実施	
			2. 漏えい試験		130M	—	17回			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回			
			2. 分解点検		104M～195M	○	19回	1次系弁検査		一部先行実施 有効性評価 No.2の反映
			3. 簡易点検 (グラントパッキン取替)		130M～195M	○	19回			有効性評価 No.2の反映
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高・低	78M	—	16回			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	○	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：1.2M)		
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	○	12回				
		3. 分解点検 (電動機)		52M	○	16回				
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	18回				
	B 燃料取替用水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：1.2M)	
			2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	18回			
			3. 分解点検 (電動機)		52M	○	16回			
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	18回			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	18回			
			2. 分解点検		130M～195M	○	18回	1次系弁検査		一部先行実施 有効性評価 No.3の反映
			3. 簡易点検 (グラントパッキン取替)		130M～195M	—	18回			有効性評価 No.3の反映
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	130M	—	16回			

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	1. 開放点検	高	13M	○	19回		
		2次側	1. 開放点検	高	13M	○	19回		
			2. 簡易点検 (スラッジランシング)		13M	○	19回		
			3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		26M	—	19回		
	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	19回			
	B 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	—	19回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	1. 開放点検	高	13M	○	19回		
		2次側	1. 開放点検	高	13M	○	19回		
			2. 簡易点検 (スラッジランシング)		13M	○	19回		
			3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		26M	—	19回		
	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	19回			
	C 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	1. 開放点検	高	13M	○	19回		
		2次側	1. 開放点検	高	13M	○	19回		
			2. 簡易点検 (スラッジランシング)		13M	○	19回		
		3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		26M	—	19回			
マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	19回				
D 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	—	19回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
	1次側	1. 開放点検	高	13M	○	19回			
	2次側	1. 開放点検	高	13M	○	19回			
		2. 簡易点検 (スラッジランシング)		13M	○	19回			
		3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		26M	—	19回			
マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	19回				
加圧器		1. 開放点検	高	13M	○	19回			

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	加圧器安全弁	3個 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	加圧器安全弁機能検査	
			2. 漏えい試験		B	○	19回	加圧器安全弁漏えい検査	
			3. 分解点検		13M	○	19回	加圧器安全弁分解検査	
	加圧器逃がし弁	3PCV-452A	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	19回	加圧器逃がし弁機能検査	
			2. 漏えい試験		1F	○	19回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
			3. 分解点検		26M	○	18回	加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部			高	26M	○	18回		
			2. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	19回		
	加圧器逃がし弁	3PCV-452B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	19回	加圧器逃がし弁機能検査	
			2. 漏えい試験		1F	○	19回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
			3. 分解点検		26M	—	19回	加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部			高	26M	—	19回		
			2. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	19回		
	加圧器逃がし弁前弁	2個 3V-RC-054A 3V-RC-054B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	19回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
			1. 分解点検		130M	—	13回		
			1. 分解点検		130M	—	14回		
加圧器逃がし弁前弁駆動部			高	78M	—	18回			
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M～78M	○	19回			
A 1 次冷却材ポンプ・電動機			1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
			2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	17回		
			3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	○	19回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
			4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M	—	15回		
			5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M	—	19回		
			6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M	—	15回		
			7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	19回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	18回		
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	○	19回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M	—	16回		
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M	○	16回		
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M	—	16回		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	18回		
	C 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	19回		
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	○	19回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M	—	17回		
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M	—	17回		
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M	—	17回		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	19回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	D 1次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後	
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	16回			
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	○	19回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査		一部先行実施
		4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M	—	18回			
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M	—	18回			
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M	—	18回			
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	18回			
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査		
		2. 分解点検	高	52M～130M	○	19回			
		3. 分解点検	低	78M～195M	○	19回	1次系弁検査	一部BMあり 有効性評価 No.4の反映	
		4. 簡易点検 (グラントパッキン取替)	高・低	39M～195M	○	19回		有効性評価 No.4の反映	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		26M～65M	○	19回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～65M	○	19回			
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～104M	○	19回			
		2. 分解点検他	低	13M～65M	○	19回			

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	主蒸気安全弁	20個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	主蒸気安全弁機能検査	
		B, D系 3V-MS-526B 3V-MS-527B 3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-526D 3V-MS-527D 3V-MS-528D 3V-MS-529D 3V-MS-530D	1. 漏えい試験	高	B	—	19回	主蒸気安全弁漏えい検査	
			2. 分解点検	高	26M	—	19回		
		A, C系 3V-MS-526A 3V-MS-527A 3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-526C 3V-MS-527C 3V-MS-528C 3V-MS-529C 3V-MS-530C	1. 漏えい試験	高	B	○	18回	主蒸気安全弁漏えい検査	
	2. 分解点検		高	26M	○	18回			
	主蒸気逃がし弁	4個	1. 機能・性能試験 （駆動部含む）	高	1F	○	19回	主蒸気逃がし弁機能検査	最終ヒートシンク熱輸送設備 作動検査は、16回施設設定検 から設定
		3PCV-3610 3PCV-3620 3PCV-3630 3PCV-3640	1. 漏えい試験	高	B	○	19回	主蒸気逃がし弁漏えい検査	
			2. 分解点検		13M	○	19回		
	主蒸気逃がし弁駆動部		1. 分解点検	高	52M	○	19回		
			2. 簡易点検 （特性点検）	高	13M	○	19回		
	主蒸気隔離弁	4個	1. 機能・性能試験 （駆動部含む）	高	1F	○	19回	主蒸気隔離弁機能検査	
		3V-MS-533A	1. 分解点検	高	39M	○	17回	2次系弁検査	
		3V-MS-533B	1. 分解点検	高	39M	—	18回	2次系弁検査	
		3V-MS-533C	1. 分解点検	高	39M	—	19回	2次系弁検査	
		3V-MS-533D	1. 分解点検	高	39M	—	18回	2次系弁検査	
	主蒸気隔離弁駆動部		1. 分解点検	高	39M	○	19回		
		2. 簡易点検 （特性点検）		13M	○	19回			
タービンバイパス弁	15個	1. 機能・性能試験 （駆動部含む）	高	1F	○	19回	タービンバイパス弁機能検査		
		2. 分解点検		26M	○	19回			
タービンバイパス弁駆動部		1. 分解点検	高	52M	○	19回			
		2. 簡易点検 （特性点検）	高	13M	○	19回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	1.機能・性能試験	高・低	B	○	17回	2次系弁検査	
		2.分解点検		26M～130M	○	19回	2次系弁検査	
		3.簡易点検 （グラントパッキン取替）		52M～130M	○	19回		
	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁駆動部	1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回	2次系弁検査	
		2.分解点検		26M～182M	○	19回		
		3.簡易点検 （特定点検）		13M～182M	○	19回		
	原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他機器	1.分解点検他	高	13M～104M	○	19回		
		2.分解点検他	低	13M～104M	○	19回		
	原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	A余熱除去ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B*	—	19回	1次系ポンプ機能検査
2.分解点検 （ポンプ）			78M		—	19回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
3.分解点検 （電動機）			130M		—	16回		
4.簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）			26M		—	19回		
5.簡易点検 （潤滑油入替） （電動機）			26M		○	18回		
B余熱除去ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （振動診断：1F） その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定
		2.分解点検 （ポンプ）		78M	—	15回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		3.分解点検 （電動機）		130M	—	14回		
		4.簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M	○	18回		
		5.簡易点検 （潤滑油入替） （電動機）		26M	—	19回		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	低圧注入系主要弁	3V-RH-050A	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-RH-050B	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-RH-050C	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-RH-050D	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-RH-051A	1. 分解点検	高	130M	○	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-RH-051B	1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
	A 余熱除去冷却器		1. 開放点検	高	130M	—	18回	1 次系熱交換器検査	
			2. 非破壊試験		130M	—	18回	1 次系熱交換器検査	
			3. 漏えい試験		130M	—	18回		
	B 余熱除去冷却器		1. 開放点検	高	130M	—	19回	1 次系熱交換器検査	
			2. 非破壊試験		130M	—	19回	1 次系熱交換器検査	
			3. 漏えい試験		130M	—	19回		
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1 次系弁検査 1 次系安全弁検査		
		2. 分解点検	高	52M～130M	○	19回	1 次系弁検査		
		3. 分解点検	低	130M～195M	○	19回		一部BMあり 有効性評価 No.5の反映	
		4. 簡易点検 (グラントパッキン取替)	高・低	65M～195M	○	19回		有効性評価 No.5の反映	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	18回	1 次系弁検査		
		2. 分解点検		52M～182M	○	18回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	19回			
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	19回			
		2. 分解点検他	低	65M～130M	—	17回			
その他AM(代替再循環) 機器	1式	1. 分解点検他	高	130M～182M	○	19回	1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術			
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧及び低圧注入系 (余熱除去設備（低圧注入機能）を含む)	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	19回	非常用炉心冷却系機能検査				
	その他原子炉注水系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	その他原子炉注水系機能検査	[対象設備] ・A, B低圧注入系 ・A, B高圧注入系 ・B高圧注入系(電動機海水冷却) ・A, B, C充てん系 ・B充てん系(電動機自己冷却) 16回施設定検から設定			
A 高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1F) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定			
				91M	—	19回					
				130M	—	12回					
				26M	○	18回					
	2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	—		13回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1F) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定
						91M	—		19回		
						130M	—		13回		
						26M	—		19回		
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	高	130M		—	13回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1F) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定		
				91M		—	19回				
				130M		—	13回				
				26M		—	19回				
4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		(振動診断：1F) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定	
					91M	—	19回				
					130M	—	13回				
					26M	—	19回				
B 高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (ポンプ)	高		130M	—	13回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1F) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定		
					91M	—	19回				
					130M	—	13回				
					26M	—	19回				
2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)	2. 分解点検 (電動機)		高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		(振動診断：1F) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定	
					91M	—	19回				
					130M	—	13回				
					26M	—	19回				
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	高		130M	—	13回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1F) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定		
					91M	—	19回				
					130M	—	13回				
					26M	—	19回				
4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		(振動診断：1F) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定	
					91M	—	19回				
					130M	—	13回				
					26M	—	19回				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術				
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	恒設代替低圧注水系		1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	19回	その他原子炉注水系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	16回施設定検時に設置			
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1台	1. 機能・性能試験 漏えい試験	高	1F	○	19回		16回施設定検時に設置			
			2. 分解点検 (ポンプ)		130M					—	—	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査
			3. 分解点検 (電動機)		130M					—	—	
	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	3台	1. 機能・性能試験	高	15M	○	19回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置 先行実施			
			2. 機能・性能試験		10F			○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	10F分解点検に合わせて実施	
			3. 分解点検 (ポンプ)		10F			○	—		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置	
			4. 分解点検 (電動機)		130M			—	—		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置	
	高圧注入系主要弁	3V-SI-082A	1. 分解点検	高	260M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査				
		3V-SI-082B	1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査				
		3V-SI-082C	1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査				
		3V-SI-082D	1. 分解点検	高	260M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査				
		3V-SI-072A	1. 分解点検	高	260M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定			
		3V-SI-072B	1. 分解点検	高	260M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定			
3V-SI-072C		1. 分解点検	高	260M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定				
3V-SI-072D		1. 分解点検	高	260M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定				
3V-SI-079A		1. 分解点検	高	260M	○	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
3V-SI-079B		1. 分解点検	高	260M	○	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査					
3V-SI-079C	1. 分解点検	高	260M	○	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査						
3V-SI-079D	1. 分解点検	高	260M	○	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査						

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系	1. 機能・性能試験 （弁、弁駆動部を含む）	高	1F	○	19回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	その他原子炉注水系機能検査 は、16回施設定検から設定	
	蓄圧注入系主要弁	3V-SI-132A	1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-132B	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-132C	1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-132D	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-134A	1. 分解点検	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-134B	1. 分解点検	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-134C	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-134D	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-136A	1. 分解点検	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-136B	1. 分解点検	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-136C	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-SI-136D	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系主要弁駆動部	1. 分解点検	高	182M	—	16回			
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	19回			
	A 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	14回			
	B 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	16回			
	C 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	16回			
	D 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	18回			
	燃料取替用水ピット	1. 外観点検	高	1F	○	19回			
	A、B格納容器再循環サンプ	1. 外観点検	高	1F	○	19回			
	A、B格納容器再循環サンプスクリーン	1. 外観点検	高	1F	○	19回		15回施設定検時に設置	
		2. 外観点検		10Y	—	18回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査		
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2. 分解点検	高	78M~260M	○	19回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
			3. 分解点検	低	78M~260M	○	19回		一部BMあり
4. 簡易点検 (グラントパッキン取替)			高・低	78M~130M	○	19回			
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	18回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		65M~182M	○	18回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	19回			
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~91M	○	19回			
		2. 分解点検他	低	13M~130M	○	19回			
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	充てんポンプ	3台	高	1F	○	19回	充てんポンプ冷却材補給系機能検査		
	A 充てんポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	18回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 化学体積制御系充てんポンプ分解検査	(振動診断：1 2M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定
			2. 分解点検 (電動機)		130M	—	16回		
			3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		26M	○	18回		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	18回		
			5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		13M	○	19回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	B 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	17回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 化学体積制御系充てんポンプ分解検査	(振動診断：1 2M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定	
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	16回			
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		26M	—	19回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	19回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		13M	○	19回			
	C 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	65M	—	19回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査	その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定 (電動機 振動診断：1 F)	
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	13回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	18回			
	その他原子炉注水系主要弁	3V-CS-155	1. 分解点検	高	130M	—	16回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-CS-157	1. 分解点検	高	130M	—	12回		
		3V-CS-164	1. 分解点検	高	130M	—	12回		
		3V-CS-166	1. 分解点検	高	130M	—	15回		
	体積制御タンク	1. 開放点検	高	130M	○	10回			
	冷却材フィルタ	1. 開放点検	高	130M	—	19回			
	A 冷却材脱塩塔入口フィルタ	1. 開放点検	高	130M	—	15回		先行実施	
B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	1. 開放点検	高	130M	—	14回		先行実施		
A 封水注入フィルタ	1. 開放点検	高	130M	—	17回				
B 封水注入フィルタ	1. 開放点検	高	130M	—	16回				
非再生冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	19回	1次系熱交換器検査			
	2. 非破壊試験		130M	—	19回	1次系熱交換器検査			
	3. 漏えい試験		130M	—	19回				
封水冷却器	1. 開放点検	高	130M	○	12回	1次系熱交換器検査			
	2. 非破壊試験		130M	○	12回	1次系熱交換器検査			
	3. 漏えい試験		130M	○	12回				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術		
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	余剰抽出水冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	18回				
		2. 非破壊試験		130M	—	18回				
		3. 漏えい試験		130M	—	18回				
	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
			2. 分解点検		高	13M～260M	○	19回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
			3. 分解点検		低	78M～260M	○	19回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり
			4. 簡易点検 （グラウンドパッキン取替）		高・低	65M～195M	○	19回		有効性評価 No.6の反映
	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査		
			2. 分解点検			52M～182M	○	19回		
			3. 簡易点検 （特性状点検）			13M～182M	○	19回		
	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	19回			
2. 分解点検他			低	13M～130M	○	19回		一部BMあり		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	原子炉補機冷却系（冷却水系）		高	1F	○	19回	原子炉補機冷却系機能検査			
	A 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B*	○	17回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （振動診断：1.2M）	
			2. 分解点検 （ポンプ）		52M	○	17回			
			3. 分解点検 （電動機）		130M	—	15回			
			4. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M	○	19回			
			5. 簡易点検 （潤滑油入替） （電動機）		52M	—	18回			
	B 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B*	○	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （振動診断：1.2M）	
			2. 分解点検 （ポンプ）		52M	○	16回			
			3. 分解点検 （電動機）		130M	—	16回			
			4. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M	○	18回			
			5. 簡易点検 （潤滑油入替） （電動機）		52M	—	17回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却設備]	C 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	19回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：1 2 M)
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	19回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	14回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	19回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		52M	—	17回		
D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B*	—	18回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：1 2 M)
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	18回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	16回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	18回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		52M	—	17回		
大容量ポンプ	3台	1. 機能・性能試験	高	15M	○	19回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置 先行実施 X*：10Y詳細点検の結果により適宜実施
		2. 分解点検		X*	—	—		
格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回施設定検時に設置
原子炉補機冷却水サージタンク		1. 開放点検	高	130M	—	18回		
原子炉補機冷却水サージタンク真空逃がし弁		1. 分解点検	高	130M	—	18回	1次系真空破壊弁検査	先行実施
A 原子炉補機冷却水冷却器		1. 開放点検	高	13M	○	19回		
		2. 非破壊試験		13M	○	19回	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		13M	○	19回		
B 原子炉補機冷却水冷却器		1. 開放点検	高	26M	—	19回		有効性評価 No.7の反映
		2. 非破壊試験		26M	—	19回	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		26M	—	19回		有効性評価 No.7の反映

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
		2. 分解点検		130M	○	19回	1次系弁検査		
		3. 簡易点検 （グラントパッキン取替）		130M～195M	○	19回			
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	17回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		65M～182M	○	19回			
		3. 簡易点検 （特性点検）		13M～182M	○	19回			
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	19回			
		2. 分解点検他	低	13M～65M	○	19回			
	その他AM(代替補機冷却、格納容器自然対流冷却) 機器	1式	1. 分解点検他	高	195M	○	19回		有効性評価 No.8の反映
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却系(海水系)		高	1F	○	19回	原子炉補機冷却系機能検査	
		A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	19回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施
			2. 分解点検 （ポンプ）		52M	—	19回	2次系ポンプ分解検査	
3. 分解点検 （電動機）			104M		—	16回			
4. 簡易点検 （グラントパッキン取替） （ポンプ）			13M		○	19回			
B 海水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B*	○	18回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施	
		2. 分解点検 （ポンプ）		52M	○	18回	2次系ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 （電動機）		104M	—	16回			
		4. 簡易点検 （グラントパッキン取替） （ポンプ）		13M	○	19回			
C 海水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B*	—	17回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施	
		2. 分解点検 （ポンプ）		52M	—	17回	2次系ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 （電動機）		104M	—	17回			
		4. 簡易点検 （グラントパッキン取替） （ポンプ）		13M	○	19回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回		
			2.分解点検		13M～65M	○	19回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	—	17回	2次系弁検査	
			2.分解点検		78M	—	17回		
原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他機器	1式	3.簡易点検（特性点検）		13M	○	19回			
		1.分解点検他	高	13M～104M	○	19回			
		2.分解点検他	低	13M～52M	○	19回		一部BMあり	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	伝送器 2個	1.特性試験	低	13M～26M	○	19回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	有効性評価 No.25の反映
		設定器 5個	2.機能・性能試験	低	2F	—	19回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	有効性評価 No.26の反映
	炉内計装用シンプル配管室ドレンピット漏えい検出装置	検出器 2個	1.機能・性能試験	高	1F	○	19回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	16回施設定検時に改造
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕	補助給水系		1.機能・性能試験（ポンプ、電動機、原動機、弁、弁駆動部等含む）	高	1F	○	19回	補助給水系機能検査	
	A 電動補助給水ポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	130M	—	18回	補助給水系ポンプ分解検査	（振動診断：1F） 有効性評価 No.9の反映
			2.分解点検（電動機）		130M	—	16回		
			3.簡易点検（潤滑油入替他（ポンプ））		26M	○	18回		
			4.簡易点検（潤滑油入替他（電動機））		26M	○	18回		
	B 電動補助給水ポンプ・電動機		1.分解点検（ポンプ）	高	130M	—	19回	補助給水系ポンプ分解検査	（振動診断：1F） 有効性評価 No.9の反映
			2.分解点検（電動機）		130M	—	18回		
			3.簡易点検（潤滑油入替他（ポンプ））		26M	—	19回		
			4.簡易点検（潤滑油入替他（電動機））		26M	○	18回		
	タービン動補助給水ポンプ・タービン		1.機能・性能試験（タービン）	高	B	—	16回	2次系ポンプ機能検査	（振動診断：1F）
2.分解点検				52M	—	19回	補助給水系ポンプ分解検査		
3.簡易点検（ストレーナ清掃）				26M	—	19回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	3 復水ピット	1. 外観点検	高	1F	○	19回		
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	○	19回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		78M～260M	○	19回	2次系弁検査	
		3. 簡易点検 (グラントパッキン取替)		130M	○	19回		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	19回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		78M～182M	○	19回		
		3. 簡易点検 (特特点検)		13M～182M	○	19回		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	19回		
計測制御系統施設 [制御材]	制御棒クラスタ	※ 1式	高	1F	○	19回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
	バーナブルボイズン	※ 1式	高	1F	○	19回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
	2次中性子源	※ 1式	高	1F	○	19回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
	シンプルプラグアセンブリ	※ 1式	高	1F	○	19回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]	制御棒クラスタ	53本	高	1. 機能・性能試験	○	19回	制御棒駆動系機能検査	
				2. 機能・性能試験	○	19回	制御棒クラスタ動作検査	
	A 制御棒駆動装置MGセット	高	1. 分解点検	○	16回		(振動診断：1 2M)	
			2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	○	19回			
	B 制御棒駆動装置MGセット	高	1. 分解点検	—	19回		(振動診断：1 2M)	
			2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	○	19回			
計測制御系統施設 [制御棒駆動装置] その他機器	1式	1. 分解点検他	高・低	13M～39M	○	19回		
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	A ほう酸ポンプ・電動機	高	1. 機能・性能試験	B*	—	18回	ほう酸ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：1 F)
			2. 分解点検 (ポンプ)	78M	—	16回	ほう酸ポンプ分解検査	
			3. 分解点検 (電動機)	52M	—	18回		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	26M	○	18回		
	B ほう酸ポンプ・電動機	高	1. 機能・性能試験	B*	—	17回	ほう酸ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：1 F)
			2. 分解点検 (ポンプ)	78M	—	17回	ほう酸ポンプ分解検査	
			3. 分解点検 (電動機)	52M	—	17回		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	26M	—	19回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	3 4 A 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	1 次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	14回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	19回		
3 4 B 1 次系補給水ポンプ・電動機	3 4 B 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	1 次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	14回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	18回		
A ほう酸タンク		1. 開放点検	高	130M	—	17回		
A ほう酸タンク真空逃がし弁		1. 分解点検	高	130M	—	14回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
B ほう酸タンク		1. 開放点検	高	130M	—	16回		
B ほう酸タンク真空逃がし弁		1. 分解点検	高	130M	—	16回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
3 4 A 1 次系純水タンク		1. 開放点検	高	130M	—	13回		先行実施
3 4 A 1 次系純水タンクバキュームリリーフ弁		1. 分解検査	高	130M	—	13回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
3 4 A 1 次系純水タンクアトモス弁		1. 分解検査	高	130M	—	13回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
3 4 B 1 次系純水タンク		1. 開放点検	高	130M	—	19回		先行実施
3 4 B 1 次系純水タンクバキュームリリーフ弁		1. 分解検査	高	130M	—	19回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
3 4 B 1 次系純水タンクアトモス弁		1. 分解検査	高	130M	—	19回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
ほう酸フィルタ		1. 開放点検	高	130M	—	16回		
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回		
		2. 分解点検		130M	○	19回		
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の作動信号]	A TWS 緩和設備	1. 特性試験	高	13M	○	19回	重大事故時安全停止回路機能検査	16回施設定検時に設置
		2. 機能・性能試験		1F	○	19回	重大事故時安全停止回路機能検査	
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	制御用空気圧縮機	1. 機能・性能試験 (空気圧縮機、電動機等含む)	高	1F	○	19回	制御用空気圧縮系機能検査	
	A 制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検 (圧縮機)	高	26M	○	19回		有効性評価 No.23の反映
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	17回		(電動機 振動診断：1 2 M)
		3. 簡易点検 (圧縮機)		13M	○	—		
	B 制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検 (圧縮機)	高	26M	—	19回		有効性評価 No.23の反映
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	18回		(電動機 振動診断：1 2 M)
		3. 簡易点検 (圧縮機)		13M	○	—		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（）内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	代替制御用空気供給設備	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	16回施設定検時に設置
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査
			2. 分解点検		13M～195M	○	19回	1次系弁検査
			3. 簡易点検 （グラントパッキン取替）		130M～195M	○	19回	有効性評価 No.10の反映
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	19回	1次系弁検査
2. 分解点検			13M～182M		○	19回		
3. 簡易点検 （特性試験）			13M～182M		○	19回		
計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～78M	○	19回		
		2. 分解点検他	低	13M～26M	○	19回	有効性評価 No.11の反映	
計測制御系統施設 〔その他設備〕	・原子炉保護系ロジック回路 ・安全防護系ロジック回路 ・パージプロシージャ回路	28回路 25回路 6回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	安全保護系機能検査
	原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 ・1次冷却材等計測装置 保護継電器 伝送器 設定器 ・核計測装置 設定器 重要な指示計器 ・1次冷却材等計測装置 指示計 ・核計測装置 指示計	6個 76個 117個 20個 31個 8個	1. 特性試験	高・低	13M～26M	○	19回	安全保護系設定値確認検査 有効性評価 No.27の反映
	事故時監視計器 ・圧力監視計器 ・水位監視計器 ・流量監視計器 ・温度監視計器	2個 16個 8個 10個	1. 特性試験	高	13M～26M	○	19回	プラント状態監視設備機能検査 有効性評価 No.28の反映
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	プラント状態監視設備機能検査
	・制御棒制御系 ・加圧器水位制御系 ・加圧器圧力制御系 ・蒸気発生器水位制御系	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	計測制御系機能検査 一部定期事業者検査起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	1式	1. 特性試験	高・低	13M～26M	○	19回	計測制御系監視機能検査
	炉外核計測装置 ・中性子源領域検出器 ・中間領域検出器 ・出力領域検出器	2個 2個 8個	1. 特性試験	高	13M	○	19回	核計装設備検査 一部定期事業者検査起動後
	炉内核計測装置 駆動装置	4台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	核計装設備検査
			2. 分解点検		13M	○	19回	
	制御棒位置指示装置		1. 特性試験	高	13M	○	19回	制御棒位置指示装置設定値検査

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術		
計測制御系統施設 〔その他設備〕	炉内計装用シンプルチューブ	58本	1. 非破壊試験	高	78M	—	18回	炉内計装用シンプルチューブ体積検査		
	総合インターロック ・原子炉トリップ信号 （タービン、発電機トリップ） ・タービントリップ信号 （原子炉、発電機トリップ） ・発電機トリップ信号 （原子炉、タービントリップ）	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	総合インターロック検査		
	中央制御室外の原子炉の停止制御回路	24回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査		
	恒設代替低圧注水積算流量	1個	1. 特性試験	高	13M	○	19回	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置	
	原子炉水位	1個	1. 特性試験	高	13M	○	19回	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置	
	AM用格納容器圧力	1個	1. 特性試験	高	13M	○	18回	プラント状態監視設備機能検査	プラント状態監視設備機能検査は、17回施設定検から実施	
			2. 特性試験		26M		—			19回
	可搬型格納容器水素ガス濃度	2個	1. 特性試験	高	13M	○	19回	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置	
	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力	2個	1. 特性試験	高	13M	○	19回	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置	
	格納容器スプレイ積算流量	1個	1. 特性試験	高	13M	○	19回	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置	
	原子炉格納容器水位	1対	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置	
	原子炉下部キャビティ水位	1対	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置	
	アニュラス水素濃度	2個	1. 特性試験	高	13M	○	19回	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置	
	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回施設定検時に設置	
	計測制御系統施設〔その他設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	17回	1次系安全弁検査		
			2. 分解点検		78M～195M		○	19回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり 有効性評価 No.12の反映
			3. 簡易点検 （グラントパッキン取替）		65M～195M		○	19回		有効性評価 No.12の反映
計測制御系統施設〔その他設備〕 その他機器	1式	1. 特性試験他	高	13M～52M	○	19回				
		2. 特性試験他	低	13M～78M		○	19回		一部BMあり	
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	ガス圧縮装置	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	気体廃棄物処理系機能検査			
		2. 分解点検他		13M～130M		○		19回	先行実施	
		3. 分解点検 （電動機）		CBM		—		13回	（振動診断：1 2 M） 先行実施	
	ガスサージタンク入口弁	4個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	気体廃棄物処理系機能検査		
			2. 分解点検		130M		—		18回	先行実施
除湿装置・活性炭式希ガスホールドアップ装置	1基	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	気体廃棄物処理系機能検査			
		2. 分解点検他		13M～130M		○		19回	先行実施	

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	ほう酸回収装置	2基	1.機能・性能試験	低	1F	○	19回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施
			2.分解点検他		13M～195M	○	19回		
	廃液蒸発装置	2基	1.機能・性能試験	低	1F	○	19回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施
			2.分解点検他		13M～195M	○	19回		
	膜分離活性汚泥処理装置	1基	1.機能・性能試験	低	1F	○	19回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施
			2.分解点検他		13M～130M	○	19回		
	3 4 A除湿塔冷却送風機・電動機		1.機能・性能試験	低	B*	—	17回	気体廃棄物処理系設備検査	B*：送風機または電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施
			2.分解点検（送風機）		260M	—	13回		
			3.分解点検（電動機）		52M	—	17回		
	3 4 B除湿塔冷却送風機・電動機		1.機能・性能試験	低	B*	—	17回	気体廃棄物処理系設備検査	B*：送風機または電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施
			2.分解点検（送風機）		260M	—	13回		
			3.分解点検（電動機）		52M	—	17回		
3 4 C除湿塔冷却送風機・電動機		1.機能・性能試験	低	B*	—	17回	気体廃棄物処理系設備検査	B*：送風機または電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施	
		2.分解点検（送風機）		260M	—	13回			
		3.分解点検（電動機）		52M	—	17回			
A格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B*	—	19回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2.分解点検（ポンプ）		26M	—	19回			
		3.分解点検（電動機）		52M	—	18回			
		4.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	—	19回			
B格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B*	○	18回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2.分解点検（ポンプ）		26M	○	18回			
		3.分解点検（電動機）		52M	—	17回			
		4.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	○	18回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	3 4 A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （ポンプ 振動診断：1 2 M） 先行実施
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	—	16回		
		3. 分解点検（電動機）		195M	—	16回		
		4. 簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	○	18回		
	3 4 B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （ポンプ 振動診断：1 2 M） 先行実施
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	—	15回		
		3. 分解点検（電動機）		195M	—	15回		
		4. 簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	○	18回		
	3 4 A 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （ポンプ 振動診断：1 2 M） 先行実施
		2. 分解点検（ポンプ）		CBM	—	16回		
		3. 分解点検（電動機）		195M	—	16回		
		4. 簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	—	19回		
3 4 B 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （ポンプ 振動診断：1 2 M） 先行実施	
	2. 分解点検（ポンプ）		CBM	—	15回			
	3. 分解点検（電動機）		195M	—	15回			
	4. 簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	○	18回			
A 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	18回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 水中ポンプ	
	2. 分解点検（ポンプ）		78M	—	18回			
	3. 分解点検（電動機）		78M	—	18回			
B 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 水中ポンプ	
	2. 分解点検（ポンプ）		78M	—	19回			
	3. 分解点検（電動機）		78M	—	19回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	3 4 Aほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （振動診断：1 2 M） 先行実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	—	15回		
		3.分解点検（電動機）		CBM	—	15回		
		4.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	○	18回		
3 4 Bほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	3 4 Bほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （振動診断：1 2 M） 先行実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	—	16回		
		3.分解点検（電動機）		CBM	—	16回		
		4.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	—	19回		
A原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	A原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		195M	—	15回		
		3.分解点検（電動機）		156M	—	14回		
B原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	B原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
		2.分解点検（ポンプ）		195M	—	16回		
		3.分解点検（電動機）		156M	—	14回		
3 4 A洗浄排水ポンプ・電動機	3 4 A洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （ポンプ 振動診断：1 2 M） 先行実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	—	16回		
		3.分解点検（電動機）		195M	—	16回		
		4.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	○	18回		
3 4 B洗浄排水ポンプ・電動機	3 4 B洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 （ポンプ 振動診断：1 2 M） 先行実施
		2.分解点検（ポンプ）		CBM	—	14回		
		3.分解点検（電動機）		195M	—	15回		
		4.簡易点検（潤滑油入替）（ポンプ）		26M	—	19回		
3 4 強酸ドレンポンプ・電動機	3 4 強酸ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 キャンドポンプ
		2.分解点検（ポンプ）		78M	—	19回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（ ）内は適用する設備診断技術	
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えいに係る警報機能	1. 特性試験	低	13M	○	19回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施	
		2. 機能・性能試験		1F	○	19回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査		
	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能（最終の流入サンプル）	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査（最終の流入サンプル）	先行実施
	雑固体焼却設備	1台	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	固体廃棄物処理系焼却炉機能検査	先行実施
			2. 分解点検他		13M～130M	○	19回		
	乾燥造粒装置	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	乾燥造粒装置・セメントガラス固化装置機能検査	先行実施
			2. 分解点検他		13M～156M	○	19回		
	セメントガラス固化装置	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	乾燥造粒装置・セメントガラス固化装置機能検査	先行実施
			2. 分解点検他		13M～195M	○	19回		
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	低	B	○	19回	1次系安全弁検査	先行実施
			2. 分解点検	高	130M～195M	○	19回	1次系逆止弁検査	有効性評価 No.13の反映
			3. 分解点検	低	65M～195M	○	19回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり 有効性評価 No.14の反映
4. 簡易点検（グラントパッキン取替）				130M～195M	○	19回		有効性評価 No.15の反映	
放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回			
		2. 分解点検			65M～130M	○	19回		一部先行実施
		3. 簡易点検（特性点検）			13M～130M	○	19回		
放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	低	13M～130M	○	19回		一部先行実施 一部BMあり	
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備〕	蒸気発生器保管庫	2棟	1. 外観点検	低	1F	○	19回		
	固体廃棄物貯蔵庫	3棟	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回		
放射性廃棄物の廃棄施設 〔原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置〕	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置	1. 特性試験	低	13M	○	19回		先行実施	
		2. 機能・性能試験		1F	○	19回	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査		
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	3R-91A	1. 特性試験	高	13M	○	19回	エリアモニタ機能検査	
	A格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	3R-91B	1. 特性試験	高	13M	○	19回	エリアモニタ機能検査	
	B格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	3R-92A	1. 特性試験	高	13M	○	19回	エリアモニタ機能検査	
	B格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	3R-92B	1. 特性試験	高	13M	○	19回	エリアモニタ機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	A排気筒ガスモニタ	3R-21A	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	放射線監視装置機能検査	
			2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	B排気筒ガスモニタ	3R-21B	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	放射線監視装置機能検査	
			2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	廃棄物処理設備排水モニタ	34R-35	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	放射線監視装置機能検査	
			2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器じんあいモニタ	3R-40	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回		
			2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器ガスモニタ	3R-41	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回		
			2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	復水器空気抽出器ガスモニタ	3R-43	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回		
			2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	建屋内漏えい検知ガスモニタ	34R-50	1. 特性試験	低	13M	○	19回		一部先行実施
	蒸気発生器ブローダウン水モニタ	3R-55	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回		
			2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	原子炉補機冷却水モニタ	3R-56	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回		
			2. 特性試験		13M	○	19回		
	補助蒸気復水モニタ	34R-57	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回		
			2. 特性試験		13M	○	19回		
	タービン建屋床ドレン集水モニタ	3R-58	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回		
			2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	A高感度型主蒸気管モニタ	3R-65	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	B高感度型主蒸気管モニタ	3R-66	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	C高感度型主蒸気管モニタ	3R-67	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	D高感度型主蒸気管モニタ	3R-68	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	冷却材連続モニタ	3R-70	1. 特性試験	低	13M	○	19回		
	ほう酸蒸留水モニタ	34R-71	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回		
			2. 特性試験		13M	○	19回		
	廃棄物処理設備排ガスモニタ	34R-72	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回		
			2. 特性試験		13M	○	19回		
	雑固体焼却炉排ガスモニタ	34R-73	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	放射線監視装置機能検査	
			2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
排気筒高レンジガスモニタ（低レン	3R-80A	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
排気筒高レンジガスモニタ（高レン	3R-80B	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
A主蒸気管モニタ	3R-87	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査		
B主蒸気管モニタ	3R-88	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査		
C主蒸気管モニタ	3R-89	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査		
D主蒸気管モニタ	3R-90	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査		
放水口水モニタ	34R-99	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回			
		2. 特性試験		13M	○	19回			一部先行実施
中央制御室エリアモニタ	34R-1	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	放射線監視装置機能検査		
		2. 特性試験		13M	○	19回	放射線監視装置機能検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	格納容器エアロック区域エリアモニタ	3R-2	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	放射化学室エリアモニタ	34R-3	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	A 充てんポンプ室エリアモニタ	3R-4A	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	B 充てんポンプ室エリアモニタ	3R-4B	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	C 充てんポンプ室エリアモニタ	3R-4C	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ	3R-5	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	試料採取室エリアモニタ	34R-6	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ	3R-7	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	ドラム詰室エリアモニタ	34R-8	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	1次系補機操作室エリアモニタ	34R-11	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	雑固体固化処理エリアモニタ	34R-12	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	緊急時対策所外可搬型エリアモニタ	2台	1. 特性試験	低	1Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置
	緊急時対策所内可搬型エリアモニタ	2台	1. 特性試験	高	1Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	3台	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	16回施設定検時に設置
	モニタリングステーション	1式	1. 特性試験	低	13M	○	19回	野外モニタ機能検査	一部先行実施
	モニタリングポスト	5台	1. 特性試験	低	13M	○	19回	野外モニタ機能検査	一部先行実施
	可搬式モニタリングポスト	17台	1. 特性試験	高	1Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置
移動式モニタリング設備	1台	1. 特性試験	低	13M	○	19回	野外モニタ機能検査		
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	1式	1. 分解点検他	高	13M	○	19回			
放射線管理施設 [換気設備]	その他機器	1式	2. 分解点検他	低	13M	○	19回		
放射線管理施設 [換気設備]	中央制御室非常用循環系		1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、ダンパ、ダンパ駆動部等含む)	高	1F	○	19回	中央制御室非常用循環系機能検査	
	A 中央制御室非常用循環ファン・電動機		1. 分解点検 (ファン)	高	91M	—	18回		(振動診断：1F)
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	18回		
	B 中央制御室非常用循環ファン・電動機		1. 分解点検 (ファン)	高	91M	—	17回		(振動診断：1F)
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	17回		
	中央制御室非常用循環フィルタユニット	1系列	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ)	高	1F	○	19回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	一部先行実施
			2. 開放点検 (フィルタ取替)		X*	○	18回		X*：機能・性能試験結果により適宜実施
			3. 機能・性能試験 (差圧確認)		1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	
			4. 開放点検		260M	—	17回		
			5. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—		X*：フィルタ差圧により適時実施

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検（ファン）		B	—	8回		電動機分解時に分解点検を実施 先行実施
		3. 分解点検（電動機）		CBM	—	2回		（電動機 振動診断：1 2 M） 先行実施
	B 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検（ファン）		B	—	7回		電動機分解時に分解点検を実施 先行実施
		3. 分解点検（電動機）		CBM	—	1回		（電動機 振動診断：1 2 M） 先行実施
	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：1 2 M） 先行実施
		2. 分解点検（ファン）		130M	—	18回		
		3. 分解点検（電動機）		CBM	—	18回		
	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	（振動診断：1 2 M） 先行実施
		2. 分解点検（ファン）		130M	—	17回		
		3. 分解点検（電動機）		CBM	—	17回		
A 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検（ファン）		130M	—	16回			
	3. 分解点検（電動機）		78M	—	16回			
B 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検（ファン）		130M	—	14回			
	3. 分解点検（電動機）		78M	—	19回			
C 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検（ファン）		130M	—	17回			
	3. 分解点検（電動機）		78M	—	17回			
D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検（ファン）		130M	—	13回			
	3. 分解点検（電動機）		78M	—	18回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	13回		
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	18回		
	B 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	17回		
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	17回		
	A 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	17回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	17回		
	B 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	16回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	16回		
A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断：1 2 M) (電動機 振動診断：1 2 M)	
	2. 分解点検 (ファン)		91M	—	18回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	18回			
B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断：1 2 M) (電動機 振動診断：1 2 M)	
	2. 分解点検 (ファン)		91M	—	17回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	17回			
3 4 A 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	17回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	17回			
3 4 B 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	18回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	18回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	3 4 A放射線管理室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M	○	12回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	○	12回		
	3 4 B放射線管理室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M	—	19回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	19回		
	A補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M	—	12回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	8回		
	B補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M	○	11回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	○	4回		
	C補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M	—	13回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	13回		
	A補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M	—	18回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	18回		
	B補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M	—	17回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	17回		
	C補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M	—	19回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	19回		
3 4 ベイラ排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ファン)		104M	—	19回			
	3.分解点検 (電動機)		104M	—	19回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
放射線管理施設 [換気設備]	3 4 ホット工作室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施 電動機分解時に分解点検を実施	
		2. 分解点検（ファン）		B	—	14回			
		3. 分解点検（電動機）		156M	—	14回			
	A安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	（電動機 振動診断：1F）	
		2. 分解点検（ファン）		104M	—	18回			
		3. 分解点検（電動機）		104M	—	18回			
		4. 電動機取替（電動機）		X*	—	18回	X*：絶縁等の劣化兆候により適宜実施		
	B安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	（電動機 振動診断：1F）	
		2. 分解点検（ファン）		104M	—	17回			
		3. 分解点検（電動機）		104M	—	17回			
		4. 電動機取替（電動機）		X*	—	19回	X*：絶縁等の劣化兆候により適宜実施		
	Aほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検（ファン）		78M	—	17回			
		3. 分解点検（電動機）		78M	—	17回			
	Bほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検（ファン）		78M	—	18回			
		3. 分解点検（電動機）		78M	—	18回			
	緊急時対策所非常用空気浄化ファン	2台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	19回	可搬型換気空調設備検査	18回定期事業者検査時に設置 先行実施
	緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット	2台	1. 機能・性能試験（よう素フィルタ性能検査）	高	1Y	○	19回	可搬型換気空調設備検査	18回定期事業者検査時に設置 先行実施
	A格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験（差圧確認）	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2. 開放点検		BM	—	8回			
3. 微粒子フィルタ取替		X*		—	—	X*：フィルタ差圧により適時実施			
B格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験（差圧確認）	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
	2. 開放点検		BM	—	9回				
	3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—	X*：フィルタ差圧により適時実施			
格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験（差圧確認）	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
	2. 開放点検		BM	—	9回				
	3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—	X*：フィルタ差圧により適時実施			
3 4 出入管理室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験（差圧確認）	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
	2. 開放点検		BM	—	9回				
	3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—	X*：フィルタ差圧により適時実施			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	A 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		52M	—	19回		
		3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—		
	B 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		52M	—	19回		
		3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—		
	3 4 ベイラ排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		BM	—	9回		
		3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—		
	3 4 ホット工作室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		BM	—	9回		
		3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—		
	3 4 試料採取室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		BM	—	9回		
		3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—		
	A 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	19回		先行実施
		2. 開放点検		52M	○	16回		
	B 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	19回		先行実施
		2. 開放点検		52M	—	17回		
	A 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	19回		
2. 開放点検		52M		○	16回			
B 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	19回			
	2. 開放点検		52M	—	17回			
3 4 放射線管理室給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	19回		先行実施	
	2. 開放点検		52M	○	16回			
A 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	19回		先行実施	
	2. 開放点検		52M	○	16回			
B 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	19回		先行実施	
	2. 開放点検		52M	—	17回			
A 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	16回			
B 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	17回			
A 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	19回			
B 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	○	16回			

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	自動ダンパ	1式	1. 機能・性能試験 (駆動部を含む)	高・低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
			2. 分解点検他		65M	○	19回		
	自動ダンパ駆動部	1式	1. 分解点検	高・低	52M～156M	—	17回		一部先行実施
	2. 簡易点検 (特性点検)	13M～65M	○		19回				
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系安全弁検査	一部先行実施 有効性評価 No.16の反映
			2. 分解点検		130M～195M	○	19回	1次系弁検査	
			3. 簡易点検 (グラウンドパッキン取替)		130M～195M	○	19回		
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査	一部先行実施
			2. 分解点検		52M～182M	○	19回		
			3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	19回		
放射線管理施設 [換気設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	19回		一部先行実施	
		2. 分解点検他	低	13M～104M	○	19回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高・低	13M	○	19回			
放射線管理施設 [生体遮蔽装置]	中央制御室	1式	1. 漏えい試験	高	6Y	○	16回	中央制御室の居住性確認検査	16回施設定検から実施 先行実施
	緊急時対策所	1式	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	19回	緊急時対策所の居住性確認検査	18回定期事業者検査時に設置 先行実施
放射線管理施設 [その他設備]	可搬型気象観測装置	1式	1. 特性試験	高	1Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置 先行実施
	気象観測装置	1式	1. 特性試験	低	1Y	○	19回	計測制御系監視機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 先行実施
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器		1. 漏えい率試験	高	3F	—	19回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	10年に1回は設計圧力にて実施 (16回定検において設計圧力により実施)
	プレストレストコンクリート格納容器		1. 機能・性能試験	高	5Y	—	18回	プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査 プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査	
			2. 外観点検		5Y	—	18回		
	エアロック	通常用 1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	18回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2. 分解点検		52M	—	19回		
			3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M	—	19回		
	機器搬入口	1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	18回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2. 開放点検		52M	—	18回		
			3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M	○	18回		
	機器搬入口	1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	18回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
2. 開放点検			13M		○	19回			
3. 非破壊試験			10Y		—	15回	原子炉格納容器供用期間中検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	配管貫通部（貫通配管閉止フランジ部）	6個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	18回	原子炉格納容器局部漏えい率検査
					開放の都度	○	19回	
	電線貫通部	44個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	—	17回	原子炉格納容器局部漏えい率検査
	原子炉格納容器隔離弁	45個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	18回	原子炉格納容器局部漏えい率検査
	原子炉格納容器隔離（T・V信号及びT+UV信号）により隔離される弁	62個	1. 機能・性能試験（駆動部等含む）	高	1F	○	19回	原子炉格納容器隔離弁機能検査
	原子炉格納容器隔離（P・V信号）により隔離される弁	16個	1. 機能・性能試験（駆動部等含む）	高	1F	○	19回	原子炉格納容器隔離弁機能検査
	原子炉格納容器隔離弁	3V-CS-004A	1. 分解点検	高	52M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-CS-004B	1. 分解点検	高	52M	○	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-CS-004C	1. 分解点検	高	52M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-WL-042	1. 分解点検	高	13M	○	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-WL-043	1. 分解点検	高	104M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-WL-143	1. 分解点検	高	104M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-WL-144	1. 分解点検	高	104M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-DP-001A	1. 分解点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-DP-001B	1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-DP-002A	1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-DP-002B	1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-CS-007	1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-CS-310	1. 分解点検	高	130M	—	12回	原子炉格納容器隔離弁分解検査
		3V-CS-312	1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器隔離弁	3V-CC-342	1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-CC-365	1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-CC-401	1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-CC-403	1. 分解点検	高	130M	○	10回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-CC-427	1. 分解点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-CC-429	1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-IA-508A	1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-IA-508B	1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	52M～182M 13M～182M	○ ○	19回 19回			
原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
		2. 分解点検	高・低	78M～260M	○	19回	1次系弁検査		
		3. 分解点検	高	26/39M*	○	18回		*：原子炉格納容器局部漏えい率検査の実施時期にあわせて実施	
		4. 簡易点検 (グラントパッキン取替)	高・低	52M～195M	○	19回		有効性評価 No.17の反映	
原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	19回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		65M～182M	○	19回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	19回			
原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～104M	○	19回			
		2. 分解点検他	低	13M～52M	○	19回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	原子炉格納容器スプレイ系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	19回	原子炉格納容器安全系機能検査	
		2. 機能・性能試験		1F	○	19回	その他原子炉注水系機能検査	
A 格納容器スプレイポンプ・電動機	A 格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	12回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	[対象設備] ・ A 格納容器スプレイポンプによる代替炉心注入系 16回施設定検から設定 (振動診断：1F) 12回は、格納容器スプレイ系ポンプ分解検査として実施 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	16回		
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		130M	—	12回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	18回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	18回		
B 格納容器スプレイポンプ・電動機	B 格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	11回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断：1F) 11回は、格納容器スプレイ系ポンプ分解検査として実施
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	17回		
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		130M	—	11回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	19回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	19回		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	A格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		130M	—	18回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験		130M	—	18回			
	B格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	17回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		130M	—	17回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験		130M	—	17回			
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	3V-CP-024A	1. 分解点検	高	78M	—	19回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3V-CP-024B	1. 分解点検	高	78M	—	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3V-CP-054A	1. 分解点検	高	130M	—	13回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	13回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
		3V-CP-054B	1. 分解点検	高	130M	—	14回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	14回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	182M	—	17回		
			2. 簡易点検（特定点検）		13M～182M	○	19回		
よう素除去薬品タンク		1. 開放点検	高	130M	—	18回			
よう素除去薬品タンク真空逃がし弁	2台	1. 分解点検	高	130M	—	18回	1次系真空破壊弁検査	先行実施	
アニュラス空気浄化系		1. 機能・性能試験（ファン、電動機、弁、弁駆動部、ダンパ、ダンパ駆動部等含む）	高	1F	○	19回	アニュラス循環排気系機能検査		
Aアニュラス空気浄化ファン・電動機		1. 分解点検（ファン）	高	B	—	8回		電動機分解時に実施	
		2. 分解点検（電動機）		CBM	—	8回		（電動機 振動診断：1F）	
		3. 電動機取替（電動機）		X*	—	18回		X*：絶縁等の劣化兆候により適宜実施	
Bアニュラス空気浄化ファン・電動機		1. 分解点検（ファン）	高	B	—	17回		電動機分解時に実施	
		2. 分解点検（電動機）		CBM	—	17回		（電動機 振動診断：1F）	
		3. 電動機取替（電動機）		X*	—	19回		X*：絶縁等の劣化兆候により適宜実施	
A, Bアニュラス空気浄化フィルタユニット		1. 機能・性能試験（よう素フィルタ）	高	1F	○	19回	アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	A系、B系交互に実施一部先行実施	
		2. 開放点検（フィルタ取替）		X*	○	18回		X*：機能・性能試験結果により適宜実施	
Aアニュラス空気浄化フィルタユニット		1. 機能・性能試験（差圧確認）	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査		
		2. 開放点検		260M	—	14回			
		3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—		X*：フィルタ差圧により適時実施	
Bアニュラス空気浄化フィルタユニット		1. 機能・性能試験（差圧確認）	高	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査		
		2. 開放点検		260M	—	13回			
		3. 微粒子フィルタ取替		X*	—	—		X*：フィルタ差圧により適時実施	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	可燃性ガス濃度制御系主要弁	3V-VS-102A	1. 分解点検	高	65M	—	19回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-VS-102B	1. 分解点検	高	65M	—	19回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-VS-103A	1. 分解点検	高	65M	—	19回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		3V-VS-103B	1. 分解点検	高	65M	—	19回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
静的触媒式水素再結合装置	5個	1. 機能・性能試験	高	5F	○	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	16回施設定検時に設置	
		2. 外観点検（触媒プレート）		5F	○	—			
		3. 外観点検（本体）		1F	○	19回			
原子炉格納容器水素燃焼装置	14個	1. 外観点検	高	1F	○	19回		16回施設定検時に設置	
		2. 絶縁抵抗測定		1F	○	19回			
		3. 抵抗測定		1F	○	19回			
		4. 機能・性能試験（シーケンス試験）		1F	○	19回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置		1. 特性試験	高	13M	○	19回	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置	
原子炉格納容器水素燃焼装置 温度監視装置		1. 特性試験	高	13M	○	19回	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置	
原子炉格納施設〔圧力低減設備その他の安全設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
		2. 分解点検		104M～195M	○	19回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	有効性評価 No.18の反映	
		3. 簡易点検（グラントパッキン取替）		78M～195M	○	19回		有効性評価 No.18の反映	
原子炉格納施設〔圧力低減設備その他の安全設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	19回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		182M	—	18回			
		3. 簡易点検（特性点検）		13M～182M	○	19回			
原子炉格納施設〔圧力低減設備その他の安全設備〕 その他機器	1式	1. 機能・性能試験	高	10F	—	13回			
		2. 分解点検他		130M	○	19回			
その他AM(格納容器器内注水) 機器	1式	1. 分解点検他	高	195M	—	14回	1次系逆止弁検査	有効性評価 No.19の反映	

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子力設備 [その他設備]	クラス1 機器（供用期間中検査対象） （重大事故等クラス2 機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	○	19回	クラス1 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。【別表-1】
			2. 漏えい試験		1F	○	19回	クラス1 機器供用期間中検査	
	クラス2 機器（供用期間中検査対象） （重大事故等クラス2 機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	○	19回	クラス2 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。【別表-2】
			2. 漏えい試験		10Y	○	19回	クラス2 機器供用期間中検査	
	クラス3 機器（供用期間中検査対象）	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	—	19回	クラス3 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。【別表-3】
			2. 漏えい試験		10Y	○	19回	クラス3 機器供用期間中検査	
	クラス1 機器Ni 基金使用部位 （重大事故等クラス2 機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	5Y	—	17回	供用期間中特別検査のうちクラス1 機器Ni 基金使用部位特別検査	ISIプログラムによる。【別表-4】
	クラス2 管（原子炉格納容器内） （重大事故等クラス2 機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	25%/10Y	○	19回	供用期間中特別検査のうちクラス2 管（原子炉格納容器内）特別検査	ISIプログラムによる。【別表-5】
	重大事故等クラス2 機器	1式	1. 非破壊試験	高	5Y~10Y	○	19回	重大事故等クラス2 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。【別表-8】 16回施設定検から設定
			2. 漏えい試験		10Y	○	19回	重大事故等クラス2 機器供用期間中検査	
	重大事故等クラス3 機器	1式	1. 漏えい試験	高	10Y	○	—	重大事故等クラス3 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。【別表-9】 17回施設定検から設定
	蒸気発生器管台溶接部（重大事故等クラス2 機器供用期間中検査対象含む）	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	—	18回	供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査	ISIプログラムによる。【別表-1】
	クラス1 配管（水平展開対象）	1式	1. 非破壊試験	高	100%/1F	○	19回	供用期間中特別検査のうちクラス1 配管特別検査	ISIプログラムによる。【別表-10】 19回定期事業者検査時から設定 長期施設管理方針No.3
	クラス3 機器・クラス4 管の耐圧部及び安全上重要な設備に係る排気筒ダクト	1式	1. 外観点検	高	100%/5Y~10Y	○	19回	構造健全性検査	排気筒については5Yで実施 クラス3 機器供用期間中検査の漏えい検査対象範囲は除く
	RCPBのベント・ドレン弁シート部	1式	1. 漏えい試験	高	1F	○	19回	構造健全性検査	
1次冷却材管ホイップレストレイント	84箇所	1. 外観点検	高	1F	○	19回	レストレイント検査		
主蒸気配管ホイップレストレイント	4箇所	1. 外観点検	高	1F	○	19回	レストレイント検査		
主給水配管ホイップレストレイント	10箇所	1. 外観点検	高	1F	○	19回	レストレイント検査		
原子力設備 [その他設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		78M~260M	○	19回	1次系弁検査		
		3. 簡易点検 （グラウンドパッキン取替）		78M~130M	○	19回			
原子力設備 [その他設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		65M~130M	○	19回			
		3. 簡易点検 （特性点検）		13M~130M	○	19回			
原子力設備 [その他設備] その他機器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M~130M 13M~130M	○ ○	19回 19回		一部BMあり	
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	耐震クラスS, Bの支持構造物	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	19回	耐震健全性検査	クラス1, 2, 3, 重大事故等クラス1, 2 機器供用期間中検査対象範囲を除く

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)	
蒸気タービン 〔車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸〕	高圧タービン	1. 開放点検	高	39M	—	18回	蒸気タービン開放検査	15回定検時に蒸気タービン取替実施	
		2. 組立状況点検		X*	—	18回	蒸気タービン開放検査	X*：高圧タービン、低圧タービン点検対象の組み合わせにより適宜実施	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	19回		15回定検時に蒸気タービン取替実施	
	第1 低圧タービン	1. 開放点検	高	39M	—	19回	蒸気タービン開放検査	15回定検時に蒸気タービン取替実施	
		2. 外観点検		X*	○	19回	蒸気タービン開放検査	X*：点検対象の組み合わせにより適宜実施	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	19回		15回定検時に蒸気タービン取替実施	
	第2 低圧タービン	1. 開放点検	高	39M	—	18回	蒸気タービン開放検査	15回定検時に蒸気タービン取替実施	
		2. 外観点検		X*	○	19回	蒸気タービン開放検査	X*：点検対象の組み合わせにより適宜実施	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	19回		15回定検時に蒸気タービン取替実施	
	第3 低圧タービン	1. 開放点検	高	39M	○	17回	蒸気タービン開放検査	15回定検時に蒸気タービン取替実施	
		2. 外観点検		X*	○	19回	蒸気タービン開放検査	X*：点検対象の組み合わせにより適宜実施	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	19回		15回定検時に蒸気タービン取替実施	
	ロータアライメント	1. 組立状況点検	高	B	○	19回	蒸気タービン開放検査		
	蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁〕	調速装置および非常調速装置		高	1F	○	19回	蒸気タービン開放検査	
		1 主蒸気止め弁	MSV-1	1. 開放点検	高	39M	○	18回	蒸気タービン開放検査
2. 組立状況点検				B		○	18回	蒸気タービン開放検査	
2 主蒸気止め弁		MSV-2	1. 開放点検	高	39M	—	19回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		B	—	19回	蒸気タービン開放検査	
3 主蒸気止め弁		MSV-3	1. 開放点検	高	39M	—	18回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		B	—	18回	蒸気タービン開放検査	
4 主蒸気止め弁		MSV-4	1. 開放点検	高	39M	○	18回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		B	○	18回	蒸気タービン開放検査	
1 蒸気加減弁		GOV-1	1. 開放点検	高	39M	○	18回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		B	○	18回	蒸気タービン開放検査	
2 蒸気加減弁		GOV-2	1. 開放点検	高	39M	—	19回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		B	—	19回	蒸気タービン開放検査	
3 蒸気加減弁		GOV-3	1. 開放点検	高	39M	—	18回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		B	—	18回	蒸気タービン開放検査	
4 蒸気加減弁	GOV-4	1. 開放点検	高	39M	○	18回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検		B	○	18回	蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並びに 調速装置で制御される主要弁〕	A 1 再熱蒸気止め弁	A1-RSV	1. 開放点検	高	39M	○	17回	蒸気タービン開放検査	
	A 2 再熱蒸気止め弁	A2-RSV	1. 開放点検	高	39M	—	18回	蒸気タービン開放検査	
	A 3 再熱蒸気止め弁	A3-RSV	1. 開放点検	高	39M	—	19回	蒸気タービン開放検査	
	B 1 再熱蒸気止め弁	B1-RSV	1. 開放点検	高	39M	○	18回	蒸気タービン開放検査	
	B 2 再熱蒸気止め弁	B2-RSV	1. 開放点検	高	39M	—	18回	蒸気タービン開放検査	
	B 3 再熱蒸気止め弁	B3-RSV	1. 開放点検	高	39M	—	19回	蒸気タービン開放検査	
	A 1 インターセプト弁	A1-ICV	1. 開放点検	高	39M	○	17回	蒸気タービン開放検査	
	A 2 インターセプト弁	A2-ICV	1. 開放点検	高	39M	—	18回	蒸気タービン開放検査	
	A 3 インターセプト弁	A3-ICV	1. 開放点検	高	39M	—	19回	蒸気タービン開放検査	
	B 1 インターセプト弁	B1-ICV	1. 開放点検	高	39M	○	18回	蒸気タービン開放検査	
	B 2 インターセプト弁	B2-ICV	1. 開放点検	高	39M	—	18回	蒸気タービン開放検査	
	B 3 インターセプト弁	B3-ICV	1. 開放点検	高	39M	—	19回	蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン 〔復水器〕	復水・循環水系		1. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機含む）	高	1F	○	19回	蒸気タービン附属設備機能検査	
	復水器		1. 開放点検	高	13M	○	19回	蒸気タービン開放検査	
	復水器 1 A		1. 開放点検 （非破壊試験）	高	78M	○	16回		
			2. 開放点検 （漏えい試験）		78M	○	16回		
	復水器 2 A		1. 開放点検 （非破壊試験）	高	78M	—	16回		
			2. 開放点検 （漏えい試験）		78M	—	16回		
	復水器 3 A		1. 開放点検 （非破壊試験）	高	78M	—	16回		
			2. 開放点検 （漏えい試験）		78M	—	16回		
	復水器 1 B		1. 開放点検 （非破壊試験）	高	78M	—	17回		
			2. 開放点検 （漏えい試験）		78M	—	17回		
	復水器 2 B		1. 開放点検 （非破壊試験）	高	78M	—	18回		
			2. 開放点検 （漏えい試験）		78M	—	18回		
	復水器 3 B		1. 開放点検 （非破壊試験）	高	78M	—	19回		
2. 開放点検 （漏えい試験）			78M		—	19回			
A 循環水ポンプ・電動機		1. 分解点検 （ポンプ）	高	52M	—	18回			
		2. 分解点検 （電動機）		104M	—	19回			
		3. 簡易点検 （翼油導入装置点検 （ポンプ）		26M	○	18回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
蒸気タービン [復水器]	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	17回		
		2. 分解点検 (電動機)		104M	—	17回		
		3. 簡易点検 (翼油導入装置点検) (ポンプ)		26M	—	19回		
	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M～78M	—	17回		(振動診断：1 2 M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
	B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M～78M	—	18回		(振動診断：1 2 M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	18回		
	A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	17回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	17回		
	B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	18回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	18回		
	C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	16回		
2. 分解点検 (電動機)		78M		—	15回			
蒸気タービン [復水器] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～260M	○	19回		
		2. 分解点検他	低	13M～130M	○	19回		一部BMあり
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	A 湿分離加熱器（胴側）	1. 開放点検	高	26M	—	19回	蒸気タービン開放検査	
	A 湿分離加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	15回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	15回		
		3. 漏えい試験		130M	—	15回		
	B 湿分離加熱器（胴側）	1. 開放点検	高	26M	○	18回	蒸気タービン開放検査	
	B 湿分離加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	14回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	14回		
		3. 漏えい試験		130M	—	14回		
	A 第1低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	15回	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	○	10回		
		3. 漏えい試験		65M	○	15回		
	B 第1低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	16回	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	11回		
		3. 漏えい試験		65M	—	16回		
	C 第1低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	17回	2次系熱交換器検査	
2. 非破壊試験		130M		—	12回			
3. 漏えい試験		65M		—	17回			
A 第2低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	15回	2次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M	—	15回			
	3. 漏えい試験		65M	○	15回			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	B 第 2 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	16回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	16回		
		3. 漏えい試験		65M	—	16回		
	C 第 2 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	17回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	17回		
		3. 漏えい試験		65M	—	17回		
	A 第 3 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	18回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	13回		
		3. 漏えい試験		65M	—	18回		
	B 第 3 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	19回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	14回		
		3. 漏えい試験		65M	—	19回		
	A 第 4 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	18回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	18回		
		3. 漏えい試験		65M	—	18回		
	B 第 4 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	19回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	19回		
		3. 漏えい試験		65M	—	19回		
	A 第 5 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	15回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	○	10回		
		3. 漏えい試験		65M	○	15回		
	B 第 5 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	16回	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	11回		
		3. 漏えい試験		65M	—	16回		
脱気器タンク	1. 開放点検	高	39M	○	17回	2 次系容器検査		
A 脱気器	1. 開放点検	高	39M	—	19回	2 次系容器検査		
B 脱気器	1. 開放点検	高	39M	○	17回	2 次系容器検査		
A 第 7 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	12回	2 次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M	—	19回			
	3. 漏えい試験		130M	—	12回			
B 第 7 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	13回	2 次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M	—	19回			
	3. 漏えい試験		130M	—	13回			
グラント蒸気復水器	1. 開放点検	高	65M	—	17回	2 次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M	—	17回			
	3. 漏えい試験		65M	—	17回			
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	給水、復水系	1. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機含む）	高	1F	○	19回	蒸気タービン付属設備機能検査	
	A タービン 動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 （タービン）	高	B	—	17回	2 次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 （ポンプ）		52M～104M	○	17回		有効性評価 No.20の反映
		3. 分解点検 （タービン）		52M	—	17回	2 次系ポンプ分解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	Aタービン動主給水ポンププースタポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	78M	○	16回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	○	16回		
		3. 簡易点検（ポンプ）		13M	○	19回		
	Bタービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験（タービン）	高	B	—	18回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検（ポンプ）		52M～104M	—	18回		有効性評価 No.20の反映
		3. 分解点検（タービン）		52M	—	18回	2次系ポンプ分解検査	
	Bタービン動主給水ポンププースタポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	78M	—	17回		
		2. 分解点検（電動機）		78M	—	17回		
		3. 簡易点検（ポンプ）		13M	○	19回		
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	130M	—	16回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検（電動機）		52M	—	18回		
	電動主給水ポンププースタポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	78M	—	19回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検（電動機）		78M	—	19回		
		3. 簡易点検（ポンプ）		13M	○	19回		
	A復水プースタポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	104M	—	17回		
		2. 分解点検（電動機）		104M	—	17回		
		3. 簡易点検（ポンプ）		13M	○	19回		
	B復水プースタポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	104M	—	18回		
		2. 分解点検（電動機）		104M	○	14回		
		3. 簡易点検（ポンプ）		13M	○	19回		
	C復水プースタポンプ・電動機	1. 分解点検（ポンプ）	高	104M	—	15回		
2. 分解点検（電動機）		104M		—	15回			
3. 簡易点検（ポンプ）		13M		○	19回			
3 A 復水ろ過器	1. 開放点検	高	65M	—	18回	2次系容器検査		
3 B 復水ろ過器	1. 開放点検	高	65M	—	18回	2次系容器検査		
3 C 復水ろ過器	1. 開放点検	高	65M	—	18回	2次系容器検査		
3 A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	16回	2次系容器検査		
3 B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	17回	2次系容器検査		
3 C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	18回	2次系容器検査		
3 D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	19回	2次系容器検査		
3 E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	15回	2次系容器検査		
3 F 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	○	10回	2次系容器検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	蒸気タービン〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高	13M～156M	○	19回			
		2. 分解点検他	低	13M～130M	○	19回		一部BMあり	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	主な配管（主蒸気系統・抽気系統・ドレン系統）	1. 開放点検	高	13M	○	19回	蒸気タービン開放検査		
		2. 非破壊試験		肉厚管理指針による	○	19回	蒸気タービン開放検査		
	2次系配管等*（上記「蒸気タービン主な配管」以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他の系統） *：配管のほか、タービン、ポンプ、熱交換器、弁を含む	1式	1. 外観点検*	高	10Y	○	19回	2次系配管検査	定期事業者検査起動後
			2. 非破壊試験	高・低	肉厚管理指針による	○	19回	2次系配管検査	
蒸気タービン 〔その他設備〕	蒸気タービン及び附属設備	1. 保安装置点検	高	1F	○	19回	蒸気タービン性能検査	一部定期事業者検査起動後	
		2. 負荷点検		1F	○	19回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後	
	蒸気タービン〔その他設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	2次系安全弁検査	
			2. 分解点検	高	13M～260M	○	19回		
			3. 分解点検	低	13M～260M	○	19回		
			4. 簡易点検 （グラントパッキン取替）	高・低	52M～195M	○	19回		有効性評価 No.21の反映
	蒸気タービン〔その他設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回		
			2. 分解点検		52M～182M	○	19回		
			3. 簡易点検 （特性点検）		13M～182M	○	19回		
	蒸気タービン〔その他設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	19回		
			2. 分解点検他	低	12M～260M	○	19回		一部BMあり プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	その他AM(格納容器内注水) 機器	1式	1. 分解点検他	高	12M～182M	○	19回	1次系弁検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	非常用ディーゼル発電機	2台	高	1F	○	19回	非常用予備発電装置機能検査 （ディーゼル発電機定格容量検査） 非常用予備発電装置機能検査 （ディーゼル発電機の作動検査）		
	非常用炉心冷却設備作動信号及び原子炉格納容器スプレイ作動信号発信時にディーゼル発電機に電源を求める機器	46台					1. 機能・性能試験	高	1F

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	Aディーゼル発電機	1. 分解点検他	高	13M～104M	○	19回			
	Aディーゼル機関	1. 分解点検他	高	13M～156M	○	19回			
	Aディーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 2, 10	1. 分解点検	高	130M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 3, 11	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 4, 12	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 5, 13	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 6, 14	1. 分解点検	高	130M	—	18回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 7, 15	1. 分解点検	高	130M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 8, 16	1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関のシリンダカバー	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	○	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	○	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
	Aディーゼル機関の吸気弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	○	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	○	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
	Aディーゼル機関の排気弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	○	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	一部先行実施
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	○	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	一部先行実施
	Aディーゼル機関の燃料噴射弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	○	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	○	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
	Bディーゼル発電機		1. 分解点検他	高	13M～104M	○	19回		
	Bディーゼル機関		1. 分解点検他	高	13M～156M	○	19回		
	Bディーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 2, 10	1. 分解点検	高	130M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 3, 11	1. 分解点検	高	130M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 4, 12	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 5, 13	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 6, 14	1. 分解点検	高	130M	—	18回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 7, 15	1. 分解点検	高	130M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
No. 8, 16		1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分解検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（）内は適用する設備診断技術	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	Bディーゼル機関のシリンダカバー	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	一部先行実施
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	一部先行実施
	Bディーゼル機関の吸気弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	一部先行実施
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	一部先行実施
		No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	先行実施
	ディーゼル発電機付属設備	1式	1. 外観点検	高	1F	○	19回	非常用予備発電機付属設備検査	
			2. 分解点検		26M～130M	○	19回		
			3. 開放点検		26M～130M	○	19回		
			4. 非破壊試験		13M	○	19回	非常用予備発電機付属設備検査	一部先行実施
5. 漏えい試験			13M		○	19回			
6. 機能・性能試験			1F		○	19回	非常用予備発電機付属設備検査		
7. 特性試験			26M		○	19回	非常用予備発電機付属設備検査		
空冷式非常用発電装置	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査	平成23年9月に設置 定期事業者検査は17回施設定検から実施	
		2. 取替他		120M	—	—			
電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	可搬型代替電源設備検査	16回施設定検時に設置 一部先行実施	
電源車（緊急時対策所用）	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	可搬型代替電源設備検査	16回施設定検時に設置 一部先行実施	
電源車	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	可搬型代替電源設備検査	16回施設定検時に設置 一部先行実施	
重油タンク	2台	1. 開放点検	高	130M	—	—		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置	
タンクローリー	3台	1. 機能点検	高	1Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	19回	非常用予備発電機付属設備検査		
		2. 分解点検		26M～130M	○	19回			
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～130M	○	19回			
		2. 分解点検他	低	13M～130M	○	19回			

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	2組 (60個/組)	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査	
	直流電源装置蓄電池（3系統目）	1組 (64個/組)	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査	19回定期事業者検査時に設置
	計器用電源	4台 1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	インバータ機能検査	
			1. 分解点検他	高	26M	○	19回		
	可搬式整流器	2個	1. 外観点検	高	1F	○	19回		16回施設定検時に設置
			2. 電圧測定		1F	○	19回		
	可搬型バッテリー（加圧器逃がし弁用）	2個	1. 外観点検	高	1F	○	19回		16回施設定検時に設置
2. 電圧測定				1F	○	19回			
その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～39M	○	19回			
		2. 分解点検他	低	13M～26M	○	19回			
その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	発電機設備	1式	1. 分解点検他	高	13M～104M	○	19回		
	変圧器設備	1式	1. 分解点検他	高・低	13M～156M	○	19回		
	しゃ断器	1式	1. 分解点検他	高・低	52M～216M	○	19回		
	その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	6M～156M	○	19回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
2. 分解点検他			低	13M～130M	○	19回		一部BMあり	
その他発電用原子炉の附属施設 [補助ボイラー]	# 2 補助ボイラー本体 ドラム 火炉 管 安全弁 ボイラーに付属する給水設備 ボイラーに付属する通気設備 ボイラーに付属する燃料燃焼設備	1式	1. 開放点検	低	10Y※ 1	—	24回*	補助ボイラー開放検査※ 1	先行実施 (その他の機器のうち燃料タンクを除く) ※1 補助ボイラー開放検査の実施頻度は10Yであるが、前回の点検後の運転時間及び起動回数が4000時間かつ120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 補助ボイラー設備検査及び性能検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 *：前回実施時期については、1号機での実績を記載
			2. 性能検査	低	B	—	24回*	補助ボイラー性能検査※ 2	
			3. 簡易点検（外観点検他）	低	1Y	○	19回		
	# 3 補助ボイラー本体 ドラム 火炉 管 安全弁 ボイラーに付属する給水設備 ボイラーに付属する通気設備 ボイラーに付属する燃料燃焼設備	1式	1. 開放点検	低	10Y※ 1	—	24回*	補助ボイラー開放検査※ 1	
			2. 性能試験	低	B	—	24回*	補助ボイラー性能検査※ 2	
			3. 簡易点検（外観点検他）	低	1Y	○	19回		
	補助ボイラーに属するばい煙処理設備	1式	1. 開放点検	低	10Y	—	24回*		
			2. 簡易点検（運転状態確認）	低	1Y	○	19回		
	補助ボイラー系統設備	1式	1. 外観点検	低	10Y	—	24回*	補助ボイラー設備検査※ 2	
	その他発電用原子炉の附属施設 [補助ボイラー] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	低	B	○	24回*	補助ボイラー設備検査※ 2	
2. 分解点検			低	10Y	○	24回*			
その他発電用原子炉の附属施設 [補助ボイラー] その他の機器	1式	1. 分解点検他	低	1Y～20Y	○	19回		有効性評価 No.22の反映	

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備]	電動消火ポンプ・電動機	1台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
			2. 分解点検 (ポンプ)		10Y	—	19回		
			3. 分解点検 (電動機)		6Y	—	15回		
	消火水バックアップポンプ	2台	1. 機能・性能試験	低	B*	—	—	火災防護設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 16回施設定検時に設置
			2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	—		
			3. 分解点検 (電動機)		130M	—	—		
煙等流入防止装置	1式	1. 外観点検	高	1F	○	19回		16回施設定検時に設置	
その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備] その他機器	1式	1. 特性試験他	低	1Y～10Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置	
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	浸水防止蓋	1式	1. 外観点検	高	1F	○	19回		16回施設定検時に設置
	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1式	1. 外観点検	高	10Y	—	—		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置
	水密扉	1式	1. 外観点検	高	1Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 16回施設定検時に設置
	潮位計	2台	1. 機能・性能試験	高・低	1F～4F	○	19回	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置(1台) 計測制御系監視機能検査は、 17回施設定検から実施
	A 湧水サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	—	浸水防護設備検査	B*：取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設定検 停止中 ポンプ・電動機一体型ポンプ 16回施設定検から設定
			2. 取替		5Y	—	—		
	B 湧水サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	—	浸水防護設備検査	B*：取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設定検 停止中 ポンプ・電動機一体型ポンプ 16回施設定検から設定
			2. 取替		5Y	—	—		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	—	—	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査は、17回施設 設定検から設定
			2. 分解点検		130M	—	—		
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	—	—	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査は、17回施設 設定検から設定
			2. 分解点検		182M	—	—		
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他機器	1式	1. 外観点検他	高・低	1F～10F	○	19回		16回施設設定検時に設置	
その他発電用原子炉の附属施設 [補機駆動用燃料設備]	軽油ドラム缶	106個	1. 外観点検	高	1M	○	19回		プラント運転中又は定期事業 者検査停止中 16回施設設定検時に設置 有効性評価 No.29の反映
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用取水設備]	貯水堰	1式	1. 外観点検	高	2Y	—	19回		プラント運転中又は定期事業 者検査停止中 16回施設設定検時に設置
	海水ポンプ室	1式	1. 外観点検	高	1Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業 者検査停止中 16回施設設定検時に設置
土木建築設備	原子炉建屋（格納容器内壁）	1式	1. 外観点検	高	1F	○	19回		定期事業者検査停止中
	原子炉建屋（格納容器外壁、格納容器 外）	1式	1. 外観点検	高・低	1Y	○	19回		プラント運転中又は定期事業 者検査停止中
	取水口設備	1式	1. 外観点検	高	1F	○	19回		プラント運転中又は定期事業 者検査停止中
プラント総合	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)		1. 総合性能試験	高	1F	○	19回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後
全般機器	諸機器		1. 分解点検他	低	6M～168M	○	19回		プラント運転中又は定期事業 者検査停止中

クラス1機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器(1/2)

別表-1(1/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)												備 考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回		2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	
B2. 111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT(内面)	100%	-											維持規格JSME S NA1-2008 (重大事故等クラス2機器)	
		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	全長の100%	1箇所	水中UT(内面)	100%									100%	-		維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014 (重大事故等クラス2機器)	
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT(内面)	100%	-												維持規格JSME S NA1-2008 (重大事故等クラス2機器)
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	全長の100%	1箇所	水中UT(内面)	100%									100%	-		維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014 (重大事故等クラス2機器)	
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT(内面)	100%	-												維持規格JSME S NA1-2008 (重大事故等クラス2機器)
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	全長の100%	1箇所	水中UT(内面)	100%									100%	-		維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014 (重大事故等クラス2機器)	
B3. 105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	全長の100%	1箇所	水中UT(内面)	100%	-								100%	-		(重大事故等クラス2機器)	
B3. 10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%	4箇所	水中UT(内面)	各100%	-								A、B C、D	-		(重大事故等クラス2機器)	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%	4箇所	水中UT(内面)	各100%	-								A、B C、D	-		(重大事故等クラス2機器)	
B3. 20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	全数の100%	4箇所	水中UT(内面)	各100%	-								A、B C、D	-		(重大事故等クラス2機器)	
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	全数の100%	4箇所	水中UT(内面)	各100%	-								A、B C、D	-		(重大事故等クラス2機器)	
B5. 10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%	4箇所	UT及びPT	各100%	-		A (PT)			-	B (PT)	C、D (PT)	A、B C、D (水中UT)	-		(重大事故等クラス2機器)	
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%	4箇所	UT及びPT	各100%	-	A (PT)	B (PT)			-	C (PT)	D (PT)	A、B C、D (水中UT)	-		(重大事故等クラス2機器)	
B6. 10	B-G-1	ナット	VT-1	全数の100%	54個	VT-1	100%	-	7	7	12	-	7	7	7	-	7	(重大事故等クラス2機器)		
B6. 30	B-G-1	スタッドボルト	体積	全数の100%	54本	UT	100%	-	7	7	12	-	7	7	7	-	7	(重大事故等クラス2機器)		
B6. 40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	全数の100%	54箇所	UT	可能範囲100%	-		18					18	-	18	ガイドスタッド近傍は検査不可能 (重大事故等クラス2機器)		
B6. 50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	全数の100%	54個	VT-1	100%	-	7	7	12	-	7	7	7	-	7	(重大事故等クラス2機器)		
B7. 10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマクランプ用ボルト・ナット	VT-1	全数の25%	3箇所/ 1組 ×4組	VT-1	25% (1組)	-		1組 #66							-		(重大事故等クラス2機器)	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器(2/2)

別表-1(2/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)													備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第22回	2026年 第一回	2027年 第23回		2028年 第23回		
G1.10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	全範囲の 7.5% 各検査時期毎	1基	VT-3 (水中TV)	可能範囲 100% 約3年毎	-	可能範囲 100%										維持規格JSME S NA1-2008 (重大事故等クラス2機器)		
G1.10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	全範囲の 7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	可能範囲 100% 約3年毎						可能範囲 100%	-		可能範囲 100%		-	可能範囲 100%	維持規格JSME S NA1- 2012/2013/2014 (重大事故等クラス2機器)	
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	全範囲の 7.5%	6箇所	VT-3 (水中TV)	可能範囲 100%	-								可能範囲 100%		-		下部炉心構造物取出し時に実施 (重大事故等クラス2機器)	
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	可能範囲 100%	-											-	可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)
G1.50	G-P-2	下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	可能範囲 100%	-									可能範囲 100%		-		下部炉心構造物取出し時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B14.10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は 表面	最外周 25%	最外周 20箇所 (全62箇所)	PT	最外周 可能範囲 25% (11箇所)	-	1	2			2	-	2	1	1		-	2	1構造上UTは不可 2.上部は構造的に実施困難 (重大事故等クラス2機器)
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)			最外周 24箇所 (全66箇所)																
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	●	●		●	-	○	○	○			-	○	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%	8箇所	VT-3	25% (2箇所)	-		B 出口側				-	D 出口側					-	但し、目視可能な範囲のみとする。 (重大事故等クラス2機器)

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

2. 加圧器(1/2)

別表-1(3/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)														備 考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第22回	2026年 第一回	2027年 第23回		2028年			
B2. 11	B-B	上部鏡板と上部胴との周継手	体積	全長の 5%	1箇所	UT	5%	-	5%				-					-		(重大事故等クラス2機器)		
		下部胴と下部鏡板との周継手	体積	全長の 5%	1箇所	UT	5%	-								5%		-			(重大事故等クラス2機器)	
B2. 12	B-B	上部胴の長手継手	体積	全長の 10%	2箇所	UT	各10%	-	B10%			A10%	-					-			(重大事故等クラス2機器)	
		中間胴の長手継手	体積	全長の 10%	2箇所	UT	各10%	-		A10%			-			B10%		-			(重大事故等クラス2機器)	
		下部胴の長手継手	体積	全長の 10%	2箇所	UT	各10%	-					-	A10%				-	B10%		(重大事故等クラス2機器)	
B2. 13	B-B	上部胴と中間胴との周継手	体積	全長の 5%	1箇所	UT	5%	-		5%			-					-			(重大事故等クラス2機器)	
		中間胴と下部胴との周継手	体積	全長の 5%	1箇所	UT	5%	-							5%			-			(重大事故等クラス2機器)	
B3. 30	B-D	安全弁用管台と容器との溶接継手	体積	全数の 25%	3箇所	UT	33% (2箇所)	-	スプレー 用管台		逃がし弁 用管台	-										(重大事故等クラス2機器)
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手			1箇所																	
		スプレー用管台と容器との溶接継手			1箇所																	
		サージ用管台と容器との溶接継手			1箇所																	
B3. 40	B-D	安全弁用管台内面の丸みの部分	体積	全数の 25%	3箇所	UT	33% (2箇所)	-	スプレー 用管台		逃がし弁 用管台	-										(重大事故等クラス2機器)
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			1箇所																	
		スプレー用管台内面の丸みの部分			1箇所																	
		サージ用管台内面の丸みの部分			1箇所																	

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

2. 加圧器(2/2)

別表-1(4/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)											備 考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回		2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回
B5. 40	B-F	安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の25%	3箇所	UT及びPT	33% (2箇所)	-		スプレイ用管台 (UT,PT)	サージ用管台 (UT)		-	サージ用管台 (PT)				-	
		逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手			1箇所														
		スプレイ用管台とセーフエンドとの溶接継手			1箇所														
		サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手			1箇所														
B7. 20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	全数の25%	16本/ 1箇所 ×1基	VT-1	25% (4本)	-		1			-		1	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)
B8. 20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面又は体積	全長の7.5%	1箇所	UT	7.5%	-					-		7.5%		-		(重大事故等クラス2機器)
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	100%	-	●	●	●	-	○	○	○	○	-	○	(重大事故等クラス2機器)
F1. 41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)	VT-3	全数の25%	1箇所/ 1基	VT-3	100%	-					-		100%		-		(重大事故等クラス2機器)

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

3. 蒸気発生器(1/1)

別表-1(5/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)													備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第22回	2026年 第一回		2027年 第23回	2028年 第24回				
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基 全長の 25%	1箇所/ 1基×4 基	UT	代表1基の 25%	-	A 9%				-	A 8%				-	A 8%	(重大事故等クラス2機器)			
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基 全長の 25%	1箇所/ 1基×4 基	UT	代表1基の 50% (1箇所 /1基)	-					-	B 入口側						-		(重大事故等クラス2機器)	
		冷却材出口管台の内面の丸みの部分			1箇所/ 1基×4 基																		
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全長の 25%	1箇所/ 1基×4 基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所 /1基)	-		A入口側 (UT,PT)			-								-	*1 (重大事故等クラス2機器)	
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手			1箇所/ 1基×4 基																		*1 (重大事故等クラス2機器)
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側)	VT-1	代表1基 全長の 25%	16本/ 1基×4 基	VT-1	代表1基の 50% (16本 /1基)	-		A 入口側 4本			-	A 入口側 6本						-	A 入口側 6本	(重大事故等クラス2機器)	
		1次側マンホールボルト(出口側)			16本/ 1基×4 基																		
B8. 30	B-H	水室鏡とサポートパッドとの溶接継手	表面	代表1基 全長の 7.5%	4箇所/ 1基×4 基	PT	代表1基の 25% (1箇所)	-				A1	-										(重大事故等クラス2機器)
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	●	●	●	-	○	○	○							○	(重大事故等クラス2機器)
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%	4箇所/ 1基×4 基	VT-3	代表1基の 100% (4箇所)	-				A4	-										(重大事故等クラス2機器)

*1:検査方法のうちUTについては、NISA文書「定期事業者検査における超音波探傷試験の代替措置計画策定について」の検査対象

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(1/3)

別表-1(6/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10年)													備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第22回	2026年 第一回	2027年 第23回		2028年 第23回		
B7. 50	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締め付け部	1次冷却材ポンプ封水注入ライン(A, B, C, Dループ)	VT-1	全数の25%	4組/1箇所×4箇所	VT-1	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
B9. 11	B-J	配管の同種金属溶接継手(呼び径100A以上:周継手)	1次冷却材管	体積	全数の25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	-	2 A	2 B, C	1 B	-	2 A, C	1 B	2 D	-	2 C, D	(重大事故等クラス2機器)		
			加圧器サージライン	体積	全数の25%	8箇所	UT	25% (2箇所)	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
			加圧器安全弁ライン	体積	全数の25%	27箇所	UT	25% (7箇所)	-	1	1	-	-	1	1	1	-	-	2	-	(重大事故等クラス2機器)
			加圧器逃がし弁ライン	体積	全数の25%	6箇所	UT	33% (2箇所)	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
			加圧器スプレイライン	体積	全数の25%	57箇所	UT	26% (15箇所)	-	1	2	3	-	1	2	4	-	-	2	-	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入ロライン	体積	全数の25%	32箇所	UT	25% (8箇所)	-	1	1	2	-	1	-	-	2	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)
			SIS蓄圧注入ライン	体積	全数の25%	56箇所	UT	25% (14箇所)	-	2	1	5	-	1	-	-	4	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	体積	全数の25%	20箇所	UT	25% (5箇所)	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)
B9. 21	B-J	配管の同種金属溶接継手(呼び径100A未満:周継手)	加圧器逃がし弁ライン	表面	全数の25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)	
			加圧器補助スプレイライン	表面	全数の25%	22箇所	PT	27% (6箇所)	-	1	-	-	-	2	-	2	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)	
			抽出及びドレンライン	表面	全数の25%	33箇所	PT	27% (9箇所)	-	1	1	1	-	1	1	2	-	2	-	(重大事故等クラス2機器)	
			CVCS充てんライン	表面	全数の25%	10箇所	PT	30% (3箇所)	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			CVCS充てんライン閉止分岐管	表面	全数の25%	1箇所	PT	100% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入ロライン	表面	全数の25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
			1次冷却材ポンプ封水注入ライン	表面	全数の25%	11箇所	PT	27% (3箇所)	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	(重大事故等クラス2機器)

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(2/3)

別表-1(7/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)													備 考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回		2027年 第一回	2028年 第23回	
B9. 21	B-J	配管の 同種金属 溶接継手 (呼び径100A 未満:周継手)	SIS高温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	29箇所	PT	27% (8箇所)	-	1	1			-	1	1	2	-	2		
			SIS低温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	-		1				-		1		-		(重大事故等クラス2機器)
B9. 31	B-J	母管と管台 との溶接継手 (呼び径100A 以上)	1次冷却材管	体積	全数の 25%	9箇所	UT	33% (3箇所)	-		1			-		1		-	1	(重大事故等クラス2機器)	
B9. 32	B-J	母管と管台 との溶接継手 (呼び径100A 未満)	1次冷却材管	表面	全数の 25%	32箇所	PT	25% (8箇所)	-	1	2	1	-	1		1	-	2		(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	100% (2箇所)	-			1	-			1	-			(重大事故等クラス2機器)	
			SIS蓄圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-			1	-						-		(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-					-		1			-		
			SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-						-		1			-	
B9. 40	B-J	ソケット 溶接継手	1次冷却材管	表面	全数の 25%	25箇所	PT	28% (7箇所)	-	1	1	1	-	1		1	1	-	2		
			加圧器補助スプレイライン	表面	全数の 25%	1箇所	PT	100% (1箇所)	-	1				-					-		
			抽出及びドレンライン	表面	全数の 25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	-		1			-		1			-		
			1次冷却材ポンプ封水 注入ライン	表面	全数の 25%	62箇所	PT	25% (16箇所)	-	2	2	2	-	3	2	3	-	2			
			SIS高温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	30箇所	PT	26% (8箇所)	-	2	1	1	-	1	1	1	-	1			
			SIS低温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	16箇所	PT	25% (4箇所)	-		1				-	1		1	-	1	(重大事故等クラス2機器)
B10. 20	B-K	耐圧部分への 支持部材の取 付け溶接継手	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-				1	-				-		(重大事故等クラス2機器)	
B15. 50	B-P	圧力保持範囲		VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	●	●	●	-	○	○	○	-	○	(重大事故等クラス2機器)		

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(3/3)

別表-1(8/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)													備 考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年		2027年	2028年			
								第一回	第17回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回		第23回				
F1. 10	F-A	支持構造物	加圧器サージライン	VT-3	全数の25%	7箇所	VT-3	28% (2箇所)	-	1				-	1			-		(重大事故等クラス2機器)		
			加圧器逃がし弁ライン	VT-3	全数の25%	10箇所	VT-3	30% (3箇所)	-	1					-	1			-	1	(重大事故等クラス2機器)	
			加圧器スプレライン	VT-3	全数の25%	61箇所	VT-3	26% (16箇所)	-	2	1		2		-	2	1	1	-	7		
			加圧器補助スプレライン	VT-3	全数の25%	30箇所	VT-3	26% (8箇所)	-	2	1		1		-	1		1	-	2		
			抽出及びドレンライン	VT-3	全数の25%	23箇所	VT-3	26% (6箇所)	-	1	1				-	1		2	-	1		
			CVCS充てんライン	VT-3	全数の25%	5箇所	VT-3	40% (2箇所)	-		1					-	1		-		(重大事故等クラス2機器)	
			1次冷却材ポンプ封水注入ライン	VT-3	全数の25%	27箇所	VT-3	25% (7箇所)	-	1	1		1		-	1		1	-	2		
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	全数の25%	24箇所	VT-3	25% (6箇所)	-			2				-	1	1	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3	全数の25%	30箇所	VT-3	26% (8箇所)	-	1	1		1		-	1	1	1	-	2	(重大事故等クラス2機器)	
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	全数の25%	12箇所	VT-3	25% (3箇所)	-			1				-	1		-	1		
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の25%	10箇所	VT-3	30% (3箇所)	-			1				-	1			-	1	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の25%	46箇所	VT-3	26% (12箇所)	-	1	2		3		-	1	1	2	-	2		
SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の25%	11箇所	VT-3	27% (3箇所)	-			1				-	1		-	1	(重大事故等クラス2機器)				

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

5. 1次冷却材ポンプ(1/1)

別表-1(9/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)														備 考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第22回	2025年 第23回	2026年 第一回	2027年 第2回		2028年 第3回			
B6. 180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の 25%	24本/ 1台×4台	UT	代表1台の 25% (6本/1台)	-	A 6				-					-		(重大事故等クラス2機器)		
B6. 190		主フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%	24箇所/ 1台×4台	VT-1	代表1台の 25% (6箇所/1台)	-	A 6				-					-		ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)		
B6. 200		主フランジナット・ワッシャ	VT-1	代表1台の 25%	24組/ 1台×4台	VT-1	代表1台の 25% (6組/1台)	-	A 6				-						-		(重大事故等クラス2機器)	
B12. 20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%	4台	VT-3	代表1台の 100% (1台)	-	A				-						-		ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)	
B15. 60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	●	●	●	-	○	○	○				-	○	(重大事故等クラス2機器)	
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の 25%	3箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (3箇所/1台)	-				A 3	-							-		(重大事故等クラス2機器)

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

6. 弁(1/2)

別表-1(10/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)												備 考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	2027年	2028年			
								第一回	第17回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	第22回		第一回	第23回				
B7. 70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台の25%	3台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-	3V-RC-056				-						3V-RC-055,3V-RC-056 3V-RC-057 (重大事故等クラス2機器)		
			加圧器逃がし弁ライン	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-	3V-RC-054A					-						3V-RC-054A・B (重大事故等クラス2機器)	
				VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-					3PCV-452B		-					3PCV-452A・B (重大事故等クラス2機器)	
			加圧器スプレライン	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-			3PCV-451A		-							3PCV-451A・B	
			加圧器補助スプレライン	VT-1	代表1台の25%	1台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-			3V-CS-169		-							3V-CS-169	
			抽出及びドレンライン	VT-1	代表1台の25%	1台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-				3V-RC-017		-							3V-RC-017
				VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-						-		3LCV-451					3LCV-451 3LCV-452
			CVCS充てんライン	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-					-		3V-CS-164					3V-CS-164,3V-CS-166 (重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-1	代表1台の25%	4台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-					-		3PCV-420					3PCV-420,3PCV-430 3V-RH-002A・B (重大事故等クラス2機器)	
			SIS蓄圧注入ライン	VT-1	代表1台の25%	8台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-					-			3V-SI-134C				3V-SI-134A・B・C・D 3V-SI-136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)	
SIS高温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台の25%	4台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-					-						3V-RH-051B	3V-RH-051A・B 3V-SI-082B・C				
SIS低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台の25%	4台	VT-1	代表1台の100%(1台)	-					-						3V-RH-050D	3V-RH-050A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)				
B12. 50	B-M-2	呼び径100Aを超える弁箱	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台の100%	3台	VT-3	代表1台の100%(1台)	-		3V-RC-055		-						3V-RC-055,3V-RC-056 3V-RC-057 (重大事故等クラス2機器)			
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台の100%	4台	VT-3	代表1台の100%(1台)	-		3PCV-420		-						3PCV-420,3PCV-430 3V-RH-002A・B (重大事故等クラス2機器)			
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3	代表1台の100%	8台	VT-3	代表1台の100%(1台)	-		3V-SI-134B		-							3V-SI-134A・B・C・D 3V-SI-136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)		
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台の100%	4台	VT-3	代表1台の100%(1台)	-				-		3V-RH-051A					3V-RH-051A・B 3V-SI-082B・C		
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台の100%	4台	VT-3	代表1台の100%(1台)	-		3V-RH-050C		-								3V-RH-050A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)	
B15. 70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	100%	-	●	●	●	-	○	○	○	-	○		(重大事故等クラス2機器)			

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

6. 弁(2/2)

別表-1(11/11)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)												備 考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	2027年	2028年	
								第一回	第17回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	第22回		第一回	第23回		
F1. 41	F-A	支持構造物	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台の25%	1箇所/ 1台 ×3台	VT-3	代表1台の100% (1箇所)	-		3V-RC-055 1								3V-RC-055,3V-RC-056 3V-RC-057 (重大事故等クラス2機器)	
			加圧器逃がし弁ライン	VT-3	代表1台の25%	2箇所/ 1台 ×2台	VT-3	代表1台の100% (2箇所)	-		3V-RC-054B 2									3V-RC-054A・B (重大事故等クラス2機器)
				VT-3	代表1台の25%	2箇所/ 1台 ×2台	VT-3	代表1台の100% (2箇所)	-				3PCV-452A 2							3PCV-452A・B (重大事故等クラス2機器)
			加圧器スプレライン	VT-3	代表1台の25%	2箇所/ 1台 ×2台	VT-3	代表1台の100% (2箇所)	-							3PCV-451B 2				3PCV-451A・B
			加圧器補助スプレライン	VT-3	代表1台の25%	1箇所/ 1台 ×1台	VT-3	代表1台の100% (1箇所)	-							3V-CS-169 1				3V-CS-169
			抽出及びドレンライン	VT-3	代表1台の25%	2箇所/ 1台 ×2台	VT-3	代表1台の100% (2箇所)	-										3LCV-452 2	3LCV-451 3LCV-452
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台の25%	1箇所/ 1台 ×4台	VT-3	代表1台の100% (1箇所)	-								3PCV-420 1			

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 蒸気発生器

別表-2(1/14)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)													備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回	
C1. 10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×4基	UT	代表1基の 7.5%	/	-				B 7.5%	-				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
		円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×4基	UT	代表1基の 7.5%	/	-				B 7.5%	-				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
		上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×4基	UT	代表1基の 7.5%	/	-				-	B 7.5%				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
C1. 20	C-A	上部鏡板と上部胴の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×4基	UT	代表1基の 7.5%	/	-				-		B 7.5%			-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
C1. 30	C-A	下部胴と管板の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×4基	UT	代表1基の 7.5%	/	-				-			B 7.5%		-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
C2. 21	C-B	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 7.5%	1箇所/ 1基×4基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所/1基)	/	-				B 出口側	-				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
		1箇所/ 1基×4基			免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)														
C2. 22	C-B	給水入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基 全数の 7.5%	1箇所/ 1基×4基	UT	代表1基の 50% (1箇所/1基)	/	-				B 出口側	-				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
		1箇所/ 1基×4基																	

2. 余熱除去冷却器

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)													備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回	
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5%	A 7.5%	-					-				-	(重大事故等クラス2機器)
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5%		-					-	A 7.5%			-	(重大事故等クラス2機器)
C2. 21	C-B	管側入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所/1基)	/	-			A 入口側	-					-	(重大事故等クラス2機器)
		1箇所/ 1基×2基																	
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%	48本/ 1基×2基	UT	代表1基の 100% (48本/1基)	A 16本	-				A 16本	-		A 16本	-	(重大事故等クラス2機器)	

クラス2機器供用期間中検査10年計画

3. 格納容器スプレイ冷却器

別表-2(2/14)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)													備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5%	/	-			A 7.5%	-				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5%	/	-			A 7.5%	-				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%	48本/ 1基×2基	UT	代表1基の 100% (48本/1基)	/	-		A 16本		-		A 16本		-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(1/5)

別表-2(3/14)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)													備 考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年			
								第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回		第一回			
C3. 20	C-C	支持部材取付け溶接継手	高圧注入ポンプ出口ライン(1)	表面	全数の7.5%	7箇所	PT	14% (1箇所)	1	-				-				-	(重大事故等クラス2機器)		
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)		-	1				-				-	(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去ポンプ入ロライン	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)		-		1			-				-	(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器出ロライン	表面	全数の7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)		-			1		-				-	(重大事故等クラス2機器)	
			SIS高温側低圧注入ライン	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)		-	1				-				-		
			SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)		-					-	1			-	(重大事故等クラス2機器)	
			格納容器再循環サンプ出ロライン	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)		-					-			1	-	(重大事故等クラス2機器)	
			主給水ライン	表面	全数の7.5%	12箇所	PT	8% (1箇所)		/	-				1	-				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
			主蒸気ライン	表面	全数の7.5%	8箇所	PT	12% (1箇所)		/	-					-	1			-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ出口ライン(2)	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)		/	-					-	1			-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
			燃料取替用水ピット入ロライン	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)		/	-				1	-				-	免除規定適用除外箇所

クラス2機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(2/5)

別表-2(4/14)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)													備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回				
C5. 11	C-F	呼び径100Aを 超える管で公 称厚さが 9.5mmを超える 溶接継手	充てんポンプ出口ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	4箇所	UT及び PT	25% (1箇所)	1	-				-				-	(重大事故等クラス2機器)			
			余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	67箇所	PT	8% (6箇所)	1	-	1	1	1	-		1	1	-	(重大事故等クラス2機器)			
			余熱除去ポンプ出口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	1	-				-					-	(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去冷却器出口ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	44箇所	UT及び PT	9% (4箇所)	1	-	1			-	1			1	-	(重大事故等クラス2機器)		
			SIS高温側低圧注入ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	16箇所	UT及び PT	12% (2箇所)	1	-				1	-					-		
			SIS低温側低圧注入ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	38箇所	UT及び PT	7.8% (3箇所)	1	-					1	-			1	-	(重大事故等クラス2機器)	
			高圧注入ポンプ出口ライン(1)	体積及び 表面	全数の 7.5%	41箇所	UT及び PT	9% (4箇所)	1	-			1		-			1		-	(重大事故等クラス2機器)	
			格納容器再循環サンプ 出口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	2箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全箇所、格納容器貫通部の ため検査不可 (重大事故等クラス2機器)
			燃料取替用水ピット出口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)	1	-					-					-	(重大事故等クラス2機器)	
			主給水ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	46箇所	UT及び PT	8% (4箇所)	/	-					1	-			1		-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
			C/V漏えい試験空気出口 配管貫通部ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)	/	-					1	-					-	免除規定適用除外箇所
			主蒸気ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	72箇所	UT及び PT	8% (6箇所)	/	-					1	-	1	1	1	-	-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
			タービン動補助給水ポンプ 蒸気供給ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	14箇所	PT	14% (2箇所)	/	-					1	-			1		-	免除規定適用除外箇所
			高圧注入ポンプ出口ライン(2)	体積及び 表面	全数の 7.5%	12箇所	UT及び PT	8% (1箇所)	/	-					-	-	1				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
燃料取替用水ピット入口ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	8箇所	UT及び PT	12% (1箇所)	/	-					-	-	1				-	免除規定適用除外箇所			
格納容器給気ダクトライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	2箇所	UT及び PT	50% (1箇所)	/	-					-	-			1		-	免除規定適用除外箇所			
格納容器排気ダクトライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	2箇所	UT及び PT	50% (1箇所)	/	-					-	-				1	-	免除規定適用除外箇所			

クラス2機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(3/5)

別表-2(5/14)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)														備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回	2031年 第一回				
C5. 12	C-F	呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面	全数の7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)		-	1			-				-	(重大事故等クラス2機器)		
			燃料取替用水ピット出口ライン	体積又は表面	全数の7.5%	4箇所	PT	25% (1箇所)		-	1			-					-	(重大事故等クラス2機器)	
			主蒸気ライン	体積及び表面	全数の7.5%	64箇所	UT及びPT	7.8% (5箇所)	/	-				1	-	1	1	1	-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)	
C5. 21	C-F	呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さが5mmを超える溶接継手	高圧注入ポンプ出口ライン(1)	表面	全数の7.5%	91箇所	PT	7.6% (7箇所)	1	-	1			2	-		2		-	(重大事故等クラス2機器)	
			封水注入ライン	表面	全数の7.5%	12箇所	PT	8% (1箇所)		-		1		-					-		
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	表面	全数の7.5%	17箇所	PT	11% (2箇所)	1	-					-	1				-	(重大事故等クラス2機器)
			SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	40箇所	PT	10% (4箇所)	1	-		1	1		-			1		-	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	36箇所	PT	8% (3箇所)	1	-		1			-		1			-	
			高圧注入ポンプミニマムフローライン	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	/	-					1	-					-
C5. 30	C-F	ソケット溶接継手	封水注入ライン	表面	全数の7.5%	19箇所	PT	10% (2箇所)	1	-				-		1			-		
			SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	20箇所	PT	10% (2箇所)	1	-				-	1				-	(重大事故等クラス2機器)	
			SIS高温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	20箇所	PT	10% (2箇所)	1	-				-	1				-		
			高圧注入ポンプミニマムフローライン	表面	全数の7.5%	14箇所	PT	14% (2箇所)	/	-				1	-		1			-	免除規定適用除外箇所
C5. 41	C-F	呼び径50Aを超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手	高圧注入ポンプ出口ライン(1)	表面	全数の7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)		-			1	-				-	(重大事故等クラス2機器)		

クラス2機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(4/5)

別表-2(6/14)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)													備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回	2031年 第一回				
F1. 21	F-A	支持構造物	充てんポンプ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	1箇所	VT-3	100% (1箇所)	1	-				-				-	(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	47箇所	VT-3	8% (4箇所)	1	-	1	1			-		1		-	(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	15箇所	VT-3	13% (2箇所)	1	-					-	1				-	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	20箇所	VT-3	10% (2箇所)	1	-					-			1		-	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	43箇所	VT-3	9% (4箇所)	1	-	1	1			-		1			-	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器バイパスライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)		-	1				-					-	
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	2箇所	VT-3	50% (1箇所)		-		1			-					-	
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	8箇所	VT-3	12% (1箇所)		-					-		1			-	(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ出口ライン(1)	VT-3	全数の 7.5%	63箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	1	-		1	1		-		1	1		-	(重大事故等クラス2機器)
			封水注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	23箇所	VT-3	8% (2箇所)	1	-					-	1				-	
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	11箇所	VT-3	9% (1箇所)		-	1				-					-	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	14箇所	VT-3	14% (2箇所)	1	-					-		1			-	
			SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	44箇所	VT-3	9% (4箇所)	1	-	1	1			-			1		-	(重大事故等クラス2機器)
格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	16箇所	VT-3	12% (2箇所)	1	-					-		1			-	(重大事故等クラス2機器)			
燃料取替用水ピット出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	8箇所	VT-3	12% (1箇所)	1	-					-					-	(重大事故等クラス2機器)			

クラス2機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(5/5)

別表-2(7/14)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)													備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回				
F1. 21	F-A	支持構造物	1次冷却材ポンプ戻り母管ライン	VT-3	全数の 7.5%	1箇所	VT-3	100% (1箇所)	/	-			1	-				-	免除規定適用除外箇所			
			格納容器スプレイポンプ 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	14箇所	VT-3	14% (2箇所)	/	-			1	-		1			-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)		
			格納容器スプレイポンプ フルフローライン	VT-3	全数の 7.5%	2箇所	VT-3	50% (1箇所)	/	-				1	-					-	免除規定適用除外箇所	
			格納容器スプレイポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)	/	-					-	1				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)	
			格納容器スプレイ冷却器 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	2箇所	VT-3	50% (1箇所)	/	-					-		1			-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)	
			格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	22箇所	VT-3	9% (2箇所)	/	-					1	-			1	-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)	
			格納容器減圧パーズライン	VT-3	全数の 7.5%	1箇所	VT-3	100% (1箇所)	/	-						-	1			-	免除規定適用除外箇所	
			主給水ライン	VT-3	全数の 7.5%	74箇所	VT-3	8% (6箇所)	/	-					1	-	1	1	1	-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)	
			主蒸気ライン	VT-3	全数の 7.5%	50箇所	VT-3	8% (4箇所)	/	-					1	-		1		-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)	
			タービン動補助給水ポンプ 蒸気供給ライン	VT-3	全数の 7.5%	7箇所	VT-3	14% (1箇所)	/	-						-			1	-	免除規定適用除外箇所	
			燃料取替用水ピット連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	1箇所	VT-3	100% (1箇所)	/	-					1	-					-	免除規定適用除外箇所
			高圧注入ポンプ入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	27箇所	VT-3	11% (3箇所)	/	-						-	1			1	-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ出口ライン(2)	VT-3	全数の 7.5%	10箇所	VT-3	10% (1箇所)	/	-					1	-					-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
			燃料取替用水ピット入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)	/	-						-	1				-	免除規定適用除外箇所
高圧注入ポンプ ミニマムフローライン	VT-3	全数の 7.5%	12箇所	VT-3	8% (1箇所)	/	-					1	-					-	免除規定適用除外箇所			

クラス2機器供用期間中検査10年計画

5. 充てんポンプ																	別表-2(8/14)		
維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014							大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備 考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回	
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	全数の 7.5%	16箇所/ 1台×2台	PT	全数の9% (3箇所)	A 1箇所	-			A 1箇所		-			A 1箇所	-	(重大事故等クラス2機器)
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台 の7.5%	16本/1台 ×2台	UT	代表1台の 12% (2本/1台)	A 1本	-					-		A 1本		-	(重大事故等クラス2機器)
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	1箇所/1 台×2台	PT	代表1台の 100% (1箇所/1台)		-					-			A 100%	-	(重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)		-					-		A 100%		-	(重大事故等クラス2機器)

6. 充てんポンプ(往復動式)																			
維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014							大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備 考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回	
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	全数の 7.5%	1箇所/ 1台	VT-3	100% (1箇所/ 1台)		-		100%			-				-	(重大事故等クラス2機器)

7. 余熱除去ポンプ																			
維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014							大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備 考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回	
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	PT	代表1台の 50% (1箇所/1台)	B 1箇所	-					-				-	(重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)		-					-		B 100%		-	(重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

8. 高圧注入ポンプ

別表-2(9/14)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014							大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回	
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	全数の7.5%	16箇所/ 1台×2台	PT	全数の9% (3箇所)	/	-				B 1箇所	-		B 1箇所		-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台 の7.5%	16本/ 1台×2台	UT	代表1台の 12% (2本/1台)	/	-					-	B 1本	B 1本		-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
C5. 30	C-F	バランスフランジ及びバランス管の 耐圧部分の溶接継手	表面	全数の 7.5%	2箇所/ 1台×2台	PT	全数の25% (1箇所)	/	-					-	B 1箇所			-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
C6. 10	C-G	外部ケーシング、ケーシングカバー及び バランス管台の溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	4箇所/ 1台×2台	PT	代表1台の 25% (1箇所/1台)	/	-					-		B 1箇所		-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	/	-								B 100%	-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)

9. 格納容器スプレイポンプ

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014							大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回		2031年 第一回	
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	PT	代表1台の 50% (1箇所/1台)	/	-				A 1箇所	-				-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	/	-					-	A 100%			-	免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

10. クラス2弁		維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)											別表-2(10/14)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年 第19回	2023年 第一回	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 第一回	2028年 第23回	2029年 第24回	2030年 第25回	2031年 第一回	備考		
C6. 20	C-G	本体の 溶接継手	高圧注入ポンプ ミニマムフローライン	表面	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×4台	PT	代表1台の 100% (1箇所/1台)	/	-			3V-SI- 015B	-				-	3V-SI-015A・B 3V-SI-016A・B 免除規定適用除外箇所		
				表面	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×2台	PT	代表1台の 100% (1箇所/1台)	/	-				3V-SI- 014B	-				-	3V-SI-014A・B 免除規定適用除外箇所	
F1. 43	F-A	支持構造物	余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	/	-			3HCV- 603 2	-					-	3HCV-603、3HCV-613 (重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	/	-								3V-RH- 043A 2	-	3V-RH-043A・B (重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器バイパスライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	/	-				3FCV- 614 2	-				-	3FCV-604、3FCV-614	
			封水注入ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	/	-				3V-SI- 026A 1	-				-	3V-SI-026A・B	
			格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	/	-									3V-SI- 093A 2	-	3V-SI-093A・B (重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ出口ライン(1)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	/	-								3V-ES- 164B 2	-	3V-ES-164A・B	
			格納容器貫通部出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	/	-					3V-CC- 198D 1	-				-	3V-CC-198C・D 免除規定適用除外箇所
			1次冷却材ポンプ戻り母管ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	/	-					3V-CC- 427 1	-				-	3V-CC-427 免除規定適用除外箇所
			格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	/	-					3V-CP- 024A 1	-				-	3V-CP-024A・B 免除規定適用除外箇所
			主給水ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	/	-							3V-FW- 520B 1			-	3V-FW-520A・B・C・D 免除規定適用除外箇所
			主蒸気ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	/	-								3V-MS- 523B 2		-	3V-MS-523A・B・C・D 免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
			タービン動補助給水ポンプ 蒸気供給ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	/	-								3V-MS- 575B 1		-	3V-MS-575A・B 免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	/	-							3V-SI- 002B 2			-	3V-SI-002A・B 免除規定適用除外箇所 (重大事故等クラス2機器)
高圧注入ポンプ ミニマムフローライン	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	/	-						3V-SI- 015B 1	-			-	3V-SI-015A・B 3V-SI-016A・B 免除規定適用除外箇所			

クラス2機器供用期間中検査10年計画

11. クラス2機器漏えい検査(2/4)

別表-2(12/14)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014		運転圧力又は最高使用圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)								備考		
		検査の対象箇所	ライン名				2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年		2030年	2031年
							第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回		第25回	第一回
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	安全注入系統	B高圧注入ポンプ出口ライン(1)	10. 01	10. 01	VT-2	●	-				-			-		
			B高圧注入ポンプ出口ライン(2)	10. 01	10. 01	VT-2		-	○			-			-	RCS漏えい検査時実施	
			格納容器再循環サブ出口ライン	水張り	水張り	VT-2		-		○		-			-	ガードパイプ内包部分は検査不可	
			蓄圧タンク及び出入口ライン	4. 42	4. 42	VT-2		-		○		-			-	一部気圧検査	
			燃料取替用水ピット出入口ライン	水張り	水張り	VT-2	●	-				-			-		
			蓄圧タンク窒素充てんライン	4. 42	4. 42	VT-2		-		○		-			-		
			蓄圧タンク注入ライン	10. 01	10. 01	VT-2		-		○		-			-		
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	余熱除去系統	A余熱除去ポンプ入口ライン	2. 75	2. 75	VT-2		-	○			-		-			
			B余熱除去ポンプ入口ライン	2. 75	2. 75	VT-2		-	○			-		-			
			A余熱除去ポンプ出口ライン	3. 78	3. 78	VT-2		-		○		-		-			
			B余熱除去ポンプ出口ライン	3. 78	3. 78	VT-2		-	○			-		-			
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	格納容器スプレイ系統	A格納容器スプレイポンプ入口ライン	0. 19	0. 19	VT-2		-		○		-		-			
			B格納容器スプレイポンプ入口ライン	0. 19	0. 19	VT-2		-		○		-		-			
			A格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)	1. 97	1. 97	VT-2		-		○		-		-			
			A格納容器スプレイポンプ出口ライン(2)	1. 97	1. 97	VT-2		-		○		-		-	気圧検査		
			B格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)	1. 97	1. 97	VT-2		-		○		-		-			
			B格納容器スプレイポンプ出口ライン(2)	1. 97	1. 97	VT-2		-			○	-		-	気圧検査		
			よう素除去薬品タンク及び出入口ライン	0. 03	0. 03	VT-2		-	○			-		-	一部気圧検査		
			Aよう素除去薬品タンク出口ライン	水張り	水張り	VT-2		-			○	-		-			
Bよう素除去薬品タンク出口ライン	水張り	水張り	VT-2		-		○		-		-						

クラス2機器供用期間中検査10年計画

11. クラス2機器漏えい検査(3/4)

別表-2(13/14)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014		運転圧力又は最高使用圧力(MPa)	検査圧力(MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)								備考		
		検査の対象箇所					2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年		2030年	2031年
		系統名	ライン名				第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回		第25回	第一回
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	格納容器スプレイ系統	PH調整剤タンク及び出入口ライン	0.03	0.03	VT-2		-		○	-				-	一部気圧検査	
C7. 10 C7. 30 C7. 70	C-H	主蒸気系統	A蒸気発生器蒸気出口ライン	4.62	4.62	VT-2		-			○	-				-	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器蒸気出口ライン	4.62	4.62	VT-2		-			○	-				-	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器蒸気出口ライン	4.62	4.62	VT-2		-			○	-				-	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器蒸気出口ライン	4.62	4.62	VT-2		-			○	-				-	RCS漏えい検査時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	主給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン	4.62	4.62	VT-2		-			○	-				-	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器給水入口ライン	4.62	4.62	VT-2		-			○	-				-	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器給水入口ライン	4.62	4.62	VT-2		-			○	-				-	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器給水入口ライン	4.62	4.62	VT-2		-			○	-				-	RCS漏えい検査時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	蒸気発生器ブローダウン系統	A蒸気発生器ブローダウンライン	4.62	4.62	VT-2		-				-	○			-	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器ブローダウンライン	4.62	4.62	VT-2		-				-	○			-	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器ブローダウンライン	4.62	4.62	VT-2		-				-	○			-	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器ブローダウンライン	4.62	4.62	VT-2		-				-	○			-	RCS漏えい検査時実施
			A蒸気発生器ブローダウンサンプルライン	4.62	4.62	VT-2		-				-	○			-	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器ブローダウンサンプルライン	4.62	4.62	VT-2		-				-	○			-	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器ブローダウンサンプルライン	4.62	4.62	VT-2		-				-	○			-	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器ブローダウンサンプルライン	4.62	4.62	VT-2		-				-	○			-	RCS漏えい検査時実施
C7. 30 C7. 70	C-H	制御用空気系統	A制御用空気ライン	0.74	0.74	VT-2		-				-	○			-	
			B制御用空気ライン	0.74	0.74	VT-2		-				-	○			-	
C7. 30 C7. 70	C-H	所内用空気系統	所内用空気ライン	0.7	0.7	VT-2		-				-	○			-	

クラス2機器供用期間中検査10年計画

11. クラス2機器漏えい検査(4/4)

別表-2(14/14)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014		運転圧力又は最高使用圧力(MPa)	検査圧力(MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考
		系統名	検査の対象箇所 ライン名				2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	
							第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回	第一回	
C7. 30 C7. 70	C-H	試料採取系統	加圧器液相部、気相部サンプル及び1次冷却材サンプルライン	15. 41	15. 41	VT-2		-						○		-	
			Dループ高温側サンプルライン	15. 41	15. 41	VT-2		-						○		-	
			蓄圧タンクサンプルライン	4. 42	4. 42	VT-2		-						○		-	
C7. 30 C7. 70	C-H	燃料取替用水系統	原子炉キャビティ浄化ライン(1)	水張り	水張り	VT-2		-						○		-	
			原子炉キャビティ浄化ライン(2)	水張り	水張り	VT-2		-						○		-	
C7. 30 C7. 70	C-H	廃棄物処理系統	格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン	0. 6	0. 6	VT-2		-						○		-	
			格納容器サブポンプ出口ライン	0. 2	0. 2	VT-2		-						○		-	
C7. 30 C7. 70	C-H	1次系洗浄水系統	1次系洗浄水ライン	0. 7	0. 7	VT-2		-							○	-	
C7. 30 C7. 70	C-H	原子炉補機冷却水系統	CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン	0. 7	0. 7	VT-2		-							○	-	
			CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン	0. 2	0. 2	VT-2		-							○	-	
			RCP冷却水入ロライン	0. 7	0. 7	VT-2		-							○	-	
			RCP冷却水出ロライン	0. 2	0. 2	VT-2		-							○	-	
C7. 30 C7. 70	C-H	化学体積制御系統	封水戻りライン	0. 20	0. 20	VT-2		-					○		-		
C7. 30 C7. 70	C-H	消火水系統	消火水ライン	0. 6	0. 6	VT-2		-						○	-		

クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去冷却器(胴側)

別表-3(1/7)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)													備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	
								第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回	第一回	
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 ×2基	VT-1	代表1基の 100% (2箇所)	A	-					-				-
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 ×2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)	A	-					-				-

2. 格納容器スプレイ冷却器(胴側)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)													備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	
								第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回	第一回	
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 ×2基	VT-1	代表1基の 100% (2箇所)		-		A			-				-
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 ×2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)		-		A			-				-

クラス3機器供用期間中検査10年計画

別表-3(2/7)

3. 配管

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)														備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	
									第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回	第一回	
D1. 20	D-A	配管の支持部材 取付け溶接継手	原子炉補機冷却 水系統	VT-1	全数の 7.5%	58箇所	VT-1	8% (5箇所)	1	-			2	-		1	1	-	
F1. 31	F-A	支持構造物	原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	401箇所	VT-3	7.7% (31箇所)	6	-		5	5	-	5	5	5	-	

4. 弁

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)														備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	
									第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回	第一回	
F1. 31	F-A	支持構造物	原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	1箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所)		-				-		1		-	
						2箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所)		-			-			2		-	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

5. クラス3機器漏えい検査

別表-3(3/7)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				運転圧力 又は 最高使用 圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所					2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	
		系統名	ライン名				第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回	第一回	
D2. 10 D2. 30	D-B	原子炉補機冷却水系統	A, B原子炉補機冷却水ポンプ 入ロライン	0. 34	0. 34	VT-2		-	○			-			-		
			C, D原子炉補機冷却水ポンプ 入ロライン	0. 34	0. 34	VT-2		-		○		-			-		
			原子炉補機冷却水サージタンク 及び出入ロライン	0. 02	0. 02	VT-2	●	-				-			-	一部気圧検査	
			A, B原子炉補機冷却水ポンプ 出ロライン	0. 96	0. 96	VT-2		-			○	-			-		
			C, D原子炉補機冷却水ポンプ 出ロライン	0. 96	0. 96	VT-2		-			○	-			-		
D2. 10 D2. 30	D-B	燃料ピット冷却浄化系統	使用済燃料ピットポンプ入ロライ ン	0. 18	0. 18	VT-2	●	-				-			-		
			A使用済燃料ピットポンプ出ロラ イン	0. 76	0. 76	VT-2		-	○			-			-		
			B使用済燃料ピットポンプ出ロラ イン	0. 76	0. 76	VT-2		-		○		-			-		
D2. 30	D-B	制御用空気系統	A制御用空気出ロライン	0. 64	0. 64	VT-2		-			○	-			-	気圧検査	
			B制御用空気出ロライン	0. 64	0. 64	VT-2		-			○	-			-	気圧検査	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

6. 原子炉補機冷却水冷却器

別表-3(4/7)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)												備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年
								第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回		第一回
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	代表1基の7.5%	3箇所/1基×2基	VT-1	代表1基の100%(3箇所)		-				-		A		-	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所/1基×2基	VT-3	代表1基の100%(3箇所)		-				-		A		-	

7. 海水ストレーナ

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)												備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年
								第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回		第一回
D1.10	D-A	鏡板とスカートとの溶接継手	VT-1	代表1基の7.5%	1箇所/1基×4基	VT-1	代表1基の100%(1箇所)		-			A	-				-	
F1.44	F-A	支持構造物(スカート)	VT-3	代表1基の7.5%	1箇所/1基×4基	VT-3	代表1基の100%(1箇所)		-			A	-				-	

8. 非常用ディーゼル発電機清水冷却器

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)												備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年
								第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回		第一回
D1.10	D-A	胴と当板脚との溶接継手	VT-1	代表1基の7.5%	2箇所/1基×2基	VT-1	代表1基の100%(2箇所)		-				-			A	-	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	2箇所/1基×2基	VT-3	代表1基の100%(2箇所)		-				-			A	-	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

9. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器

別表-3(5/7)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)												備 考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年
								第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回		第一回
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-1	代表1基の7.5%	2箇所/1基×2基	VT-1	代表1基の100%(2箇所)		-							A	-	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	2箇所/1基×2基	VT-3	代表1基の100%(2箇所)		-							A	-	

10. 配管

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)												備 考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年		2030年	2031年
									第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回		第25回	第一回
D1.20	D-A	配管の支持部材取付け溶接継手	原子炉補機冷却海水系統	VT-1	全数の7.5%	78箇所	VT-1	7.6%(6箇所)		-	2		1	-	1	1	1	-	
F1.31	F-A	支持構造物	原子炉補機冷却海水系統	VT-3	全数の7.5%	434箇所	RH: 140	7.8%(34箇所)		-	3		3	-		2	3	-	
							AN: 294			-	6		6	-	3	2	6	-	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

11. 弁

別表-3(6/7)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)													備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	
					3箇所	RH: 3			第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回		第一回	
F1.31	F-A	支持構造物 原子炉補機 冷却海水系統	VT-3	全数の7.5%	3箇所	RH: 3	VT-3	33% (1箇所)		-					-		1 (V- PMPW- 501)		-	

12. 原子炉補機冷却水ポンプ

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)													備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年		2031年	
					4箇所/1台 × 4台	VT-3			代表1台 の100% (4箇所)	第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回		第25回	第一回
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	4箇所/1台 × 4台	VT-3	代表1台 の100% (4箇所)		-						-		A		-	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

13. クラス3機器漏えい検査

別表-3(7/7)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				運転圧力又は最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)										備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所					2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	
		系統名	ライン名				第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	第一回	第23回	第24回	第25回	第一回	
D2.10 D2.30	D-B	原子炉補機冷却海水系統	A,B原子炉補機冷却海水ポンプ出口ライン	0.44	0.44	VT-2		-					○	-			
			C原子炉補機冷却海水ポンプ出口ライン	0.44	0.44	VT-2		-					○		-		
D2.10 D2.30	D-B	非常用ディーゼル発電機系統	A-非常用ディーゼル発電機冷却水ライン	0.44	0.44	VT-2		-					○		-		
			B-非常用ディーゼル発電機冷却水ライン	0.44	0.44	VT-2		-			○				-		
D2.10 D2.30	D-B	非常用ディーゼル発電機系統	A-非常用ディーゼル発電機起動空気ライン	2.501	2.501	VT-2		-		○					-		
			B-非常用ディーゼル発電機起動空気ライン	2.501	2.501	VT-2		-		○					-		

クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画

別表-4(1/1)

NRA文書(原規技発第1408063号) ※1※2					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考	
機器名	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査頻度	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年	2022年 第19回	2023年 -	2024年 第20回	2025年 第21回	2026年 第22回	2027年 -		2028年 第23回
原子炉 容器	原子炉容器底部の表面	-	-	100%/5年	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所		-	●			-			○		-		

- ※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、令和元年亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、令和元年亀裂解釈NRA文書改正を2020年4月1日より適用する。
- 亀裂解釈NRA文書 原規技発第1408063号(制定 平成26年8月6日)及び 原規技発第1906051号(改正 令和元年6月5日): 2020年4月1日(第18保全サイクル)~2021年7月20日
- ※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和3年7月21日原規技発第2107219号)の改正版(以下、令和3年亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行を踏まえ、令和3年亀裂解釈NRA文書改正を2021年7月21日より適用する。
- 亀裂解釈NRA文書 原規技発第1408063号(制定 平成26年8月6日)及び 原規技発第2107219号(改正 令和3年7月21日): 2021年7月21日(第19保全サイクル)~

クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画

別表-5(1/1)

NRA文書 原規技発第1408063号 ※1※2					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)																	備考		
項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2024年	
								第一回	第15回		第16回			第一回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回				
		配管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		抽出水ライン(3B)	体積	25%	19箇所	UT	5	—	1				2			—				1	—	1		
		充てんライン(3B)	体積	25%	35箇所	UT	9	—	2				3			—	1			1	—	2		(重大事故等クラス2機器)
		再生熱交換器連絡管	—	—	—	—	—	—	—	—			—			—	—	—	—	—	—	—	—	
		抽出水ライン連絡管(3B)	体積	25%	12箇所	UT	3	—					1			—		1		1	—			
		充てんライン連絡管(3B)	体積	25%	12箇所	UT	3	—					1			—	1				—	1		(重大事故等クラス2機器)

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、令和元年亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、令和元年亀裂解釈NRA文書改正を2020年4月1日より適用する。
 ・亀裂解釈NRA文書 原規技発第1408063号(制定 平成26年8月6日)及び 原規技発第1906051号(改正 令和元年6月5日):2020年4月1日(第18保全サイクル)~2021年7月20日
 ※2:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和3年7月21日原技発第2107219号)の改正版(以下、令和3年亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行を踏まえ、令和3年亀裂解釈NRA文書改正を2021年7月21日より適用する。
 ・亀裂解釈NRA文書 原規技発第1408063号(制定 平成26年8月6日)及び 原規技発第2107219号(改正 令和3年7月21日):2021年7月21日(第19保全サイクル)~

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉格納容器

別表-6(1/1)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)																	備 考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
									第16回					第一回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回		第21回	第23回	第一回
E8. 10	E-G	圧力保持用ボルト締付け部	機器搬入口(PEN #540)	VT-4	25%	1箇所	VT-4	25%						—					—		○		—	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 配管(1/2) 別表-8(1/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1							大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備 考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	
								第16回	第1回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回	第21回		第22回	
C3. 20	C-C	支持部材取付け溶接継手	原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	表面	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)		-	1				-				
			原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	表面	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)		-		1			-				
			主蒸気大気放出ライン	表面	全数の 7.5%	4箇所	PT	25% (1箇所)		-					-	1			
			タービン動補助給水ポンプ 出口ライン	表面	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)	/							-		1	免除規定適用除外箇所
			タービン動補助給水ポンプ 蒸気供給ライン	表面	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)	/							-		1	免除規定適用除外箇所
C5. 11	C-F	呼び径 100Aを超える 管で公称 厚さが 9.5mmを超 える溶接継 手	原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	11箇所	PT	9% (1箇所)		-		1			-				
			原子炉補機冷却水戻り母管	体積又は 表面	全数の 7.5%	14箇所	PT	14% (2箇所)		-	1				-	1			
			主蒸気大気放出ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	8箇所	UT及び PT	12% (1箇所)		-					-		1		
			電動補助給水ポンプ 出口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	34箇所	PT	8% (3箇所)	/							-		1	免除規定適用除外箇所
			タービン動補助給水ポンプ 出口ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	16箇所	UT及び PT	12% (2箇所)	/							-		1	免除規定適用除外箇所
				体積又は 表面	全数の 7.5%	10箇所	PT	10% (1箇所)	/							-		1	免除規定適用除外箇所
			補助給水ポンプバルブエア 入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	16箇所	PT	12% (2箇所)	/							-		1	免除規定適用除外箇所
タービン動補助給水ポンプ 蒸気供給ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	16箇所	PT	12% (2箇所)	/							-		1	免除規定適用除外箇所			
C5. 12	C-F	原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	11箇所	PT	9% (1箇所)		-					-			1		
		原子炉補機冷却水戻り母管	体積又は 表面	全数の 7.5%	18箇所	PT	11% (2箇所)		-		1			-			1		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 配管(2/2) 別表-8(2/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)													備 考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年		
								第16回	第1回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回	第21回		第22回		
F1. 21	F-A	支持構造物	原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	19箇所	VT-3	10% (2箇所)		-	1			1	-					
			原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	10箇所	VT-3	10% (1箇所)		-		1			-					
			格納容器再循環ユニット 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	54箇所	VT-3	9% (5箇所)		-	1	1			1	-		1	1	
			格納容器再循環ユニット 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	82箇所	VT-3	8% (7箇所)		-	2	1			1	-	1	1	1	
			RHR-CSS連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	3箇所	VT-3	14% (1箇所)		-					1	-				
			恒設代替低圧注水ポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	35箇所	VT-3	7.5% (3箇所)		-	1				1	-	1			
			可搬式代替低圧海水注入 ライン	VT-3	全数の 7.5%	2箇所	VT-3	50% (1箇所)		-						-	1			
			主蒸気大気放出ライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)		-		1				-				
			電動補助給水ポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	20箇所	VT-3	10% (2箇所)	斜線							-			1	免除規定適用除外箇所
			タービン動補助給水ポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	12箇所	VT-3	8% (1箇所)	斜線							-			1	免除規定適用除外箇所
			補助給水ポンプバルブエリア 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)	斜線							-			1	免除規定適用除外箇所
			格納容器再循環ユニット 海水放出ライン	VT-3	全数の 7.5%	38箇所	VT-3	7.8% (3箇所)	斜線							-			1	免除規定適用除外箇所
タービン動補助給水ポンプ 蒸気供給ライン	VT-3	全数の 7.5%	3箇所	VT-3	33% (1箇所)	斜線							-			1	免除規定適用除外箇所			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

2. 恒設代替低圧注水ポンプ

別表-8(3/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1						大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)											備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年
								第16回	第1回	第17回	第18回		第19回	第1回	第20回	第21回		第22回
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所/1台×1台	VT-3	代表1台の100% (2箇所/1台)		-					-			100%	

3. 電動補助給水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1						大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)											備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	
								第16回	第1回	第17回	第18回		第19回	第1回	第20回	第21回		第22回	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	PT	代表1台の50% (1箇所/1台)	/							-			A 1箇所	免除規定適用除外箇所
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100% (4箇所/1台)	/							-			A 100%	免除規定適用除外箇所

4. タービン動補助給水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1						大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)											備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	
								第16回	第1回	第17回	第18回		第19回	第1回	第20回	第21回		第22回	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	4箇所/1台×1台	PT	代表1台の25% (1箇所/1台)	/							-			1箇所	免除規定適用除外箇所
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所/1台×1台	VT-3	代表1台の100% (4箇所/1台)	/							-			100%	免除規定適用除外箇所

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

5. 弁

別表-8(4/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)												備 考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	
								第16回	第1回	第17回	第18回		第19回	第1回	第20回	第21回		第22回	
F1.43	F-A	支持構造物	格納容器再循環ユニット 出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)		-	3TCV- 2392A 2				-				3TCV-2392A
					1箇所/ 1台×1台														3TCV-2392D
			RHR-CSS連絡ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)		-					-	3V-RH- 061 2			3V-RH-061
			主蒸気大気放出ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)		-					-		3PCV- 3610 2		
			タービン動補助給水ポンプ 蒸気供給ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)						-			3V-MS- 570A 1	3V-MS-570A・B 免除規定適用除外箇所	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/4)

別表-8(5/35)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 ※1		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考	
		検査の対象箇所					2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年		
		系統名	ライン名				第16回	第1回	第17回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	第22回			
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気系統	A制御用空気ライン	0.98	0.98	VT-2		-					-			○	気圧検査	
			B制御用空気ライン	0.98	0.98	VT-2		-						-			○	気圧検査
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	低圧注水系統	恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	0	0	VT-2		-					-			○		
			恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	2.1	2.1	VT-2		-				●	-					
			低圧注水ラインとのAMライン	4.5	4.5	VT-2		-					-			○		
			可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	1.55	1.55	VT-2		-					●	-				
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	A, B原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	1.4	1.4	VT-2		-					-		○			
			C, D原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	1.4	1.4	VT-2		-					-		○			
			原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	0.34	0.34	VT-2		-					●	-				
			原子炉補機冷却水サージタンク窒素供給ライン	0.34	0.34	VT-2		-						-				○
			A, D格納容器再循環ユニット冷却ライン	1.4	1.4	VT-2		-						-		○		
			A, D格納容器再循環ユニット冷却水放出ライン	1.4	1.4	VT-2		-						-		○		
			格納容器水素ガス試料冷却ライン	1.4	1.4	VT-2		-						-			○	
			A, B原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	1.4	1.4	VT-2		-						-				○
			C, D原子炉補機冷却水ポンプ出ロライン	1.4	1.4	VT-2		-						-				○

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新

規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/4)

別表-8(6/35)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 ※2		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考		
		検査の対象箇所					2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年			
		系統名	ライン名				第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回						
C7. 30 C7. 70	C-H	換気空調系統	Aアニュラス空気浄化ファン出口ライン	0.0048	0.0048	VT-2		-								○	気圧検査		
			Bアニュラス空気浄化ファン出口ライン	0.0048	0.0048	VT-2		-									○	気圧検査	
			中央制御室空調設備入口ライン	-0.00392	-	※1		-			●	-							
			中央制御室空調設備出口ライン	0.00392	-	※1		-			●	-	○	○	○				
			緊急時対策所指揮所ライン	0.005	0.005	VT-2		-											気圧検査
			緊急時対策所待機所ライン	0.005	0.005	VT-2		-											気圧検査
			緊急時対策所空気浄化ライン	0.0041	0.0041	VT-2		-									○	気圧検査	
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	化学体積制御系統	体積制御タンク出口ライン	0.98	0.98	VT-2		-		●								一部気圧検査	
			A充てんポンプ出口ライン	20.0	20.0	VT-2		-					○						
			B充てんポンプ出口ライン	20.0	20.0	VT-2		-		●									
			C充てんポンプ出口ライン	20.0	20.0	VT-2		-						○					
			B充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ出口側)	20.0	20.0	VT-2		-								○			
			B充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ入口側)	0.98	0.98	VT-2		-									○		
			ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	0.98	0.98	VT-2		-							○				
			Aほう酸ポンプ入口ライン	1.4	1.4	VT-2		-		●									一部気圧検査
			Bほう酸ポンプ入口ライン	1.4	1.4	VT-2		-		●									一部気圧検査
			Aほう酸ポンプ出口ライン	1.4	1.4	VT-2		-				●	-						
Bほう酸ポンプ出口ライン	1.4	1.4	VT-2		-				●	-									

※1: 技術基準第58条第2項の記載の「他の方法」により外観点検を実施

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(3/4)

別表-8(7/35)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 ※1		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考		
		検査の対象箇所					2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年			
		系統名	ライン名				第16回	第1回	第17回	第18回	第19回	第1回	第20回	第21回	第22回				
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	安全注入系統	A、B高圧注入ポンプ入ロライン	0.39	0.39	VT-2		-					-	○					
			A高圧注入ポンプ出ロライン(1)	16.7	16.7	VT-2		-		●			-						
			A高圧注入ポンプ出ロライン(2)	16.7	16.7	VT-2		-		●			-					RCS漏えい検査時実施	
			B高圧注入ポンプ出ロライン(1)	16.7	16.7	VT-2		-				●	-						
			B高圧注入ポンプ出ロライン(2)	16.7	16.7	VT-2		-					-	○				RCS漏えい検査時実施	
			格納容器再循環サブ出ロライン	0.43	0.43	VT-2		-					-			○			ガードパイプ内包部分は検査不可
			蓄圧タンク及び出ロライン	4.9	4.9	VT-2		-					-			○			一部気圧検査
			燃料取替用水ピット出ロライン	0	0	VT-2		-					●	-					
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	余熱除去系統	A余熱除去ポンプ入ロライン	4.5	4.5	VT-2		-					-	○					
			B余熱除去ポンプ入ロライン	4.5	4.5	VT-2		-					-	○					
			A余熱除去ポンプ出ロライン	4.5	4.5	VT-2		-					-			○			
			B余熱除去ポンプ出ロライン	4.5	4.5	VT-2		-					-	○					

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)

新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/4)

別表-8(8/35)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 ※1 検査の対象箇所		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考	
		系統名	ライン名				2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年		
							第16回	第-回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回	第21回	第22回		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	A格納容器スプレイポンプ入口ライン	0.39	0.39	VT-2		-		●			-					
			B格納容器スプレイポンプ入口ライン	0.39	0.39	VT-2		-		●			-					
			A格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)	2.7	2.7	VT-2		-					-		○			
			A格納容器スプレイポンプ出口ライン(2)	2.7	2.7	VT-2		-					-		○			気圧検査
			B格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)	2.7	2.7	VT-2		-					-		○			
			B格納容器スプレイポンプ出口ライン(2)	2.7	2.7	VT-2		-					-			○		気圧検査
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	主蒸気系統	A蒸気発生器蒸気出口ライン	8.8	8.8	VT-2		-					-	○			プラント起動時実施	
			B蒸気発生器蒸気出口ライン	8.8	8.8	VT-2		-					-	○			プラント起動時実施	
			C蒸気発生器蒸気出口ライン	8.8	8.8	VT-2		-					-	○			プラント起動時実施	
			D蒸気発生器蒸気出口ライン	8.8	8.8	VT-2		-					-	○			プラント起動時実施	
C7.30 C7.70	C-H	主給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン	8.8	8.8	VT-2		-					-	○			プラント起動時実施	
			B蒸気発生器給水入口ライン	8.8	8.8	VT-2		-					-	○			プラント起動時実施	
			C蒸気発生器給水入口ライン	8.8	8.8	VT-2		-					-	○			プラント起動時実施	
			D蒸気発生器給水入口ライン	8.8	8.8	VT-2		-					-	○			プラント起動時実施	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	試料採取系統	格納容器水素ガス試料採取系統 入口ライン	0.98	0.98	VT-2		-					-			○	気圧検査	
			格納容器水素ガス試料採取系統 出口ライン	0.98	0.98	VT-2		-					-			○	気圧検査	

※1 : NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版:2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器(1/2)

別表-8(9/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)		備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理							
B2. 111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	全長の100%			クラス1機器供用期間中検査で管理					
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	全長の100%								
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	全長の100%								
B3. 105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	全長の100%					クラス1機器供用期間中検査で管理			
B3. 10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%								
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%								
B3. 20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	全数の100%								
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	全数の100%								
B5. 10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%								
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%								
B6. 10	B-G-1	ナット	VT-1	全数の100%							クラス1機器供用期間中検査で管理	
B6. 30	B-G-1	スタッドボルト	体積	全数の100%								
B6. 40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	全数の100%								
B6. 50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	全数の100%								
B7. 10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマンクランプ用ボルト・ナット	VT-1	全数の25%								

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器(2/2)

別表-8(10/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理			
G1. 10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	全範囲の 7.5%			クラス1機器供用期間中検査で管理	
G1. 40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	全範囲の 7.5%				
G1. 40	G-P-1	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%				
G1. 50	G-P-2	下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%				
B14. 10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は 表面	最外周 25%				
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)						
B15. 10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%				
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%				

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器(1/2)

別表-8(11/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B2. 11	B-B	上部鏡板と上部胴との周継手	体積	全長の5%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		下部胴と下部鏡板との周継手	体積	全長の5%		
B2. 12	B-B	上部胴の長手継手	体積	全長の10%		
		中間胴の長手継手	体積	全長の10%		
		下部胴の長手継手	体積	全長の10%		
B2. 13	B-B	上部胴と中間胴との周継手	体積	全長の5%		
		中間胴と下部胴との周継手	体積	全長の5%		
B3. 30	B-D	安全弁用管台と容器との溶接継手	体積	全数の25%		
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手				
		スプレイ用管台と容器との溶接継手				
		サージ用管台と容器との溶接継手				
B3. 40	B-D	安全弁用管台内面の丸みの部分	体積	全数の25%		
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分				
		スプレイ用管台内面の丸みの部分				
		サージ用管台内面の丸みの部分				

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開
 会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器(2/2)

別表-8(12/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理			
B5. 40	B-F	安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手		体積及び表面			全数の25%	
		逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手						
		スプレイ用管台とセーフエンドとの溶接継手						
		サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手						
B7. 20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	全数の25%				
B8. 20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手(スカート溶接継手)	表面又は体積	全長の7.5%				
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%				
F1. 41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)	VT-3	全数の25%				

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開
 会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

3. 蒸気発生器(1/1)

別表-8(13/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)	備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基 全長の 25%		
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基 全数の 25%		
		冷却材出口管台の内面の丸みの部分				
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの 溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 25%		
		冷却材出口管台とセーフエンドとの 溶接継手				
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側)	VT-1	代表1基 全数の 25%		
		1次側マンホールボルト(出口側)				
B8. 30	B-H	水室鏡とサポートパッドとの溶接継手	表面	代表1基 全長の 7.5%		
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%		
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開
 会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/201
 4年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(1/3)

別表-8(14/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B9. 11	B-J	配管の 同種金属 溶接継手 (呼び径100A 以上:周継手)	1次冷却材管	体積	全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
			加圧器サージライン	体積	全数の 25%	
			加圧器安全弁ライン	体積	全数の 25%	
			加圧器逃がし弁ライン	体積	全数の 25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン	体積	全数の 25%	
			SIS蓄圧注入ライン	体積	全数の 25%	
			SIS低温側低圧注入ライン	体積	全数の 25%	
B9. 21	B-J	配管の 同種金属 溶接継手 (呼び径100A 未満:周継手)	加圧器逃がし弁ライン	表面	全数の 25%	
			CVCS充てんライン	表面	全数の 25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の 25%	
			SIS低温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開
会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/201
4年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(2/3)

別表-8(15/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1			大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)			備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B9. 31	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A以上)	1次冷却材管	体積	全数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
B9. 32	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A未満)	1次冷却材管	表面	全数の25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の25%	
			SIS蓄圧注入ライン	表面	全数の25%	
			SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の25%	
B9. 40	B-J	ソケット溶接継手	SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の25%	
B10. 20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付け溶接継手	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の7.5%	
B15. 50	B-P	圧力保持範囲		VT-2	漏えい検査時100%	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開
 会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(3/3)

別表-8(16/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1. 10	F-A	支持構造物	加圧器サージライン	VT-3	全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
			加圧器逃がし弁ライン	VT-3	全数の 25%	
			CVCS充てんライン	VT-3	全数の 25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	全数の 25%	
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3	全数の 25%	
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 25%	
			SIS低温側高圧補助 注入ライン	VT-3	全数の 25%	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開
会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/201
4年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

5. 1次冷却材ポンプ(1/1)

別表-8(17/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理		
B6. 180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の 25%			
B6. 190		主フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%			
B6. 200		主フランジナット・ワッシャ	VT-1	代表1台の 25%			
B12. 20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%			
B15. 60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%			
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の 25%			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開
 会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/201
 4年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

6. 弁(1/2)

別表-8(18/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲			
B7. 70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057
			加圧器逃がし弁ライン	VT-1	代表1台の25%		3V-RC-054A・B
				VT-1	代表1台の25%		3PCV-452A・B
			CVCS充てんライン	VT-1	代表1台の25%		3V-CS-164 3V-CS-166
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-1	代表1台の25%		3PCV-420,3PCV-430 3V-RH-002A・B
			SIS蓄圧注入ライン	VT-1	代表1台の25%		3V-SI-134A・B・C・D 3V-SI-136A・B・C・D
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台の25%		3V-RH-050A・B・C・D
B12. 50	B-M-2	呼び径100Aを超える弁箱	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台の100%	3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台の100%	3PCV-420,3PCV-430 3V-RH-002A・B	
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3	代表1台の100%	3V-SI-134A・B・C・D 3V-SI-136A・B・C・D	
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台の100%	3V-RH-050A・B・C・D	
B15. 70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%			

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開
 会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

6. 弁(2/2)

別表-8(19/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備 考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲		
F1. 41	F-A	支持構造物	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057
			加圧器逃がし弁ライン	VT-3	代表1台 の25%		3V-RC-054A・B
				VT-3	代表1台 の25%		3PCV-452A・B
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台 の25%		3PCV-420,3PCV-430 3V-RH-002A・B

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開
 会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/201
 4年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査範囲)

別表-8(20/35)

NRA文書(原規技発第1408063号) ※1※2					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)	備考
機器名	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査頻度	クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理	
原子炉容器	原子炉容器底部の表面	-	-	100%/5年		クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所			

- ※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、令和元年亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、令和元年亀裂解釈NRA文書改正を2020年4月1日より適用する。
- ・亀裂解釈NRA文書 原規技発第1408063号(制定 平成26年8月6日)及び 原規技発第1906051号(改正 令和元年6月5日): 2020年4月1日(第18保全サイクル)~2021年7月20日
- ※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその付属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和3年7月21日原規技発第2107219号)の改正版(以下、令和3年亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行を踏まえ、令和3年亀裂解釈NRA文書改正を2021年7月21日より適用する。
- ・亀裂解釈NRA文書 原規技発第1408063号(制定 平成26年8月6日)及び 原規技発第2107219号(改正 令和3年7月21日): 2021年7月21日(第19保全サイクル)~

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査範囲)

別表-8(21/35)

NRA文書(原規技発第1408063号) ※1※2					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)	備考
項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査で管理	
-	-	配管	-	-		
		充てんライン(3B)	体積	25%		
		再生熱交換器連絡管	-	-		
		充てんライン連絡管(3B)	体積	25%		

- ※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、令和元年亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、令和元年亀裂解釈NRA文書改正を2020年4月1日より適用する。
 ・亀裂解釈NRA文書 原規技発第1408063号(制定 平成26年8月6日)及び 原規技発第1906051号(改正 令和元年6月5日): 2020年4月1日(第18保全サイクル)～2021年7月20日
- ※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその付属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和3年7月21日原規技発第2107219号)の改正版(以下、令和3年亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行を踏まえ、令和3年亀裂解釈NRA文書改正を2021年7月21日より適用する。
 ・亀裂解釈NRA文書 原規技発第1408063号(制定 平成26年8月6日)及び 原規技発第2107219号(改正 令和3年7月21日): 2021年7月21日(第19保全サイクル)～

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

1. 蒸気発生器

別表-8(22/35)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C1. 10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
		円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%		
		上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%		
C1. 20	C-A	上部鏡板と上部胴の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%		
C1. 30	C-A	下部胴と管板の周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%		
C2. 21	C-B	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 7.5%		
		蒸気出口管台と容器との溶接継手				
C2. 22	C-B	給水入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基 全数の 7.5%		
		蒸気出口管台内面の丸みの部分				

2. 余熱除去冷却器

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%		
C2. 21	C-B	管側入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 7.5%		
		管側出口管台と管側胴との溶接継手				
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

3. 格納容器スプレイ冷却器

別表-8(23/35)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		備考
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%		
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(1/5)

別表-8(24/35)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014			大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)			備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C3. 20	C-C	支持部材取付け溶接継手	高圧注入ポンプ出口ライン(1)	表面	全数の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	表面	全数の7.5%	
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の7.5%	
			余熱除去冷却器出口ライン	表面	全数の7.5%	
			SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の7.5%	
			格納容器再循環サンプル出口ライン	表面	全数の7.5%	
			主給水ライン	表面	全数の7.5%	
			主蒸気ライン	表面	全数の7.5%	
			高圧注入ポンプ出口ライン(2)	表面	全数の7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(2/5)

別表-8(25/35)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C5. 11	C-F	呼び径 100Aを超える 管で公称 厚さが 9.5mmを超 える溶接継 手	充てんポンプ出ロライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
			余熱除去ポンプ入ロライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	
			余熱除去ポンプ出ロライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	
			余熱除去冷却器出ロライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	
			SIS低温側低圧注入ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	
			高圧注入ポンプ出ロライン (1)	体積及び 表面	全数の 7.5%	
			格納容器再循環サンプ 出ロライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	
			燃料取替用水ピット出ロライ ン	体積又は 表面	全数の 7.5%	
			主給水ライン	表面	全数の 7.5%	
			主蒸気ライン	表面	全数の 7.5%	
		高圧注入ポンプ出ロライン (2)	表面	全数の 7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(3/5)

別表-8(26/35)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C5. 12	C-F	呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	余熱除去ポンプ入ロライン	体積又は表面	全数の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
			燃料取替用水ピット出ロライン	体積又は表面	全数の7.5%	
			主蒸気ライン	体積及び表面	全数の7.5%	
C5. 21	C-F	呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さが5mmを超える溶接継手	高圧注入ポンプ出ロライン(1)	表面	全数の7.5%	
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	表面	全数の7.5%	
			SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	
C5. 30	C-F	ソケット溶接継手	SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	
C5. 41	C-F	呼び径50Aを超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手	高圧注入ポンプ出ロライン(1)	表面	全数の7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(4/5)

別表-8(27/35)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1. 21	F-A	支持構造物	充てんポンプ出ロライン	VT-3	全数の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
			余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	全数の 7.5%	
			余熱除去ポンプ出ロライン	VT-3	全数の 7.5%	
			余熱除去冷却器出入ロライン	VT-3	全数の 7.5%	
			余熱除去冷却器出ロライン	VT-3	全数の 7.5%	
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	
			高圧注入ポンプ出ロライン(1)	VT-3	全数の 7.5%	
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	
			SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	
			格納容器再循環サンプル出ロライン	VT-3	全数の 7.5%	
燃料取替用水ピット出ロライン	VT-3	全数の 7.5%				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(5/5)

別表-8(28/35)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1. 21	F-A	支持構造物	格納容器スプレイポンプ 入ロライン	VT-3	全数の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
			格納容器スプレイポンプ 出ロライン	VT-3	全数の 7.5%	
			格納容器スプレイ冷却器 入ロライン	VT-3	全数の 7.5%	
			格納容器スプレイ冷却器 出ロライン	VT-3	全数の 7.5%	
			主給水ライン	VT-3	全数の 7.5%	
			主蒸気ライン	VT-3	全数の 7.5%	
			高圧注入ポンプ入ロライン	VT-3	全数の 7.5%	
			高圧注入ポンプ出ロライン(2)	VT-3	全数の 7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別表-8(29/35)

5. 充てんポンプ

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理		
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	全数の7.5%			
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%			
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%			
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%			

6. 充てんポンプ(往復動式)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理		
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	全数の7.5%			

7. 余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理		
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%			
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

8. 高圧注入ポンプ

別表-8(30/35)

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理		
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	全数の7.5%			
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%			
C5. 30	C-F	バランスフランジ及びバランス管の耐圧部分の溶接継手	表面	全数の7.5%			
C6. 10	C-G	外部ケーシング、ケーシングカバー及びバランス管台の溶接継手	表面	代表1台の7.5%			
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%			

9. 格納容器スプレイポンプ

維持規格 JSME S NA1- 2012/2013/2014					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理		
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%			
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

10. クラス2弁

別表-8(31/35)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲			
F1.43	F-A	支持構造物	余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	3HCV-603 3HCV-613
			余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%		3V-RH-043A・B
			格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%		3V-SI-093A・B
			主蒸気ライン	VT-3	代表1台 の7.5%		3V-MS-523A・B・C・D
			タービン動補助給水ポンプ 蒸気供給ライン	VT-3	代表1台 の7.5%		3V-MS-575A・B
			高圧注入ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%		3V-SI-002A・B

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(原子炉格納容器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉格納容器

別表-8(32/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)													備 考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年
									第16回	第一回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回	第21回		第22回
E8.10	E-G	圧力保持用ボルト締付け部	機器搬入口(PEN #540)	VT-4	25%	1箇所	VT-4	25%		-					-		○		

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版: 2013年～2020年3月(本サイクル開始～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1.原子炉補機冷却水冷却器

別表-8(33/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)												備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年
								第16回	第一回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回	第21回		第22回
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2箇所/1基×1基(A)	UT	代表1基の7.5%(2箇所)		-									A 7.5%
C1.10	C-A	胴側胴の周継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2箇所/1基×1基(A)	UT	代表1基の7.5%(2箇所)		-									A 7.5%
C2.21	C-B	胴側入口管台と胴側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	1箇所/1基×1基(A)	UT及びPT	代表1基の50%(1箇所)		-									A 入口側
		胴側出口管台と胴側胴との溶接継手			1箇所/1基×1基(A)													
C2.22	C-B	胴側入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%	1箇所/1基×1基(A)	UT	代表1基の50%(1箇所)		-									A 入口側
		胴側出口管台内面の丸みの部分			1箇所/1基×1基(A)													
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	3箇所/1基×1基(A)	PT	代表1基の100%(3箇所)		-									A 100%
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所/1基×1基(A)	VT-3	代表1基の100%(3箇所)		-									A 100%

2.原子炉補機冷却水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1					大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)												備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年
								第16回	第一回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回	第21回		第22回
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所/1台×2台(A、B)	VT-3	代表1台の100%(4箇所)		-		A 100%				-			

※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈 NRA 文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格 2008 年版: 2013 年 7 月～2020 年 3 月(新規制基準施行による維持規格 2008 年版の即時適用～第 17 保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

3.重大事故等クラス2機器漏えい検査

別表-8(34/35)

維持規格 JSME S NA1-2008 ※1				SA時最高使用 圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査 方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)										備 考
項目 番号	カテ ゴリ	検査の対象箇所					2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
		系統名	ライン名				第16回	第一回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	原子炉補機 冷却海水系統	A 海水ポンプライン	1.2	0.098	VT-2		-				-			○		
			B 海水ポンプライン	1.2	0.098	VT-2		-				-			○		
			C 海水ポンプライン	1.2	0.098	VT-2		-				-			○		
			A 海水ヘッダ出口ライン	1.2	0.098	VT-2		-				-			○		
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統	A, B 電動補助給水ポンプ入口ライン	0	水張り (静水頭圧)	VT-2		-				-			○		
			タービン動補助給水ポンプ入口ライン	0	水張り (静水頭圧)	VT-2		-				-			○		
			A 電動補助給水ポンプ出口ライン	13.1	9.4	VT-2		-				-			○		
			B 電動補助給水ポンプ出口ライン	13.1	9.4	VT-2		-				-			○		
			タービン動補助給水ポンプ出口ライン	12.7	9.4	VT-2		-				-			○		
C7.10	C-H	非常用ディーゼル発電機系統	A-非常用ディーゼル発電機起動空気ライン	3.2	2.501	VT-2		-				-			○		
			B-非常用ディーゼル発電機起動空気ライン	3.2	2.501	VT-2		-				-			○		

※1: NRA 文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第 1906051 号)の改正版(以下、亀裂解釈 NRA 文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019 年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012 年版/2013 年追補/2014 年追補)を 2020 年 4 月 1 日より適用する。

なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格 2008 年版: 2013 年 7 月~2020 年 3 月(新規制基準施行による維持規格 2008 年版の即時適用~第 17 保全サイクルまで)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. プレストレストコンクリート格納容器

別表-8(35/35)

大飯発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)														備 考
検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	頻度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
				第16回	第一回	第17回	第18回		第19回	第一回	第20回	第21回	第22回	
コンクリート部	目視検査	PCCV表面選定部位 検査テンドン定着部周辺	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		●			-		○		
ライナプレート部	目視検査	ライナプレート表面選定部位	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		●			-		○		
緊張材定着部	目視検査	検査テンドンの緊張材定着部表面	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		●			-		○		
テンドン	緊張力確認検査	フープテンドン 4本 逆Uテンドン 3本	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		●			-		○		
防錆材	防錆材検査	検査テンドンの端部から採取	PCCV-ISIの 頻度による	● ※	-		●			-		○		

※平成27年度実施のプレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査自主検査の記録確認

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別表-9(1/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 ※2	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※1	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考		
		検査の対象箇所 設備名			2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年			
					第16回	第1回	第17回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	第22回				
C7. 10 C7. 30 C7. 50	C-H	電源車内燃機関、冷却水ポンプ (電源車)	-	VT-2		-						-	○				
		電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)内燃機関、冷却水ポンプ (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	-	VT-2		-							-		○		
		電源車(緊急時対策所用)内燃機関、冷却水ポンプ (電源車(緊急時対策所用))(3, 4号機共用))	-	VT-2		-							-			○	
		燃料タンク (電源車)	大気圧	VT-2		-							-	○			
		燃料タンク (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	大気圧	VT-2		-							-		○		
		燃料タンク (電源車(緊急時対策所用))(3, 4号機共用))	大気圧	VT-2		-							-			○	

※1: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別表-9(2/7)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備 考		
項目番号	カテゴリ			検査の対象箇所 設備名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年	
					第16回	第-回	第17回	第18回	第19回	第-回	第20回	第21回	第22回			
D2. 10 D2. 30	D-B	可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)	0.90以上	VT-2		-					-		○			
		可搬式空気圧縮機用空気だめ	1.05	VT-2		-					-			○		
		増圧装置空気だめ	1.0	VT-2		-					-				○	
		窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)	14.7	VT-2		-					-				○	
		窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)~ホース先端	0.98 17.16	VT-2		-					-				○	
		代替制御用空気ライン窒素供給用ホース 20m、16m、10mホース	0.98	VT-2		-					-	○				
		窒素ラインマニホールド連結用0.68mホース	17.16	VT-2		-					-	○				
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用2mホース	0.98	VT-2		-					-	○				
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用1.5mホース	0.98	VT-2		-					-	○				
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用5mホース	0.98	VT-2		-					-	○				

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

※: SA設備ISIの検査間隔の起点日については、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」(原子炉等規制法)の平成24年6月7日改正を踏まえて一括して申請している工事計画書が認可された日とする。(起日:2017年)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別表-9(3/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 ※2 検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※1	大阪発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考
					2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
					第16回	第17回	第18回	第19回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	
D2. 30	D-B	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	0.44	VT-2		—					—		○		
		可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置接続用フレキシブルホース	0.98	VT-2		—					—		○		
		可搬型格納容器水素ガス濃度計入口側接続用フレキシブルホース	0.98	VT-2		—					—		○		
		可搬型格納容器水素ガス濃度計出口側接続用フレキシブルホース	0.98	VT-2		—					—		○		
D2. 30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ屋内送水用10mホース(2本+予備1本)	1.55	VT-2		—					—		○		
		緊急時対策所可搬型空気浄化ファン(3・4号機共用)	—	VT-2		—					—				
		緊急時対策所可搬型空気浄化フィルタユニット(3・4号機共用)	—	VT-2		—					—				
		緊急時対策所空気浄化ライン給気用フレキシブルダクト(指揮所)(3・4号機共用)	0.005	VT-2		—					—				
		緊急時対策所空気浄化ライン給気用フレキシブルダクト(待機場所)(3・4号機共用)	0.005	VT-2		—					—				
		緊急時対策所非常用空気浄化ファン(3・4号機共用)	—	VT-2								—	○		
		緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット(3・4号機共用)	—	VT-2								—	○		
D2. 10 D2. 30	D-B	格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	0.33	VT-2		—					—		○		
		窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク加圧用)	14.7	VT-2		—					—		○		
		B高圧注入ポンプ及び電動機冷却海水放出用ホース	1.0	VT-2		—					—		○		
		窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク加圧用)～ホース先端	0.34/17.16	VT-2		—					—		○		
		窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク加圧用)窒素供給用フレキシブルホース	0.34	VT-2		—					—		○		
		格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ吸水用フレキシブルホース	0.33	VT-2		—					—		○		
		格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ送水用フレキシブルホース	0.33	VT-2		—					—		○		
		格納容器水素ガス試料冷却器冷却水屋外排水用フレキシブルホース	0	VT-2		—					—		○		
		原子炉補機冷却水サージタンク非常用窒素供給ライン逃がし弁	吹出圧力 0.34	VT-2		—					—		○		
		原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力	測定範囲 0~1.6	VT-2		—					—		○		

※1: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)
 ※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
 なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り
 ・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別表-9(4/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008準拠 ※2	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※1	大阪発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考
		検査の対象箇所			2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
		設備名			第16回	第1回	第17回	第18回		第19回	第1回	第20回	第21回	第22回	
D2. 30	D-B	送水車(3台)	1.6	VT-2		-					-		○		
		大容量ポンプ(放水砲用)(3・4号機共用)(3台)	1.2	VT-2		-					-		○		
		送水車吸水用ホース(28本)	0.4	VT-2		-					-		○		
		送水車送水用ホース(149本)	1.6	VT-2		-					-		○		
		大容量ポンプ入口ライン放水砲用ホース(3.4号機共用)(5本)	0.25	VT-2		-					-		○		
		大容量ポンプ出口ライン放水砲用ホース(3.4号機共用)(29本)	1.2	VT-2		-					-		○		
		放水砲(3.4号機共用)(3台)	1.2	VT-2		-					-		○		
D2. 10 D2. 30	D-B	送水車燃料タンク(3基)	大気圧	VT-2		-					-		○		
		大容量ポンプ燃料タンク(3・4号機共用)(6基)	大気圧	VT-2		-					-		○		
		大容量ポンプ(放水砲用)燃料タンク(3・4号機共用)(6基)	大気圧	VT-2		-					-		○		
		軽油ドラム缶(3・4号機共用)(106個)	大気圧	VT-2		-					-		○		

※1: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別表-9(5/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008準拠 ※2	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※1	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考
		検査の対象箇所			2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
		設備名			第16回	第1回	第17回	第18回		第19回	第1回	第20回	第21回	第22回	
D2. 10 D2. 30	D-B	可搬式代替低圧注水ポンプ(3台)	1.55	VT-2		-						-		○	
		仮設組立式水槽(3台)	大気圧	VT-2		-						-		○	
		可搬式代替低圧注水ポンプ吸水用ホース(3本)	大気圧	VT-2		-						-		○	
		可搬式代替低圧注水ポンプ~可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口(3台)	1.55	VT-2		-						-		○	
		可搬式代替低圧注水ポンプ送水用ホース(7本)	1.55	VT-2		-						-		○	
		タンクローリー(3・4号機共用)(3台)	0.24	VT-2		-						-			○
		タンクローリー給油ライン接続用ホース(燃料油貯蔵タンク用)(3・4号機共用)(3本)	0.39	VT-2		-						-			○
		タンクローリー給油ライン接続用ホース(重油タンク用及び燃料油貯蔵タンク用)(3・4号機共用)(6本)	0.39	VT-2		-						-			○
		タンクローリー給油ライン接続用ホース(空冷式非常用発電装置用)(3・4号機共用)(5本)	0.39	VT-2		-						-			○
		タンクローリー給油ライン接続用ホース(3・4号機共用)(3本)	1.0	VT-2		-						-			○
D2. 30	D-B	大容量ポンプ(3・4号機共用)(3台)	1.2	VT-2		-						-		○	
		大容量ポンプ入ライン送水用ホース(3・4号機共用)(9本)	0.25	VT-2		-						-		○	
		大容量ポンプ出ライン送水用ホース(3・4号機共用)(18本)	1.2	VT-2		-						-		○	
		大容量ポンプ出ライン送水用送水管(3台)	1.2	VT-2		-						-		○	

※1: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。
なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別表-9(6/7)

維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 ※2		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※1	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考	
項目番号	カテゴリ			検査の対象箇所 設備名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年
					第16回	第-回	第17回	第18回		第19回	第-回	第20回	第21回		第22回
D2. 30	D-B	大飯3号機スプレイヘッダー-A	1.6	VT-2		-					-			○	
		大飯3号機スプレイヘッダー-B	1.6	VT-2		-					-			○	
		大飯3号機スプレイヘッダー-C	1.6	VT-2		-					-			○	
		大飯3号機スプレイヘッダー-D	1.6	VT-2		-					-			○	

※1: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版: 2013年7月～2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～第17保全サイクルまで)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別表-9(7/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 ※2 検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※1	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考			
					2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年				
					第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回							
D2. 10 D2. 30	D-B	空気供給装置(3・4号機共用) (空気ポンペ:600本予備1本)	14.7	VT-2		-												
		空気供給装置~マニホールド端(ポンベ側)(3・4号機共用)(150台+予備1台)	14.7	VT-2		-												
		空気供給ライン高圧用ホース(3・4号機共用) (150本+予備1本)	14.7	VT-2		-												
		マニホールド端(高圧ホース側)~マニホールド端(低圧ホース側)(3・4号機共用) (24台+予備1台)	14.7	VT-2		-												
			0.78	VT-2		-												
		マニホールド(5口、4口、2口)(3・4号機共用) (11台+予備3台)	0.78	VT-2		-												
		空気供給装置ライン低圧用ホース(3・4号機共用) (75本+予備5本)	0.78	VT-2		-												
		流量調整ユニット(3・4号機共用) (4台+予備1台)	0.78	VT-2		-												
		空気供給装置(3・4号機共用) (空気ポンペ:720本予備80本)	19.6	VT-2							-	○*	○	○				* 第21回先行で計画
		マニホールド(容器弁~集合管~充填口金)(3・4号機共用)(18台+予備2台)	19.6	VT-2							-	○*	○	○				* 第21回先行で計画
		マニホールド(充填口金~カードル受入れユニット入口弁~空気供給母管(減圧弁1次側)接続口)(3・4号機共用) (18台+予備2台)	19.6	VT-2							-				○			
		マニホールド(空気供給母管(減圧弁1次側))(3・4号機共用)(1台+予備1台)	19.6	VT-2							-				○			
		マニホールド(減圧弁2次側配管)(3・4号機共用) (1台+予備1台)	0.98	VT-2							-				○			
		空気供給装置ライン低圧用ホース(3・4号機共用) (1台+予備1台)	1.0	VT-2							-				○			

※1: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

※2: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を2020年4月1日より適用する。

なお、過去の維持規格適用期間は以下の通り。
 ・維持規格2008年版: 2013年7月~2020年3月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用~第17保全サイクルまで)

クラス1配管特別検査4年計画

別表-10(1/1)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				大飯発電所 第3号機 検査計画(4カ年)								備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数※	検査方法	検査範囲	2022年	2023年	2024年	2025年	
								第19回	-	第20回	第21回	
-	-	配管の耐圧部分の溶接継手	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		加圧器サージライン	体積	100%	1箇所	UT	100% (1箇所) 毎定検	●	-	○	○	
		加圧器スプレイライン	体積	100%	2箇所	UT	100% (1箇所) 毎定検	●	-	○	○	第18回定検にて、過大な入熱を低減する対策を実施済みであるため、1箇所については検査対象外。
		余熱除去ポンプ入ロライン	体積	100%	6箇所	UT	100% (6箇所) 毎定検	●	-	○	○	
		SIS蓄圧注入ライン	体積	100%	5箇所	UT	100% (5箇所) 毎定検	●	-	○	○	

※試験カテゴリB-J、項目番号B9.11のうち、「運転温度200℃以上」、「応力改善の実施の有無」、「全層TIG溶接の適用の有無」、「過大な溶接入熱の可能性の有無」及び「形状による影響」より抽出される箇所

別図

定期事業者検査時の安全管理の計画

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程																				
RCS 水位																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
			ンク圧力が1次冷却材圧力以下であることを条件に1基毎に隔離解除を許容)																	
	第47条 1次冷却材漏えい率	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器サンプ水位計および炉内計装用シンプル配管室ドレンピット漏えい検出装置によって測定される未確認の漏えい率：0.23m³/h以下（炉内計装用シンプル配管室ドレンピット漏えい検出装置によって測定される漏えい率は全て未確認の漏えい率とみなす） 原子炉格納容器サンプ水位計によって測定される原子炉冷却材圧カバウンダリ以外からの漏えい率：2.3m³/h以下 原子炉格納容器サンプ水位計および炉内計装用シンプル配管室ドレンピット漏えい検出装置が動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材系統 原子炉格納容器サンプ水位計 炉内計装用シンプル配管室ドレンピット漏えい検出装置 	×	×											×		×	×
	第48条 蒸気発生器細管漏えい監視	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器細管に漏えいがないこと 蒸気発生器細管漏えい監視装置（蒸気発生器ブローダウン水モニタ）が動作可能（プラント状態により監視ができない場合、洗浄中を除く） 	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器細管 蒸気発生器ブローダウン水モニタ 	×	×											×		×	×
	第49条 余熱除去系への漏えい監視	モード3、4（余熱除去系隔離弁が閉止している場合）	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却系から余熱除去系への漏えいがないこと（余熱除去系の逃がし弁が動作していないこと） 	<ul style="list-style-type: none"> 余熱除去系隔離弁 余熱除去系逃がし弁 	×	△											△		△	×
工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	第34条 計測および制御設備（原子炉保護系計装）	モード3、4、5（原子炉トリップ遮断器が閉じ、制御棒の引き抜きが行える場合）	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護系論理回路：4系統 手動原子炉トリップ：2チャンネル 中性子源領域中性子東高：2チャンネル（「中間領域中性子東高」2チャンネルが動作可能であることを条件に、P-6リセット時においては、2チャンネルをバイパスすることを許容。「中性子源領域炉停止時中性子東高」の警報を設定する場合は、残りのチャンネルが動作可能であることを条件に、2時間に限り、1チャンネルをバイパスすることを許容。） 	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉保護計装 左記信号検出、伝送ライン 	△	△	△	△							△	△	△	△	△	△
		モード3、4、5（原子炉トリップ遮断器が開放されている場合）	<ul style="list-style-type: none"> 中性子減領域中性子東高：1チャンネル（監視機能のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> 左記信号検出、伝送ライン 	△	△	△	△							△	△	△	△	△	△
		モード6（原子炉格納容器内での燃料移動中でない場合）	<ul style="list-style-type: none"> 中性子減領域中性子東高：1チャンネル（監視機能のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> 左記信号検出、伝送ライン 					△	△		△	△							
		モード6（原子炉格納容器内での燃料移動中の場合）	<ul style="list-style-type: none"> 中性子減領域中性子東高：2チャンネル（監視機能のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> 左記信号検出、伝送ライン 						△		△								
		第34条 計測および制御設備（工学的安全施設等作動計装）	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 非常用炉心冷却系作動論理回路：2系統^{*1} （非常用炉心冷却系）手動起動：2チャンネル 原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路：2系統^{*1} （原子炉格納容器スプレイ系・原子炉格納容器隔離B・格納容器換気空調隔離）手動起動：4チャンネル 原子炉格納容器隔離A作動論理回路：2系統^{*1} （原子炉格納容器隔離A・格納容器換気空調隔離）手 	<ul style="list-style-type: none"> 非常用炉心冷却系作動計装 原子炉格納容器スプレイ系作動計装 原子炉格納容器隔離A作動計装 原子炉格納容器隔離B作 	×	×											×		×

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
			の3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) [原子炉保護計装]																	
		モード3 (P-11以上)	・(非常用炉心冷却系) 原子炉圧力低: 4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) ・(非常用炉心冷却系・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低: 各主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) ・P-11(加圧器圧力): 4チャンネル	・左記信号検出、伝送ライン	△															△
		モード3 (P-11未満)	・(主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力減少率高: 各主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる)	・左記信号検出、伝送ライン	△															△
安全上特に重要な関連機能(電源供給)	第34条 計測および制御設備(ディーゼル発電機起動計装)	モード3、4	・ディーゼル発電機起動論理回路: 2系統 ・(ディーゼル発電機起動) 非常用炉心冷却系作動	・ディーゼル発電機起動計装 ・左記信号検出、伝送ライン	×	×										×		×	×	
		モード5、6および照射済燃料移動中	・ディーゼル発電機起動論理回路: 1系統	・ディーゼル発電機起動計装 ・左記信号検出、伝送ライン			×	×	×	×	△	×	×	×	×		×			
		モード3、4、5、6および照射済燃料移動中	・(ディーゼル発電機起動) 非常用高圧母線低電圧: 所要の母線あたり3チャンネル	・左記信号検出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第78条の3 外部電源	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵中	(1)外部電源3回線(当該原子炉に対する個々の非常用高圧母線全てに対して電力供給することができる発電所外からの送電線の回線数)以上が動作可能(送電線事故の瞬停時は適用しない) (1)の外部電源のうち1回線以上は他の回線に対して独立性を有していること。(独立性を有するとは、「送電線の上流において1つの変電所または開閉所のみに関連しないこと」をいう。1つの変電所または開閉所のルートにより供給または受電している場合であっても、設備構成として、別ルートで連系が可能な状態であれば独立性を有しているとみなすことができる。)	・外部電源 ・予備変圧器	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
第79条 ディーゼル発電機	モード3、4	・ディーゼル発電機2基が動作可能(予備潤滑運転(ターニング、エアラン)を行う場合適用しない)(ディーゼル発電機が動作不能時は、第90条(表90-15)の運転上の制限も確認する。) ・燃料油サービスタンク貯油量(保有油量): 0.95m ³ 以上(ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24	・ディーゼル発電機 ・燃料油サービスタンク	×	×										×		×	×		

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程																					
RCS 水位																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
			<ul style="list-style-type: none"> 限を満足していないとはみなさない ・使用済燃料ピット温度 (AM用) 2個 ・使用済燃料ピット監視カメラ (使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置を含む) 2個 (使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は1個) ・可搬式使用済燃料ピット水位2個 ・可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ2個 	<ul style="list-style-type: none"> ・重油タンク ・タンクローリー 																	
第90条 (表90-12-4)	軽油ドラム缶による燃料補給設備	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> ・軽油ドラム缶による燃料補給設備: 20.214 リットル以上 (3号炉および4号炉の合計) 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽油ドラム缶 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
第90条 (表90-13-1)	大気への拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> ・大容量ポンプおよび放水砲による放水系 1 系統 (大容量ポンプ3台 (予備機1台含む)、放水砲3台 (予備機1台含む) および泡混合器 1 台) 動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・大容量ポンプ (放水砲用) 3台 (2台接続で3号炉と4号炉両方向同時に放水できる容量、3号炉及び4号炉合計所要数) ・放水砲3台 (3号炉及び4号炉合計所要数) ・泡混合器1台 (3号炉及び4号炉合計所要数) ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
第90条 (表90-13-2)	海洋への拡散抑制	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> ・シルトフェンス: 2組 (3号炉及び4号炉合計所要数) 取水路側: <ul style="list-style-type: none"> 高さ約 7m/幅約 35m (幅約 20m/本を1本、幅 15m/本を1本で1組として2組) 高さ約 7m/幅約 10m (幅約 10m/本を1本で1組として2組) 放水路側 <ul style="list-style-type: none"> 高さ約 12m/幅約 5.4m (幅約 5.4m/本を2本で1組として2組) 高さ約 12m/幅約 5.8m (幅約 5.8m/本を2本で1組として2組) 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルトフェンス 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-14-1)	海水を用いた復水ピットへの補給	モード3、4、5および6	<ul style="list-style-type: none"> ・海水を用いた復水ピットへの補給系2系統動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・送水車1台×2 ・軽油ドラム缶 	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×		
第90条 (表90-14-2)	燃料取替用水ピット	モード3、4、5および6 (キャビティ低水位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほう素濃度: 2,800ppm 以上であること ・ほう酸水量 (有効水量): 1,860m³ 以上であること (原子炉キャビティ水張り、水抜き期間においては第90条に定める水源および炉心注入手段等が確保されていることを条件に運転上の制限を満足していないとはみなさない。なお原子炉キャビティ水張り期間とは、原子炉キャビティ水張り作業開始から水張り完了までの期間を、また、原子炉キャビティ水抜き期間とは、原子炉キャビティ水抜き作業開始から燃料取替用水ピット水位を回復するまでの期間をいう) 	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット 	×	×	×	×	△				△	×	×	×	×	×	×		

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程																					
RCS 水位																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
			<ul style="list-style-type: none"> 安全パラメータ表示システム (SPDS: 1系列 (3号炉および4号炉の合計所要数、A系またはB系のいずれかにより有線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること) ※1 安全パラメータ伝送システム: 1系列 (3号炉および4号炉の合計所要数、A系またはB系のいずれかにより有線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること) ※1 SPDS表示装置: 2台 (3号炉および4号炉の合計所要数) ※1 (※1サーバー切替等による一時的なデータ伝送停止は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。また、所要の確認対象パラメータを記録し、連絡する要員を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時 (他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴うデータ伝送停止を含む。) は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) 緊急時衛星通報システム: 1台 (3号炉および4号炉の合計所要数) 統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 (TV会議システム、IP電話、IP-FAX): 1系列 (3号炉および4号炉の合計所要数、TV会議システム、IP電話、IP-FAXのいずれかにより通信可能であること) (衛星携帯電話設備等の通信機器による通信手段を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時 (他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴う停止を含む。) は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク、重油タンク、タンクローリー 電源車 (緊急時対策所用) 	<ul style="list-style-type: none"> 安全パラメータ表示システム (SPDS) 安全パラメータ伝送システム SPDS表示装置 緊急時衛星通報システム 統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 (TV会議システム、IP電話、IP-FAX) 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 電源車 (緊急時対策所用) 																	
	第90条 (表90-21-1) アクセスルートの確保	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・ブルドーザ (2台) (3号炉および4号炉の合計所要数、予備機1台を含む) の所要数が動作可能	・ブルドーザ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

×	:機能要求あり
△	:機能要求あり(条件付)
	:機能要求なし

モード	原子炉の運転状態	原子炉容器スタッドボルトの状態
3	1次冷却材温度 177℃以上	全ボルト締付
4	1次冷却材温度 93℃超 177℃未満	全ボルト締付
5-1	1次冷却材温度 93℃以下 (RCS 満水)	全ボルト締付
5-2	1次冷却材温度 93℃以下 (RCS 非満水)	全ボルト締付
6-1	1次冷却材温度 93℃以下 (キャビティ 低水位)	1本以上が緩められている
6-2	1次冷却材温度 93℃以下 (キャビティ 高水位)	1本以上が緩められている (全ボルト取り外し)
モード外	全ての燃料が原子炉格納容器の外にある状態	—

※ 本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、詳細については、保安規定を参照すること。また、作業工程等の変更が生じた際においても、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。

別表

長期施設管理方針実施状況総括表

3号炉 長期施設管理方針実施状況総括表

長期施設 管理方針 No.	長期施設管理方針に基づく活動内容				第20 保全サイクル 実施計画	進捗状況	備考 ()内は実績を記載
	機器又は系統名	部位と経年劣化事象	活動項目	実施時期			
1	原子炉容器	胴部（炉心領域部）の中性 子照射脆化	原子炉容器胴部（炉心領域部）の中性子照射脆化については、今後の原子炉の 運転サイクル・照射量を勘案して第4回監視試験の実施計画を策定する。	中長期	-	未実施	
2	原子炉容器等※ ※：疲労累積係数に よる低サイクル疲労 の評価を実施した全 ての機器。	疲労割れ	原子炉容器等の疲労割れについては、実績過渡回数の確認を継続的に実施し、 運転開始後60年時点の推定過渡回数を上回らないことを確認する。	中長期	-	未実施	
3	ステンレス鋼配管	溶接部の施工条件に起因す る内面からの粒界割れ	ステンレス鋼配管溶接部の施工条件に起因する内面からの粒界割れについて、 2020年8月に確認された「大飯発電所3号炉加圧器スプレイ配管溶接部におけ る有意な指示」を踏まえて実施する知見拡充結果に基づき、第21保全サイク ルまで継続して実施する類似性の高い箇所に対する検査の結果も踏まえて、第 22保全サイクル以降の検査対象および頻度を検討し、供用期間中検査計画に 反映を行う。	中長期	○	継続 実施中	(第19回保全サイクル) ・ATENA粒界割れWGにて、発生・進展メカニズム等の知見拡充を実施中。 ・類似性の高い箇所に対する検査を実施し、有意な指示がないことを確認した。 別紙 点検計画 1. 点検計画 で記載

添付書類四 定期事業者検査の判定方法

目 次

1. 定期事業者検査の判定方法	1
-----------------	---

表-1：検査の方法の考え方について

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1の検査は、設備の点検に合わせて、又は点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙 参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記にかかわらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス3機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器供用期間中検査
- ・中央制御室の居住性確認検査
- ・緊急時対策所の居住性確認検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・炉内計装用シンプルチューブ体積検査

- ・ 2次系配管検査
- ・ 供用期間中特別検査のうちクラス2管（原子炉格納容器内）特別検査
- ・ 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査

○また、第21サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間（13ヶ月）に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・ 原子炉停止余裕検査
- ・ 炉物理検査
- ・ 燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－１ 検査の方法の考え方について

定期事業者検査	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法	分解検査及び開放検査	機器等を分解、開放した状態で、亀裂、変形、摩耗等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその形跡、亀裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA1-2012/2013 追補/2014 追補)に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、漏えいの有無又は漏えい率 [*] を確認する。
② 試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定 ^{**} 、校正、設定値確認検査等を行い、機器等の特性を確認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、インターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で発電用原子炉施設の運転を行い、各発電用原子炉施設の運転状態が正常であること及び各種パラメータが妥当な値であることを確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は、点検計画(添付書類三 別紙)のとおり。

なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は、定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容からの変更内容

目 次

1. 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更	1
2. 施設管理の実施に関する計画の変更	1
3. 定期事業者検査の判定方法の変更	1
4. 定期事業者検査の判定における一定の期間の設定において考慮した事項に関する説明書に関する変更	1

別紙－1：発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更の変更前後表

別紙－2：施設管理の実施に関する計画の変更の変更前後表

別紙－3：定期事業者検査の判定方法の変更の変更前後表

1. 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更
別紙－１のとおり※
2. 施設管理の実施に関する計画の変更
別紙－２のとおり※
3. 定期事業者検査の判定方法の変更
別紙－３のとおり
4. 定期事業者検査の判定における一定の期間の設定において考慮した事項に関する説明書に関する変更
なし

※特定重大事故等対処施設に関する事項については添料書類七にて記載する。

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い
系統について定量的に定める施設管理の
目標に関する変更の変更前後表

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更（保全活動管理指標）

変更前	変更後
<p>1. 保全活動管理指標 保全の有効性を監視、評価するために、保全重要度を踏まえ、「フロントレベル」及び「系統レベル」の保全活動管理指標及びその目標値を別紙のとおり設定する。</p> <p>※</p>	<p>1. 保全活動管理指標 保全の有効性を監視、評価するために、保全重要度を踏まえ、「フロントレベル」及び「系統レベル」の保全活動管理指標及びその目標値を別紙のとおり設定する。</p> <p>※</p> <p>※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七にて掲載する。</p> <p>3 号機特定重大事故等対処施設供用開始（2022年12月8日）に伴い追加</p>

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更 (別紙 保全活動管理目標)

変更前						変更後					
系統名	要求機能	平均可能故障回数 (目標値)	非稼働時間 (目標値)	備考	(3/8)	系統名	要求機能	平均可能故障回数 (目標値)	非稼働時間 (目標値)	備考	(3/8)
格納容器アレキ系統	放射性物質の閉じ込め機能、放熱線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	よう素除去装置が720時間/2サイクル よう素除去装置が以外 トリチウムA<240時間/2サイクル トリチウムB<240時間/2サイクル			格納容器アレキ系統	放射性物質の閉じ込め機能、放熱線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	よう素除去装置が720時間/2サイクル よう素除去装置が以外 トリチウムA<240時間/2サイクル トリチウムB<240時間/2サイクル		
蒸気発生器リフターシステム	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<2回/サイクル				蒸気発生器リフターシステム	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<2回/サイクル			
換気空調設備 (炉内空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放熱線の遮へい及び放出低減機能の情報提供系 (MS-2)	<1回/サイクル				換気空調設備 (炉内空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放熱線の遮へい及び放出低減機能の情報提供系 (MS-2)	<1回/サイクル			
換気空調設備 (炉外空気)	放射性物質の閉じ込め機能、放熱線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル				換気空調設備 (炉外空気)	放射性物質の閉じ込め機能、放熱線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル			
換気空調設備 (安全隔離室 (冷却系))	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<2回/サイクル				換気空調設備 (安全隔離室 (冷却系))	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<2回/サイクル			
換気空調設備 (中央制御室 (空調系))	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル				換気空調設備 (中央制御室 (空調系))	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル			
換気空調設備 (非常用系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル				換気空調設備 (非常用系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル			
換気空調設備 (水サブ系換気系)	原子炉停止後の除熱機能 (間接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル				換気空調設備 (水サブ系換気系)	原子炉停止後の除熱機能 (間接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル			
換気空調設備 (電気系換気系)	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル				換気空調設備 (電気系換気系)	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル			
換気空調設備 (圧縮機系換気系)	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル				換気空調設備 (圧縮機系換気系)	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル			
換気空調設備 (閉鎖系空調系)	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル				換気空調設備 (閉鎖系空調系)	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル			
主蒸気・給水系統 (主蒸気管系)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル				主蒸気・給水系統 (主蒸気管系)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル			
事故時のフロントパネルの把握機能 (MS-2)	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル				事故時のフロントパネルの把握機能 (MS-2)	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル			

PRA モデルの更新に伴う変更。
 <240 時間 / 2 サイクル
 → トレイン A < 221 時間 / 2 サイクル、トレイン B < 212 時間 / 2 サイクル

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更 (別紙 保全活動管理目標)

変更前

(4/8)

系統名	要求機能	保全活動管理目標		備考
		予防可能故障回数(日平均)	非停機時間(日平均)	
主蒸気・給水系統(主給水系統)	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	主給水設備弁 <72時間/2サイクル/弁	
	異常状態の検知機能(MS-2)	<2回/サイクル	主給水制御弁※ <72時間/2サイクル/弁	※:バypass制御弁を含む
補助給水系統	事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	① 復元/2サイクル <168時間/2サイクル トリップA<200時間/2サイクル トリップB<240時間/2サイクル 補助給水系統(タービン動) <15時間/2サイクル/母線	
主制御系統(炉心)	事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	② <24時間/2サイクル/母線	
直流系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	③ [電源母線] <24時間/2サイクル/母線 <15時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能(間接関連機能)(MS-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
特高閉路設備	安全上特に重要な関連機能の情報提供系(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
主要圧器設備	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<2回/サイクル	-	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
所内配電設備	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
予備配電設備	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
所内保護・計装設備	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
系統独立制御盤(中央制御盤)	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-1)	<2回/サイクル	-	
	制御室外からの安全停止機能(MS-2)	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル/機能	
原子炉保護・制御系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トリップA<240時間/2サイクル トリップB<240時間/2サイクル	
	事故時のフロント状態の把握機能(直伝関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	-	
事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-	

変更後

(4/8)

系統名	要求機能	保全活動管理目標		備考
		予防可能故障回数(日平均)	非停機時間(日平均)	
主蒸気・給水系統(主給水系統)	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	主給水設備弁 <72時間/2サイクル/弁	
	異常状態の検知機能(MS-2)	<2回/サイクル	主給水制御弁※ <72時間/2サイクル/弁	※:バypass制御弁を含む
補助給水系統	事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	① 復元/2サイクル <168時間/2サイクル トリップA<200時間/2サイクル トリップB<240時間/2サイクル 補助給水系統(タービン動) <14時間/2サイクル	
主制御系統(炉心)	事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	② <24時間/2サイクル/母線	
直流系統	安全上特に重要な関連機能(間接関連機能)(MS-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	③ [電源母線] <24時間/2サイクル/母線 <15時間/2サイクル/基	
特高閉路設備	安全上特に重要な関連機能の情報提供系(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
主要圧器設備	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<2回/サイクル	-	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
所内配電設備	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
予備配電設備	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
	電源供給機能(S-3) [リスク重要度「高」設置]	<2回/サイクル	-	
所内保護・計装設備	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-1)	<1回/サイクル	<24時間/2サイクル/母線	
系統独立制御盤(中央制御盤)	安全上特に重要な関連機能(非常用印線の保護機能)(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	制御室外からの安全停止機能(MS-2)	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル/機能	
原子炉保護・制御系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トリップA<240時間/2サイクル トリップB<240時間/2サイクル	
	事故時のフロント状態の把握機能(直伝関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	-	
事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-	
	事故時のフロント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-	

変更理由

- ① PRA モデルの更新に伴う変更。
補助給水系統 (電動)
トレインA<220時間/2サイクル、トレインB<211時間/2サイクル
補助給水系統 (タービン動)
<175時間/2サイクル→
<144時間/2サイクル
- ② <3時間/2サイクル/母線
→<4時間/2サイクル/母線
- ③ [蓄電池]
<151時間/2サイクル/基
→<240時間/2サイクル/基

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更 (別紙 保全活動管理目標)

変更前

変更後

変更理由

系統名	要求機能	保全活動管理目標		備考
		平均可能放送回数 (日単位)	平均稼働時間 (日単位)	
原子炉制御棒調整水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トリバA<240時間/2サイクル トリバB<240時間/2サイクル	
原子炉制御棒調整水系統	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3) [リスク重要度「高」]	<2回/サイクル	<7時間/2サイクル	
原子炉制御棒調整水系統	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
原子炉制御棒調整水系統	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	トリバA<240時間/2サイクル トリバB<240時間/2サイクル	
空調用冷水設備系統	炉心冷却機能 (間接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	トリバA<240時間/2サイクル トリバB<240時間/2サイクル	次の安全関連を要する。 * 運転監視機能 (間接関連系) (MS-2) * 炉心冷却機能 (間接関連系) (MS-2) * 炉心冷却機能 (間接関連系) (MS-2) * 炉心冷却機能 (間接関連系) (MS-2) * 炉心冷却機能 (間接関連系) (MS-2)
1次系冷却機系統	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トリバA<240時間/2サイクル トリバB<240時間/2サイクル	
制御用空気系統	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
ターボ発電機系統 (冷却機系統)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トリバA<240時間/2サイクル トリバB<240時間/2サイクル	
ターボ発電機系統 (冷却機系統)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ターボ発電機系統 (冷却機系統)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ターボ発電機系統 (冷却機系統)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
非冷却用ターボ発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
気体保護炉処理系統	原子炉冷却炉圧力アンダリに直接接続する作動する機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
系統独立制御設備 (安全保護装置)	原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	原子炉保護系制御回路 キ-1, 2<6時間/2サイクル/トリバ キ-3, 4(トリバ) 更新が閉じている時 <6時間/2サイクル/トリバ 原子炉保護系信号室 自動トリガ<6時間/2サイクル/トリバ トリバA<240時間/2サイクル/トリバ トリバB<240時間/2サイクル/トリバ	原子炉保護系制御回路 キ-1, 2<6時間/2サイクル/トリバ キ-3, 4(トリバ) 更新が閉じている時 <6時間/2サイクル/トリバ 原子炉保護系信号室 自動トリガ<6時間/2サイクル/トリバ トリバA<240時間/2サイクル/トリバ トリバB<240時間/2サイクル/トリバ
系統独立制御設備 (安全保護装置)	工学的安全施設への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	工学的安全施設等作動制御回路 <6時間/2サイクル/トリバ 工学的安全施設等作動信号室 自動トリガ<6時間/2サイクル/トリバ トリバA<240時間/2サイクル/トリバ トリバB<240時間/2サイクル/トリバ 中央制御室非常用自動制御回路 (手動制御回路含む) 制御回路<720時間/2サイクル/トリバ 手動起動<720時間/2サイクル/トリバ	工学的安全施設等作動制御回路 <6時間/2サイクル/トリバ 工学的安全施設等作動信号室 自動トリガ<6時間/2サイクル/トリバ トリバA<240時間/2サイクル/トリバ トリバB<240時間/2サイクル/トリバ 中央制御室非常用自動制御回路 (手動制御回路含む) 制御回路<720時間/2サイクル/トリバ 手動起動<720時間/2サイクル/トリバ

(5/8)

(5/8)

PRA モデルの更新に伴う変更。
<74 時間/2 サイクル→
トレインA<240時間/2 サイクル、トレインB<240時間/2 サイクル

<74 時間/2 サイクル→
<240 時間/2 サイクル

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更 (別紙 保全活動管理指標)

変更前

変更後

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		平均可能故障回数 (目標値)	非計画時間 (目標値)	
緊急停止失敗時に原子炉を本機界にするための設備 (SA-2)	緊急停止失敗時に原子炉を本機界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	非計画時間 (目標値) <720時間/2サイクル	
1. 1系系のフリードモードに入るための設備 (SA-2)	1. 1系系のフリードモードに入るための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	高圧注入ポンプ <20時間/2サイクル 高圧冷却水ポンプ <24時間/2サイクル	
炉心注水を停止するための設備 (SA-2)	炉心注水を停止するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	炉心注水 (非常用炉心冷却系) 炉心注水 (高圧タンク) 代替炉心注水 (B系でんポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注水 (A系熱交換器/2サイクル) <720時間/2サイクル 代替炉心注水 (可搬式代替炉心注水ポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注水 (格納容器スプレイポンプ (RHSS-CSS (SS)運転ライン使用)) <720時間/2サイクル (0)高圧注入ポンプ (海水冷却)) <720時間/2サイクル	
1. 冷却却系の減圧をするための設備 (SA-2)	1. 冷却却系の減圧をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	加圧設備が1. 系による減圧 (蒸発ポンプまたは可搬式空気圧縮機) を使用した減圧 (可搬) <20時間/2サイクル (可搬) <720時間/2サイクル	
重水系統等対 処設備	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ (圧減代 替炉心注水ポンプ) 代替原子炉格納容器スプレイ (可搬式 代替炉心注水ポンプ) <720時間/2サイクル	
原子炉格納容器内自然対流冷却 入管風ポンプによる原子炉格納容器内 自然対流冷却	原子炉格納容器内自然対流冷却 入管風ポンプによる原子炉格納容器内 自然対流冷却	<1回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル <24時間/2サイクル	
蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸 気放出) をするための設備 (SA-2)	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸 気放出) をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	—	
水素発生による原子炉格納容器の破損 を防止するための設備 (SA-2)	水素発生による原子炉格納容器の破損 を防止するための設備 (SA-2)	<1回/リサイクル	水素発生抑制 (静的機械式水素再結合装置) <720時間/2サイクル (原子炉格納容器内水素濃度監視 (水素濃度監視 水素濃度監視 水素濃度監視 <720時間/2サイクル	
水素発生による原子炉格納容器の破損を 防止するための設備 (SA-2)	水素発生による原子炉格納容器の破損を 防止するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	(アニュラス等気体化系) <720時間/2サイクル (代替空気 (蒸気) 系) <24時間/2サイクル	
使用済燃料ピットの冷却等のための設 備 (SA-2)	使用済燃料ピットの冷却等のための設 備 (SA-2)	<1回/サイクル	海水から使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへのスプレイ 使用済燃料ピットの監視 軽油用 <48時間/2サイクル	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		平均可能故障回数 (目標値)	非計画時間 (目標値)	
緊急停止失敗時に原子炉を本機界にするための設備 (SA-2)	緊急停止失敗時に原子炉を本機界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	非計画時間 (目標値) <720時間/2サイクル	
1. 1系系のフリードモードに入るための設備 (SA-2)	1. 1系系のフリードモードに入るための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	高圧注入ポンプ <20時間/2サイクル 高圧冷却水ポンプ <24時間/2サイクル	
炉心注水を停止するための設備 (SA-2)	炉心注水を停止するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	炉心注水 (非常用炉心冷却系) 炉心注水 (高圧タンク) 代替炉心注水 (B系でんポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注水 (A系熱交換器/2サイクル) <720時間/2サイクル 代替炉心注水 (可搬式代替炉心注水ポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注水 (格納容器スプレイポンプ (RHSS-CSS (SS)運転ライン使用)) <720時間/2サイクル (0)高圧注入ポンプ (海水冷却)) <720時間/2サイクル	
1. 冷却却系の減圧をするための設備 (SA-2)	1. 冷却却系の減圧をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	加圧設備が1. 系による減圧 (蒸発ポンプまたは可搬式空気圧縮機) を使用した減圧 (可搬) <20時間/2サイクル (可搬) <720時間/2サイクル	
重水系統等対 処設備	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ (圧減代 替炉心注水ポンプ) 代替原子炉格納容器スプレイ (可搬式 代替炉心注水ポンプ) <720時間/2サイクル	
原子炉格納容器内自然対流冷却 入管風ポンプによる原子炉格納容器内 自然対流冷却	原子炉格納容器内自然対流冷却 入管風ポンプによる原子炉格納容器内 自然対流冷却	<1回/リサイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル <24時間/2サイクル	
蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸 気放出) をするための設備 (SA-2)	蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸 気放出) をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	—	
水素発生による原子炉格納容器の破損 を防止するための設備 (SA-2)	水素発生による原子炉格納容器の破損 を防止するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	水素発生抑制 (静的機械式水素再結合装置) <720時間/2サイクル (原子炉格納容器内水素濃度監視 (水素濃度監視 水素濃度監視 水素濃度監視 <720時間/2サイクル	
水素発生による原子炉格納容器の破損を 防止するための設備 (SA-2)	水素発生による原子炉格納容器の破損を 防止するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	(アニュラス等気体化系) <720時間/2サイクル (代替空気 (蒸気) 系) <24時間/2サイクル	
使用済燃料ピットの冷却等のための設 備 (SA-2)	使用済燃料ピットの冷却等のための設 備 (SA-2)	<1回/サイクル	海水から使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへのスプレイ 使用済燃料ピットの監視 軽油用 <48時間/2サイクル	

変更理由

PRA モデルの更新に伴う変更。
 <720時間/2サイクル →
 <678時間/2サイクル

施設管理の実施に関する計画の変更の
変更前後表

施設管理の実施に関する計画の変更（本文）

変更前	変更後	変更理由
<p>3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期</p> <p>(1) 点検計画</p> <p>定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「大飯発電所 保守業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」に従い策定した。</p> <p>点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。</p> <p>附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。</p> <p>点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保全活動管理指標の監視結果 ・ 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績 ・ トラブルなど運転経験 ・ 安全性向上評価 ・ 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ ・ リスク情報、科学的知見 <p>4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置</p> <p>定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。</p> <p>※</p>	<p>は、別図のとおりである。 ※</p> <p>また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。</p> <p>※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七にて記載する。</p>	<p>3号機特定重大事故等対処施設供用開始（2022年12月8日）に伴い追加</p>

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更前		変更後		変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
点検計画 目次		目次																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉本体</td> <td>1/52</td> </tr> <tr> <td>[炉心]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉容器]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</td> <td>1/52</td> </tr> <tr> <td>[燃料取扱設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[使用済燃料貯蔵設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[燃料取扱替用水設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系統施設</td> <td>4/52</td> </tr> <tr> <td>[一次冷却材の循環設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[主蒸気・主給水設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[余熱除去設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[非常用炉心冷却設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[化学体積制御設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉補機冷却設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉補機冷却海水設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[蒸気タービンの附属設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測制御系統施設</td> <td>20/52</td> </tr> <tr> <td>[制御材]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[制御棒駆動装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[もう一度主人機能を有する設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[工学的安全施設等の作動信号]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[制御用空気設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射性廃棄物の廃棄施設</td> <td>23/52</td> </tr> <tr> <td>[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線管理施設</td> <td>27/52</td> </tr> <tr> <td>[放射線管理用計測装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[換気設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[生体遮蔽装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器又は系統名	ページ	原子炉本体	1/52	[炉心]		[原子炉容器]		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/52	[燃料取扱設備]		[使用済燃料貯蔵設備]		[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]		[燃料取扱替用水設備]		原子炉冷却系統施設	4/52	[一次冷却材の循環設備]		[主蒸気・主給水設備]		[余熱除去設備]		[非常用炉心冷却設備]		[化学体積制御設備]		[原子炉補機冷却設備]		[原子炉補機冷却海水設備]		[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]		[蒸気タービンの附属設備]		計測制御系統施設	20/52	[制御材]		[制御棒駆動装置]		[もう一度主人機能を有する設備]		[工学的安全施設等の作動信号]		[制御用空気設備]		[その他設備]		放射性廃棄物の廃棄施設	23/52	[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]		[気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備]		[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]		放射線管理施設	27/52	[放射線管理用計測装置]		[換気設備]		[生体遮蔽装置]		[その他設備]		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納施設</td> <td>35/52</td> </tr> <tr> <td>[原子炉格納容器]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[圧力低減設備その他の安全設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉設備</td> <td>41/52</td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉設備・タービン設備</td> <td>41/52</td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気タービン</td> <td>42/52</td> </tr> <tr> <td>[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[復水器]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[蒸気タービンに附属する熱交換器]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び排水設備並びに給水処理設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[蒸気タービンに附属する管等]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他発電用原子炉の附属施設</td> <td>47/52</td> </tr> <tr> <td>[非常用発電装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[その他の電源装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[常用電源設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[補助ボイラー]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[火災防範設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[浸水防護施設]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[制御棒駆動用燃料設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[非常用取水設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木建築設備</td> <td>52/52</td> </tr> <tr> <td>プラント総合</td> <td>52/52</td> </tr> <tr> <td>全廠機器</td> <td>52/52</td> </tr> <tr> <td>別表-1: クラス1機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-2: クラス2機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-3: クラス3機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-4: クラス1機器N1基金金使用部位特別検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-5: クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-6: 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-7: 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-8: 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-9: クラス1配管特別検査4年計画</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器又は系統名	ページ	原子炉格納施設	35/52	[原子炉格納容器]		[圧力低減設備その他の安全設備]		原子炉設備	41/52	[その他設備]		原子炉設備・タービン設備	41/52	[その他設備]		蒸気タービン	42/52	[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]		[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]		[復水器]		[蒸気タービンに附属する熱交換器]		[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び排水設備並びに給水処理設備]		[蒸気タービンに附属する管等]		[その他設備]		その他発電用原子炉の附属施設	47/52	[非常用発電装置]		[その他の電源装置]		[常用電源設備]		[補助ボイラー]		[火災防範設備]		[浸水防護施設]		[制御棒駆動用燃料設備]		[非常用取水設備]		土木建築設備	52/52	プラント総合	52/52	全廠機器	52/52	別表-1: クラス1機器供用期間中検査10年計画		別表-2: クラス2機器供用期間中検査10年計画		別表-3: クラス3機器供用期間中検査10年計画		別表-4: クラス1機器N1基金金使用部位特別検査10年計画		別表-5: クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画		別表-6: 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画		別表-7: 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画		別表-8: 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画		別表-9: クラス1配管特別検査4年計画		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉本体</td> <td>1/52</td> </tr> <tr> <td>[炉心]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉容器]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設</td> <td>1/52</td> </tr> <tr> <td>[燃料取扱設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[使用済燃料貯蔵設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[燃料取扱替用水設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系統施設</td> <td>4/52</td> </tr> <tr> <td>[一次冷却材の循環設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[主蒸気・主給水設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[余熱除去設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[非常用炉心冷却設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[化学体積制御設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉補機冷却設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉補機冷却海水設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[蒸気タービンの附属設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測制御系統施設</td> <td>20/52</td> </tr> <tr> <td>[制御材]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[制御棒駆動装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[もう一度主人機能を有する設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[工学的安全施設等の作動信号]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[制御用空気設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射性廃棄物の廃棄施設</td> <td>23/52</td> </tr> <tr> <td>[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線管理施設</td> <td>27/52</td> </tr> <tr> <td>[放射線管理用計測装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[換気設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[生体遮蔽装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器又は系統名	ページ	原子炉本体	1/52	[炉心]		[原子炉容器]		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/52	[燃料取扱設備]		[使用済燃料貯蔵設備]		[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]		[燃料取扱替用水設備]		原子炉冷却系統施設	4/52	[一次冷却材の循環設備]		[主蒸気・主給水設備]		[余熱除去設備]		[非常用炉心冷却設備]		[化学体積制御設備]		[原子炉補機冷却設備]		[原子炉補機冷却海水設備]		[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]		[蒸気タービンの附属設備]		計測制御系統施設	20/52	[制御材]		[制御棒駆動装置]		[もう一度主人機能を有する設備]		[工学的安全施設等の作動信号]		[制御用空気設備]		[その他設備]		放射性廃棄物の廃棄施設	23/52	[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]		[気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備]		[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]		放射線管理施設	27/52	[放射線管理用計測装置]		[換気設備]		[生体遮蔽装置]		[その他設備]		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納施設</td> <td>35/52</td> </tr> <tr> <td>[原子炉格納容器]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[圧力低減設備その他の安全設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉設備</td> <td>41/52</td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉設備・タービン設備</td> <td>41/52</td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気タービン</td> <td>42/52</td> </tr> <tr> <td>[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[復水器]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[蒸気タービンに附属する熱交換器]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び排水設備並びに給水処理設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[蒸気タービンに附属する管等]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[その他設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他発電用原子炉の附属施設</td> <td>47/52</td> </tr> <tr> <td>[非常用発電装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[その他の電源装置]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[常用電源設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[補助ボイラー]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[火災防範設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[浸水防護施設]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[制御棒駆動用燃料設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[非常用取水設備]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木建築設備</td> <td>52/52</td> </tr> <tr> <td>プラント総合</td> <td>52/52</td> </tr> <tr> <td>全廠機器</td> <td>52/52</td> </tr> <tr> <td>別表-1: クラス1機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-2: クラス2機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-3: クラス3機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-4: クラス1機器N1基金金使用部位特別検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-5: クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-6: 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-7: 重大事故等クラス1機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-8: 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-9: 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>別表-10: クラス1配管特別検査4年計画</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器又は系統名	ページ	原子炉格納施設	35/52	[原子炉格納容器]		[圧力低減設備その他の安全設備]		原子炉設備	41/52	[その他設備]		原子炉設備・タービン設備	41/52	[その他設備]		蒸気タービン	42/52	[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]		[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]		[復水器]		[蒸気タービンに附属する熱交換器]		[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び排水設備並びに給水処理設備]		[蒸気タービンに附属する管等]		[その他設備]		その他発電用原子炉の附属施設	47/52	[非常用発電装置]		[その他の電源装置]		[常用電源設備]		[補助ボイラー]		[火災防範設備]		[浸水防護施設]		[制御棒駆動用燃料設備]		[非常用取水設備]		土木建築設備	52/52	プラント総合	52/52	全廠機器	52/52	別表-1: クラス1機器供用期間中検査10年計画		別表-2: クラス2機器供用期間中検査10年計画		別表-3: クラス3機器供用期間中検査10年計画		別表-4: クラス1機器N1基金金使用部位特別検査10年計画		別表-5: クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画		別表-6: 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画		別表-7: 重大事故等クラス1機器供用期間中検査10年計画		別表-8: 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画		別表-9: 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画		別表-10: クラス1配管特別検査4年計画		<p>① 特定重大事故等対処施設の供用開始を受けた検査の追加。</p> <p>② 3号機特定重大事故等対処施設供用開始（2022年12月8日）に伴い追加</p> <p>※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七に記載する。</p>
機器又は系統名	ページ																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉本体	1/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[炉心]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉容器]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[燃料取扱設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[使用済燃料貯蔵設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[燃料取扱替用水設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉冷却系統施設	4/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[一次冷却材の循環設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[主蒸気・主給水設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[余熱除去設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[非常用炉心冷却設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[化学体積制御設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉補機冷却設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉補機冷却海水設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[蒸気タービンの附属設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計測制御系統施設	20/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[制御材]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[制御棒駆動装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[もう一度主人機能を有する設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[工学的安全施設等の作動信号]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[制御用空気設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
放射性廃棄物の廃棄施設	23/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
放射線管理施設	27/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[放射線管理用計測装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[換気設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[生体遮蔽装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
機器又は系統名	ページ																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉格納施設	35/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[原子炉格納容器]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[圧力低減設備その他の安全設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉設備	41/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉設備・タービン設備	41/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
蒸気タービン	42/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[復水器]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[蒸気タービンに附属する熱交換器]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び排水設備並びに給水処理設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[蒸気タービンに附属する管等]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
その他発電用原子炉の附属施設	47/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[非常用発電装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[その他の電源装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[常用電源設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[補助ボイラー]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[火災防範設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[浸水防護施設]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[制御棒駆動用燃料設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[非常用取水設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
土木建築設備	52/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
プラント総合	52/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
全廠機器	52/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
別表-1: クラス1機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-2: クラス2機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-3: クラス3機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-4: クラス1機器N1基金金使用部位特別検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-5: クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-6: 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-7: 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-8: 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-9: クラス1配管特別検査4年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
機器又は系統名	ページ																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉本体	1/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[炉心]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉容器]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[燃料取扱設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[使用済燃料貯蔵設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[燃料取扱替用水設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉冷却系統施設	4/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[一次冷却材の循環設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[主蒸気・主給水設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[余熱除去設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[非常用炉心冷却設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[化学体積制御設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉補機冷却設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉補機冷却海水設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[蒸気タービンの附属設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計測制御系統施設	20/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[制御材]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[制御棒駆動装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[もう一度主人機能を有する設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[工学的安全施設等の作動信号]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[制御用空気設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
放射性廃棄物の廃棄施設	23/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
放射線管理施設	27/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[放射線管理用計測装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[換気設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[生体遮蔽装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
機器又は系統名	ページ																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉格納施設	35/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[原子炉格納容器]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[圧力低減設備その他の安全設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉設備	41/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉設備・タービン設備	41/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
蒸気タービン	42/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[復水器]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[蒸気タービンに附属する熱交換器]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び排水設備並びに給水処理設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[蒸気タービンに附属する管等]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[その他設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
その他発電用原子炉の附属施設	47/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
[非常用発電装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[その他の電源装置]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[常用電源設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[補助ボイラー]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[火災防範設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[浸水防護施設]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[制御棒駆動用燃料設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
[非常用取水設備]																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
土木建築設備	52/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
プラント総合	52/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
全廠機器	52/52																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
別表-1: クラス1機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-2: クラス2機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-3: クラス3機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-4: クラス1機器N1基金金使用部位特別検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-5: クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-6: 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-7: 重大事故等クラス1機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-8: 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-9: 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
別表-10: クラス1配管特別検査4年計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

施設管理の実施に関する計画の変更 (別紙 点検計画)

変更理由

① 保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更 (備考欄に関連事項の追記)

② 振動診断周期見直しに伴う変更

変更後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び点検の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検日次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断法(注)
経路材物質の取除施設及び行蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽の均等化設備】	B使用済燃料ペレット冷却器	1. 開放点検 2. 弁駆動試験 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M	—	1609	1次系ボンプ機器検査	先行実施
	C使用済燃料ペレット冷却器	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M	—	1709	1次系ボンプ機器検査	先行実施
	経路材物質の取除施設及び行蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽の均等化設備】 その他の弁	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高・低	B※ 150M~150M	○	1909	1次系ボンプ機器検査	有効性評価 No.2の反映
経路材物質の取除施設及び行蔵施設 【燃料取替用ボンプ・電動機】	1式	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M~150M	○	1609	1次系ボンプ機器検査	有効性評価 No.2の反映
	2式	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M~150M	○	1209	1次系ボンプ機器検査	有効性評価 No.2の反映
	3式	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M~150M	○	1809	1次系ボンプ機器検査	有効性評価 No.2の反映
経路材物質の取除施設及び行蔵施設 【燃料取替用ボンプ・電動機】	1式	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高・低	B※ 150M~150M	○	1809	1次系ボンプ機器検査	有効性評価 No.2の反映
	2式	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M~150M	○	1809	1次系ボンプ機器検査	有効性評価 No.2の反映
	3式	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M~150M	○	1809	1次系ボンプ機器検査	有効性評価 No.2の反映

(3/52)

変更前

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び点検の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検日次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断法(注)
経路材物質の取除施設及び行蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽の均等化設備】	B使用済燃料ペレット冷却器	1. 開放点検 2. 弁駆動試験 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M	—	1609	1次系ボンプ機器検査	先行実施
	C使用済燃料ペレット冷却器	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M	—	1709	1次系ボンプ機器検査	先行実施
	経路材物質の取除施設及び行蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽の均等化設備】 その他の弁	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高・低	B※ 150M~150M	○	1809	1次系ボンプ機器検査	有効性評価 No.2の反映
経路材物質の取除施設及び行蔵施設 【燃料取替用ボンプ・電動機】	1式	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M	—	1609	1次系ボンプ機器検査	先行実施
	2式	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M	—	1709	1次系ボンプ機器検査	先行実施
	3式	1. 開放点検 2. 開放点検 3. 開放点検 4. 開放点検	高	B※ 150M	—	1809	1次系ボンプ機器検査	先行実施

(3/52)

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更前	変更後	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は名称名 【一次保守時の情報取揃】</th> <th>実施数（機器名）</th> <th>点検及び試験の項目</th> <th>保全の 重要度</th> <th>保全方式 又は頻度</th> <th>今回の実施 計画</th> <th>前回実施時期 （定例回次）</th> <th>検査名</th> <th>備考 （ ）内は適用する 設備箇所を指す</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">A 蒸気発生器</td> <td rowspan="12">圧機室 1. 2次機 2次機</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 圧力試験</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. ガンネット上取替他</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">B 蒸気発生器</td> <td rowspan="4">圧機室 1. 2次機 2次機</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>17回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 圧力試験</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. ガンネット上取替他</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">C 蒸気発生器</td> <td rowspan="4">圧機室 1. 2次機 2次機</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 圧力試験</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. ガンネット上取替他</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D 蒸気発生器</td> <td rowspan="4">圧機室 1. 2次機 2次機</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>17回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 圧力試験</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. ガンネット上取替他</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器又は名称名 【一次保守時の情報取揃】	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定例回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備箇所を指す	A 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		B 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体検査		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		C 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		D 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体検査		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は名称名 【一次保守時の情報取揃】</th> <th>実施数（機器名）</th> <th>点検及び試験の項目</th> <th>保全の 重要度</th> <th>保全方式 又は頻度</th> <th>今回の実施 計画</th> <th>前回実施時期 （定例回次）</th> <th>検査名</th> <th>備考 （ ）内は適用する 設備箇所を指す</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">A 蒸気発生器</td> <td rowspan="12">圧機室 1. 2次機 2次機</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 圧力試験</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. ガンネット上取替他</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">B 蒸気発生器</td> <td rowspan="4">圧機室 1. 2次機 2次機</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>17回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 圧力試験</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. ガンネット上取替他</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">C 蒸気発生器</td> <td rowspan="4">圧機室 1. 2次機 2次機</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 圧力試験</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. ガンネット上取替他</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D 蒸気発生器</td> <td rowspan="4">圧機室 1. 2次機 2次機</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>17回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 圧力試験</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）</td> <td>高</td> <td>20M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. ガンネット上取替他</td> <td>高</td> <td>13M</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>蒸気発生器伝熱管体検査</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器又は名称名 【一次保守時の情報取揃】	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定例回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備箇所を指す	A 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		B 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体検査		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		C 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		D 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体検査		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査		<p>記載の適正化</p>
機器又は名称名 【一次保守時の情報取揃】	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定例回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備箇所を指す																																																																																																																																																																																																																																																												
A 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		B 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
		C 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
D 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
機器又は名称名 【一次保守時の情報取揃】	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 （定例回次）	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備箇所を指す																																																																																																																																																																																																																																																												
A 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		B 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
		C 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
				4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																											
D 蒸気発生器	圧機室 1. 2次機 2次機	1. 非破壊試験	高	20M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		2. 圧力試験	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		3. スターール回収 （鋼製部品の計測、ス タール回収）	高	20M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													
		4. ガンネット上取替他	高	13M	○	18回	蒸気発生器伝熱管体検査																																																																																																																																																																																																																																																													

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更理由

保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更
(備考欄に関連事項の追記)

変更後

機器又は系統名 【一次点検時の履歴記録欄】	実施機（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方針 又は頻度	今回の点検 計画	今回の点検 計画（定検回数）	次回点検時期 （定検回数）	検査名	備考 （○）内は適用する 基準の適用状況 （○）内は適用する 基準の適用状況
原子炉格納系監視装置 【一次点検時の履歴記録欄】	D1 一次点検用ポンプ・電動機	1.漏洩・性能試験	高	HF	○	19回	19回	1次点検用ポンプ機能検査	（○）内は適用する 基準の適用状況 （○）内は適用する 基準の適用状況
		2.分極点検	高	130M	—	16回	16回		
		3.（注）ポンプ （メカニカル）	高・低	130M	○	19回	19回	1次点検用ポンプメカニカル シール分極検査	
		4.分極点検 （注）ポンプ（メカニカル）	高・低	104M	—	18回	18回		
		5.分極点検 （軸受分極）	高・低	52M	—	18回	18回		
		6.分極点検 （電動機）	高・低	104M	—	18回	18回		
		7.潤滑点検 （電動機）	高・低	29M	○	18回	18回		
		1.潤滑（注）配管	高・低	B	○	19回	19回	1次点検検査	
		2.分極点検	高	52M～130M	○	19回	19回		
		3.分極点検	低	78M～156M	○	19回	19回	1次点検検査	
4.潤滑点検（メカニカル）	高・低	39M～156M	○	19回	19回				
1.潤滑・性能試験	高・低	29M～63M	○	19回	19回	1次点検検査	注1：潤滑油の 注2：潤滑油の 注3：潤滑油の		
2.分極点検	高	29M～63M	○	19回	19回				
3.潤滑点検 （特性点検）	高	13M～63M	○	19回	19回				
1.分極点検他	高	13M～104M	○	19回	19回				
2.分極点検他	低	13M～63M	○	19回	19回				

(7/52)

変更前

機器又は系統名 【一次点検時の履歴記録欄】	実施機（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方針 又は頻度	今回の点検 計画	今回の点検 計画（定検回数）	次回点検時期 （定検回数）	検査名	備考 （○）内は適用する 基準の適用状況 （○）内は適用する 基準の適用状況
原子炉格納系監視装置 【一次点検時の履歴記録欄】	D1 一次点検用ポンプ・電動機	1.漏洩・性能試験	高	HF	○	19回	19回	1次点検用ポンプ機能検査	（○）内は適用する 基準の適用状況 （○）内は適用する 基準の適用状況
		2.分極点検	高	130M	—	16回	16回		
		3.分極点検 （メカニカル）	高・低	13M	○	19回	19回	1次点検用ポンプメカニカル シール分極検査	
		4.分極点検 （注）ポンプ（メカニカル）	高・低	104M	—	18回	18回		
		5.分極点検 （軸受分極）	高・低	52M	—	18回	18回		
		6.分極点検 （電動機）	高・低	104M	—	18回	18回		
		7.潤滑点検 （電動機）	高・低	29M	○	18回	18回		
		1.潤滑（注）配管	高・低	B	○	19回	19回	1次点検検査	
		2.分極点検	高	52M～130M	○	19回	19回		
		3.分極点検	低	78M～156M	○	19回	19回		
4.潤滑点検（メカニカル）	高・低	39M～156M	○	19回	19回				
1.潤滑・性能試験	高・低	29M～63M	○	18回	18回				
2.分極点検	高	29M～63M	○	18回	18回				
3.潤滑点検 （特性点検）	高	13M～63M	○	19回	19回				
1.分極点検他	高	13M～104M	○	19回	19回				
2.分極点検他	低	13M～63M	○	19回	19回				

(7/52)

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更前				変更後				変更理由	
機器又は系統名	実施機（機器名）	点検及び点検の項目	保全の重要度	保全方式又は程度	今回の実施計画	前回実施時期（定例回次）	検査名	備考 （1）内は通行する設備診断項目	
原子炉冷却系統監視 【主蒸気・主給水設備】	原子炉冷却系統監視【主蒸気・主給水設備】 その他の弁	1.機能・性能試験	高・低	B	○	17回	検査名	備考 （1）内は通行する設備診断項目	
		2.分解点検	高・低	20回～130回	○	19回	2次弁検査		
		3.簡易点検	高・低	53回～130回	○	19回	2次弁検査		
		4.シフトハンギング取付	高・低	B	○	19回	2次弁検査		
		5.機能・性能試験	高・低	20回～130回	○	19回	2次弁検査		
		6.簡易点検	高	130回～130回	○	19回			
		7.簡易点検	高	130回～100回	○	18回			
		8.簡易点検	高	B*	○	13回			
		9.簡易点検	高	78回	○	15回			
		10.簡易点検	高	130回	○	16回			
原子炉冷却系統監視 【系統除去設備】	原子炉冷却系統監視【主蒸気・主給水設備】 その他の弁	1.機能・性能試験	高	B*	○	15回	1次弁ボンプ機能検査	B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 2次弁ボンプの分解点検は、30回を1年ごとの定期検査として実施 3.簡易点検は、1回定期点検から規定 4.簡易点検は、1回定期点検から規定 5.簡易点検は、1回定期点検から規定 6.簡易点検は、1回定期点検から規定	
		2.分解点検	高	20回	○	18回			
		3.簡易点検	高	20回	○	18回			
		4.簡易点検	高	20回	○	18回			
		5.簡易点検	高	20回	○	18回			
		6.簡易点検	高	20回	○	18回			
		7.簡易点検	高	20回	○	18回			
		8.簡易点検	高	20回	○	18回			
		9.簡易点検	高	20回	○	18回			
		10.簡易点検	高	20回	○	18回			
原子炉冷却系統監視 【系統除去設備】	原子炉冷却系統監視【主蒸気・主給水設備】 その他の弁	1.機能・性能試験	高	B*	○	19回	1次弁ボンプ機能検査	B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 2次弁ボンプの分解点検は、1回定期点検として実施 3.簡易点検は、1回定期点検から規定 4.簡易点検は、1回定期点検から規定 5.簡易点検は、1回定期点検から規定 6.簡易点検は、1回定期点検から規定 7.簡易点検は、1回定期点検から規定 8.簡易点検は、1回定期点検から規定 9.簡易点検は、1回定期点検から規定 10.簡易点検は、1回定期点検から規定	
		2.分解点検	高	B*	○	19回			
		3.簡易点検	高	78回	○	19回			
		4.簡易点検	高	130回	○	19回			
		5.簡易点検	高	20回	○	19回			
		6.簡易点検	高	20回	○	19回			
		7.簡易点検	高	20回	○	19回			
		8.簡易点検	高	20回	○	19回			
		9.簡易点検	高	20回	○	19回			
		10.簡易点検	高	20回	○	19回			

振動診断周期見直しに伴う変更

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更理由

保安の有効性評価結果に伴う保安頻度の変更
(備考欄に関連事項の追記)

変更後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保安の重要度	保安方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉管理系統監視 【系統除去設備】	低圧注入系主要弁	3V-RH-050A	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	() 内は適用する設備診断技術 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
		3V-RH-050B	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
	3V-RH-050C	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
		3. 漏えい試験	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
	3V-RH-050D	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
	A系統除去弁装置	3V-RH-051A	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
		3V-RH-051B	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
	B系統除去弁装置	3V-RH-050A	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
3V-RH-050C		1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
原子炉管理系統監視【系統除去設備】 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検 4. 閉塞点検 5. 閉塞・性能試験 6. プラントハンギング取付	高・低	52M~130M	—	18回	1次系弁検査	有効性評価、NAIの反映 定期検定は、16回	
	1式	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検 4. 閉塞点検 5. 閉塞・性能試験 6. プラントハンギング取付	高・低	52M~130M	—	18回	1次系弁検査	有効性評価、NAIの反映 定期検定は、16回	
原子炉管理系統監視【系統除去設備】 その他の機器	1式	1. 分解点検 2. 閉塞点検 3. 閉塞・性能試験 4. 閉塞試験	高	130M~130M	—	18回	1次系弁検査	有効性評価、NAIの反映 定期検定は、16回	
	1式	1. 分解点検 2. 閉塞点検 3. 閉塞・性能試験 4. 閉塞試験	高	130M~130M	—	18回	1次系弁検査	有効性評価、NAIの反映 定期検定は、16回	
その他NAI(代替用機器) 機器	1式	1. 分解点検	高	130M~132M	—	15回	1次系弁検査		

(10/52)

変更前

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保安の重要度	保安方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉管理系統監視 【系統除去設備】	低圧注入系主要弁	3V-RH-050A	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	() 内は適用する設備診断技術 その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
		3V-RH-050B	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
	3V-RH-050C	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
		3. 漏えい試験	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
	3V-RH-050D	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
	A系統除去弁装置	3V-RH-051A	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
		3V-RH-051B	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
	B系統除去弁装置	3V-RH-050A	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から
3V-RH-050C		1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回定期検定から	
原子炉管理系統監視【系統除去設備】 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検 4. 閉塞点検 5. 閉塞・性能試験 6. プラントハンギング取付	高・低	52M~130M	—	18回	1次系弁検査	有効性評価、NAIの反映 定期検定は、16回	
	1式	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検 4. 閉塞点検 5. 閉塞・性能試験 6. プラントハンギング取付	高・低	52M~130M	—	18回	1次系弁検査	有効性評価、NAIの反映 定期検定は、16回	
原子炉管理系統監視【系統除去設備】 その他の機器	1式	1. 分解点検 2. 閉塞点検 3. 閉塞・性能試験 4. 閉塞試験	高	130M~130M	—	18回	1次系弁検査	有効性評価、NAIの反映 定期検定は、16回	
	1式	1. 分解点検 2. 閉塞点検 3. 閉塞・性能試験 4. 閉塞試験	高	130M~130M	—	18回	1次系弁検査	有効性評価、NAIの反映 定期検定は、16回	
その他NAI(代替用機器) 機器	1式	1. 分解点検	高	130M~132M	—	15回	1次系弁検査		

(10/52)

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更理由

① 記載の適正化（分解点検に合わせて実施するため追加、それに伴う番号変更）

② 記載の適正化（先行で実施するため、記載を追加）

変更後

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保安の重要度	保安上重大程度	今回の実施計画	前回実施時期（定例実施）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備の技術仕様		
原子炉冷却系系統図記 【非常用炉心冷却設備】	直設代管低圧注水系 直設代管低圧注水ポンプ・電動機	1台	1.機能・性能試験 (ポンプ・電動機含む)	高	IF	○	19回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	10回設定検時に設置	
			2.分解点検 (ポンプ)	高	IF	○	19回	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置	
			3.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			1.機能・性能試験 (電動機)	高	130M	○	19回	可搬式代管低圧注水ポンプ・電動機検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			①	1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	IF	○	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			2.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			3.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			1.機能・性能試験 (電動機)	高	250M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	250M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	250M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
原子炉冷却系系統図記 【非常用炉心冷却設備】	可搬式代管低圧注水ポンプ・電動機	3台	1.機能・性能試験 (電動機含む)	高	IF	○	18回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	10回設定検時に設置	
			2.分解点検 (ポンプ)	高	IF	○	18回	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置	
			3.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			1.機能・性能試験 (電動機)	高	130M	○	18回	可搬式代管低圧注水ポンプ・電動機検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			①	1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	IF	○	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			2.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			3.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			1.機能・性能試験 (電動機)	高	250M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	250M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	250M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	

(12/52)

変更前

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保安の重要度	保安上重大程度	今回の実施計画	前回実施時期（定例実施）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備の技術仕様		
原子炉冷却系系統図記 【非常用炉心冷却設備】	直設代管低圧注水系 直設代管低圧注水ポンプ・電動機	1台	1.機能・性能試験 (ポンプ・電動機含む)	高	IF	○	18回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	10回設定検時に設置	
			2.分解点検 (ポンプ)	高	IF	○	18回	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置	
			3.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			1.機能・性能試験 (電動機)	高	130M	○	18回	可搬式代管低圧注水ポンプ・電動機検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			①	1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	IF	○	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			2.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			3.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			1.機能・性能試験 (電動機)	高	250M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	250M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	250M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
原子炉冷却系系統図記 【非常用炉心冷却設備】	可搬式代管低圧注水ポンプ・電動機	3台	1.機能・性能試験 (電動機含む)	高	IF	○	16回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	10回設定検時に設置	
			2.分解点検 (ポンプ)	高	IF	○	16回	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置	
			3.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			1.機能・性能試験 (電動機)	高	130M	○	16回	可搬式代管低圧注水ポンプ・電動機検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			①	1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	IF	○	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			2.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			3.分解点検	高	130M	—	—	—	その他原子炉注水系主要弁分解検査	10回設定検時に設置
			1.機能・性能試験 (電動機)	高	250M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	250M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	
			1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	250M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 10回設定検時に設置	

(12/52)

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更前				変更後				変更理由			
機器又は系統名	実施数（機器数）	点検及び試験の項目	保全の 又は 重要度	保全方式 又は 頻度	今日の 実施 計画	前回の 実施 時期 (定例回次)	検査名	備考 ()内は、適用する 設備診断技術			
原子炉格納系系統施設 【非常用炉心冷却設備】	原子炉格納系系統施設【非常用炉心冷却設備】	蓄圧注入系主要弁駆動部	高	18回	○	18回	検査	（ ）内は、適用する 設備診断技術			
		A蓄圧タンク	高	130回	○	14回					
		B蓄圧タンク	高	130回	○	16回					
		C蓄圧タンク	高	130回	○	16回					
		D蓄圧タンク	高	130回	○	18回					
		燃料取替用ホース	高	130回	○	18回					
		A、B格納容器内循環ポンプ	高	130回	○	19回					
		A、B格納容器内循環ポンプスクリーン	高	130回	○	19回					
		原子炉格納系系統施設【非常用炉心冷却設備】 他の弁駆動部	高	130回	○	19回					
		原子炉格納系系統施設【非常用炉心冷却設備】 他の機器	高	130回	○	19回					
		A充てんポンプ・電動機	高	78回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査				
		充てんポンプ	高	78回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査				
		1. 潤滑・性能試験 (ポンプ、電動機等各 種)	高	130回	○	16回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査				
		2. 分解点検 (電動機)	高	26回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査				
		3. 潤滑点検 (ポンプ)	高	26回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査				
4. 潤滑点検 (燃料取替機)	高	26回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
5. 潤滑点検 (燃料取替機)	高	26回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
原子炉格納系系統施設【非常用炉心冷却設備】 他の弁	高・低	78回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
原子炉格納系系統施設【非常用炉心冷却設備】 他の弁駆動部	高・低	78回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
原子炉格納系系統施設【非常用炉心冷却設備】 他の機器	高	78回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
A充てんポンプ・電動機	高	78回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
充てんポンプ	高	78回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
1. 潤滑・性能試験 (ポンプ、電動機等各 種)	高	130回	○	16回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
2. 分解点検 (電動機)	高	26回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
3. 潤滑点検 (ポンプ)	高	26回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
4. 潤滑点検 (燃料取替機)	高	26回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						
5. 潤滑点検 (燃料取替機)	高	26回	○	18回	蓄圧注入系主要弁駆動部 検査						

振動診断周期見直しに伴う
変更

(14/32)

(14/52)

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更理由

振動診断周期見直しに伴う変更

変更後

機器又は系統名	実施策（機器名）	点検及び点検の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検日）	検査名	備考 （○内は適用する）
原子炉貯注系系統 【化学体積制御設備】	B充てんポンプ・電動機	1.分極点検 (ポンプ)	高	78H	—	11回	その他原子炉貯注系ポンプ/電動機	振動診断：1.20回 化学体積制御系充てんポンプ/電動機は、16回定検後から検査
		2.分極点検 (電動機)		130H	—	15回		
		3.簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		29H	—	13回		
		4.簡易点検 (ポンプ)		29H	—	14回		
		5.簡易点検 (ポンプ)		13H	○	12回		
		5.簡易点検 (ポンプ)		13H	○	12回		
		6.簡易点検 (ポンプ)		13H	○	12回		
		7.簡易点検 (ポンプ)		13H	○	12回		
		8.簡易点検 (ポンプ)		13H	○	12回		
		9.簡易点検 (ポンプ)		13H	○	12回		
その他原子炉貯注系主要弁	3V-CS-155	1.分極点検	高	130H	—	15回	その他原子炉貯注系主要弁/弁 1.分極点検	その他原子炉貯注系主要弁/弁 毎分は、16回定検後から検査
		3V-CS-157	1.分極点検	高	130H	—	12回	
		3V-CS-164	1.分極点検	高	130H	—	12回	
		3V-CS-166	1.分極点検	高	130H	—	15回	
		3V-CS-168	1.分極点検	高	130H	○	10回	
		1.簡易点検	高	130H	—	12回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
床下ポンプ・電動機	A冷却材配管入口バルブ	1.簡易点検	高	130H	—	17回	その他原子炉貯注系ポンプ/電動機	その他原子炉貯注系ポンプ/電動機 毎分は、16回定検後から検査
		2.簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		29H	○	17回		
		4.簡易点検 (ポンプ)		29H	○	17回		
		5.簡易点検 (ポンプ)		13H	○	18回		
		1.簡易点検 (ポンプ)		65H	○	14回		
		2.簡易点検 (ポンプ)		43H	—	13回		
		3.簡易点検 (ポンプ)		29H	—	18回		
		4.簡易点検 (ポンプ)		29H	—	18回		
		5.簡易点検 (ポンプ)		29H	—	18回		
		6.簡易点検 (ポンプ)		29H	—	18回		
その他原子炉貯注系主要弁	3V-CS-155	1.分極点検	高	130H	—	16回	その他原子炉貯注系主要弁/弁 1.分極点検	その他原子炉貯注系主要弁/弁 毎分は、16回定検後から検査
		3V-CS-157	1.分極点検	高	130H	—	12回	
		3V-CS-164	1.分極点検	高	130H	—	12回	
		3V-CS-166	1.分極点検	高	130H	—	15回	
		3V-CS-168	1.分極点検	高	130H	—	15回	
		1.簡易点検	高	130H	—	12回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		

(15/22)

変更前

機器又は系統名	実施策（機器名）	点検及び点検の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検日）	検査名	備考 （○内は適用する）
原子炉貯注系系統 【化学体積制御設備】	B充てんポンプ・電動機	1.分極点検 (ポンプ)	高	78H	—	17回	その他原子炉貯注系ポンプ/電動機	その他原子炉貯注系ポンプ/電動機 毎分は、16回定検後から検査
		2.分極点検 (電動機)		130H	—	16回		
		3.簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		29H	○	17回		
		4.簡易点検 (ポンプ)		29H	○	17回		
		5.簡易点検 (ポンプ)		13H	○	18回		
		1.簡易点検 (ポンプ)		65H	○	14回		
		2.簡易点検 (ポンプ)		43H	—	13回		
		3.簡易点検 (ポンプ)		29H	—	18回		
		4.簡易点検 (ポンプ)		29H	—	18回		
		5.簡易点検 (ポンプ)		29H	—	18回		
その他原子炉貯注系主要弁	3V-CS-155	1.分極点検	高	130H	—	16回	その他原子炉貯注系主要弁/弁 1.分極点検	その他原子炉貯注系主要弁/弁 毎分は、16回定検後から検査
		3V-CS-157	1.分極点検	高	130H	—	12回	
		3V-CS-164	1.分極点検	高	130H	—	12回	
		3V-CS-166	1.分極点検	高	130H	—	15回	
		3V-CS-168	1.分極点検	高	130H	—	15回	
		1.簡易点検	高	130H	—	12回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
		1.簡易点検	高	130H	—	15回		
本体制御システム	A冷却材配管入口バルブ	1.簡易点検	高	130H	—	10回		
		1.簡易点検	高	130H	○	11回		
		1.簡易点検	高	130H	—	13回		
		1.簡易点検	高	130H	—	14回		
		1.簡易点検	高	130H	—	17回		
		1.簡易点検	高	130H	—	16回		
		1.簡易点検	高	130H	○	9回		
		1.簡易点検	高	130H	○	16回		
		1.簡易点検	高	130H	—	12回		
		1.簡易点検	高	130H	—	12回		

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更前	変更後	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>実施数（機器名）</th> <th>点検及び試験の項目</th> <th>保全の重要度</th> <th>保全方式又は頻度</th> <th>今回の実施計画</th> <th>前回実施時期（定例回次）</th> <th>検査名</th> <th>備考 (1) 内容は通じる設備診断技術</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】</td> <td rowspan="10">制御用出力制御器</td> <td>1.開放点検</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> <td rowspan="10">B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA13の反映</td> </tr> <tr> <td>2.非接触式試験</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.潤滑油試験</td> <td>高・低</td> <td>B</td> <td>—</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>13W~200W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検</td> <td>低</td> <td>75W~200W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ</td> <td>高・低 ①</td> <td>65W~195W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高・低</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>52W~182W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.簡易点検</td> <td>高</td> <td>13W~182W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.分解点検他</td> <td>高</td> <td>13W~130W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高</td> <td>HP</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> <td rowspan="10">B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：1.2回） 有効性評価：NA6の反映</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>B*</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系ボルト機器検査</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検 (ボルト)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>○</td> <td>16回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (潤滑油入替)</td> <td>高</td> <td>20W</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5.簡易点検 (ボルト)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>—</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高</td> <td>B*</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系ボルト機器検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検 (ボルト)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>○</td> <td>16回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検 (電動機)</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>16回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (潤滑油入替)</td> <td>高</td> <td>20W</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5.簡易点検 (電動機)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>—</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td>1.開放点検</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> <td rowspan="10">B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA13の反映</td> </tr> <tr> <td>2.非接触式試験</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.潤滑油試験</td> <td>高・低</td> <td>B</td> <td>—</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>13W~200W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検</td> <td>低</td> <td>75W~200W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ</td> <td>高・低 ①</td> <td>65W~195W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高・低</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>52W~182W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.簡易点検</td> <td>高</td> <td>13W~182W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.分解点検他</td> <td>高</td> <td>13W~130W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高</td> <td>HP</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>—</td> <td rowspan="10">B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA14の反映</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>B*</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系ボルト機器検査</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検 (ボルト)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>○</td> <td>16回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (潤滑油入替)</td> <td>高</td> <td>20W</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5.簡易点検 (ボルト)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>—</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高</td> <td>B*</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系ボルト機器検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>○</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (潤滑油入替)</td> <td>高</td> <td>20W</td> <td>○</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5.簡易点検 (電動機)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>—</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定例回次）	検査名	備考 (1) 内容は通じる設備診断技術	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】	制御用出力制御器	1.開放点検	高	130W	—	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA13の反映	2.非接触式試験	高	130W	—	18回	—	3.潤滑油試験	高・低	B	—	19回	1次系弁検査	2.分解点検	高	13W~200W	○	19回	1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査	3.分解点検	低	75W~200W	○	19回	1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査	4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ	高・低 ①	65W~195W	○	19回	—	1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査	2.分解点検	高	52W~182W	○	19回	—	3.簡易点検	高	13W~182W	○	19回	—	1.分解点検他	高	13W~130W	○	19回	—	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.機能・性能試験	高	HP	○	19回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：1.2回） 有効性評価：NA6の反映	2.分解点検	高	B*	○	19回	1次系ボルト機器検査	3.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—	4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—	5.簡易点検 (ボルト)	高	52W	—	17回	—	1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査	2.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—	3.分解点検 (電動機)	高	130W	—	16回	—	4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—	5.簡易点検 (電動機)	高	52W	—	17回	—	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.開放点検	高	130W	—	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA13の反映	2.非接触式試験	高	130W	—	18回	—	3.潤滑油試験	高・低	B	—	19回	1次系弁検査	2.分解点検	高	13W~200W	○	19回	1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査	3.分解点検	低	75W~200W	○	19回	1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査	4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ	高・低 ①	65W~195W	○	19回	—	1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査	2.分解点検	高	52W~182W	○	19回	—	3.簡易点検	高	13W~182W	○	19回	—	1.分解点検他	高	13W~130W	○	19回	—	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.機能・性能試験	高	HP	○	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA14の反映	2.分解点検	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査	3.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—	4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—	5.簡易点検 (ボルト)	高	52W	—	17回	—	1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査	2.分解点検	高	52W	○	17回	—	3.分解点検	高	130W	—	18回	—	4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	17回	—	5.簡易点検 (電動機)	高	52W	—	17回	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>実施数（機器名）</th> <th>点検及び試験の項目</th> <th>保全の重要度</th> <th>保全方式又は頻度</th> <th>今回の実施計画</th> <th>前回実施時期（定例回次）</th> <th>検査名</th> <th>備考 (1) 内容は通じる設備診断技術</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】</td> <td rowspan="10">制御用出力制御器</td> <td>1.開放点検</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> <td rowspan="10">B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA13の反映</td> </tr> <tr> <td>2.非接触式試験</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.潤滑油試験</td> <td>高・低</td> <td>B</td> <td>—</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>13W~200W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検</td> <td>低</td> <td>75W~200W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ</td> <td>高・低 ①</td> <td>65W~195W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高・低</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>52W~182W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.簡易点検</td> <td>高</td> <td>13W~182W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.分解点検他</td> <td>高</td> <td>13W~130W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高</td> <td>HP</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> <td rowspan="10">B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：1.2回） 有効性評価：NA6の反映</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>B*</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系ボルト機器検査</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検 (ボルト)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>○</td> <td>16回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (潤滑油入替)</td> <td>高</td> <td>20W</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5.簡易点検 (ボルト)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>—</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高</td> <td>B*</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系ボルト機器検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>○</td> <td>16回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検 (電動機)</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>16回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (潤滑油入替)</td> <td>高</td> <td>20W</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5.簡易点検 (電動機)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>—</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td>1.開放点検</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> <td rowspan="10">B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA14の反映</td> </tr> <tr> <td>2.非接触式試験</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.潤滑油試験</td> <td>高・低</td> <td>B</td> <td>—</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>13W~200W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検</td> <td>低</td> <td>75W~200W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ</td> <td>高・低 ①</td> <td>65W~195W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高・低</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>1次系弁検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>52W~182W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.簡易点検</td> <td>高</td> <td>13W~182W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.分解点検他</td> <td>高</td> <td>13W~130W</td> <td>○</td> <td>19回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td rowspan="10">原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器</td> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高</td> <td>HP</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>—</td> <td rowspan="10">B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA14の反映</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>B*</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系ボルト機器検査</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検 (ボルト)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>○</td> <td>16回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (潤滑油入替)</td> <td>高</td> <td>20W</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5.簡易点検 (ボルト)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>—</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1.機能・性能試験</td> <td>高</td> <td>B*</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系ボルト機器検査</td> </tr> <tr> <td>2.分解点検</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>○</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3.分解点検</td> <td>高</td> <td>130W</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4.簡易点検 (潤滑油入替)</td> <td>高</td> <td>20W</td> <td>○</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5.簡易点検 (電動機)</td> <td>高</td> <td>52W</td> <td>—</td> <td>17回</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定例回次）	検査名	備考 (1) 内容は通じる設備診断技術	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】	制御用出力制御器	1.開放点検	高	130W	—	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA13の反映	2.非接触式試験	高	130W	—	18回	—	3.潤滑油試験	高・低	B	—	19回	1次系弁検査	2.分解点検	高	13W~200W	○	19回	1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査	3.分解点検	低	75W~200W	○	19回	1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査	4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ	高・低 ①	65W~195W	○	19回	—	1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査	2.分解点検	高	52W~182W	○	19回	—	3.簡易点検	高	13W~182W	○	19回	—	1.分解点検他	高	13W~130W	○	19回	—	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.機能・性能試験	高	HP	○	19回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：1.2回） 有効性評価：NA6の反映	2.分解点検	高	B*	○	19回	1次系ボルト機器検査	3.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—	4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—	5.簡易点検 (ボルト)	高	52W	—	17回	—	1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査	2.分解点検	高	52W	○	16回	—	3.分解点検 (電動機)	高	130W	—	16回	—	4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—	5.簡易点検 (電動機)	高	52W	—	17回	—	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.開放点検	高	130W	—	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA14の反映	2.非接触式試験	高	130W	—	18回	—	3.潤滑油試験	高・低	B	—	19回	1次系弁検査	2.分解点検	高	13W~200W	○	19回	1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査	3.分解点検	低	75W~200W	○	19回	1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査	4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ	高・低 ①	65W~195W	○	19回	—	1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査	2.分解点検	高	52W~182W	○	19回	—	3.簡易点検	高	13W~182W	○	19回	—	1.分解点検他	高	13W~130W	○	19回	—	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.機能・性能試験	高	HP	○	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA14の反映	2.分解点検	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査	3.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—	4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—	5.簡易点検 (ボルト)	高	52W	—	17回	—	1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査	2.分解点検	高	52W	○	17回	—	3.分解点検	高	130W	—	18回	—	4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	17回	—	5.簡易点検 (電動機)	高	52W	—	17回	—	<p>① 保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更（備考欄に関連事項の追記）</p> <p>② 振動診断周期見直しに伴う変更</p>
機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定例回次）	検査名	備考 (1) 内容は通じる設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】	制御用出力制御器	1.開放点検	高	130W	—	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA13の反映																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		2.非接触式試験	高	130W	—	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.潤滑油試験	高・低	B	—	19回	1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	13W~200W	○	19回	1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検	低	75W~200W	○	19回	1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ	高・低 ①	65W~195W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	52W~182W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.簡易点検	高	13W~182W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.分解点検他	高	13W~130W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.機能・性能試験	高	HP	○	19回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：1.2回） 有効性評価：NA6の反映																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		2.分解点検	高	B*	○	19回	1次系ボルト機器検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		5.簡易点検 (ボルト)	高	52W	—	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検 (電動機)	高	130W	—	16回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		5.簡易点検 (電動機)	高	52W	—	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.開放点検	高	130W	—	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA13の反映																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		2.非接触式試験	高	130W	—	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.潤滑油試験	高・低	B	—	19回	1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	13W~200W	○	19回	1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検	低	75W~200W	○	19回	1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ	高・低 ①	65W~195W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	52W~182W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.簡易点検	高	13W~182W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.分解点検他	高	13W~130W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.機能・性能試験	高	HP	○	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA14の反映																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		2.分解点検	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		5.簡易点検 (ボルト)	高	52W	—	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	52W	○	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検	高	130W	—	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		5.簡易点検 (電動機)	高	52W	—	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定例回次）	検査名	備考 (1) 内容は通じる設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】	制御用出力制御器	1.開放点検	高	130W	—	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA13の反映																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		2.非接触式試験	高	130W	—	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.潤滑油試験	高・低	B	—	19回	1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	13W~200W	○	19回	1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検	低	75W~200W	○	19回	1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ	高・低 ①	65W~195W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	52W~182W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.簡易点検	高	13W~182W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.分解点検他	高	13W~130W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.機能・性能試験	高	HP	○	19回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：1.2回） 有効性評価：NA6の反映																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		2.分解点検	高	B*	○	19回	1次系ボルト機器検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		5.簡易点検 (ボルト)	高	52W	—	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	52W	○	16回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検 (電動機)	高	130W	—	16回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		5.簡易点検 (電動機)	高	52W	—	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.開放点検	高	130W	—	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA14の反映																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		2.非接触式試験	高	130W	—	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.潤滑油試験	高・低	B	—	19回	1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	13W~200W	○	19回	1次系弁検査 1次系油圧弁検査 1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検	低	75W~200W	○	19回	1次系油圧弁検査 1次系油圧弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (ラジエーターハンズキープレ	高・低 ①	65W~195W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.機能・性能試験	高・低	B	○	19回	1次系弁検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	52W~182W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.簡易点検	高	13W~182W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.分解点検他	高	13W~130W	○	19回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	原子炉炉心系統監視 【化学体積制御設備】 その他他機器	1.機能・性能試験	高	HP	○	18回	—	B*: ボルトまたは電動機の方針検査を含む（実施頻度：0回） 有効性評価：NA14の反映																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		2.分解点検	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検 (ボルト)	高	52W	○	16回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		5.簡易点検 (ボルト)	高	52W	—	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ボルト機器検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		2.分解点検	高	52W	○	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		3.分解点検	高	130W	—	18回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.簡易点検 (潤滑油入替)	高	20W	○	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		5.簡易点検 (電動機)	高	52W	—	17回	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更前	変更後	変更理由																																	
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="98 252 293 448"> 機器又は系統名 原子炉設備系総括設備 【原子炉補機系総括機】 </td> <td data-bbox="98 448 293 762"> 実施数（機器名） C原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 1台 </td> <td data-bbox="98 762 293 906"> 点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機） </td> <td data-bbox="98 906 293 1002"> 保全の重要度 高 </td> <td data-bbox="98 1002 293 1098"> 保全方式又は頻度 B* 52回 </td> <td data-bbox="98 1098 293 1161"> 今回の実施計画 ○ </td> <td data-bbox="98 1161 293 1257"> 前回実施時期（定例回次） 18回 </td> <td data-bbox="98 1257 293 1353"> 検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検 </td> <td data-bbox="98 1353 293 1495"> 備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映 同*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="293 252 488 448"> 機器又は系統名 原子炉補機系総括設備 【原子炉補機系総括機】 </td> <td data-bbox="293 448 488 762"> 実施数（機器名） D原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 2台 </td> <td data-bbox="293 762 488 906"> 点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機） </td> <td data-bbox="293 906 488 1002"> 保全の重要度 高 </td> <td data-bbox="293 1002 488 1098"> 保全方式又は頻度 B* 52回 </td> <td data-bbox="293 1098 488 1161"> 今回の実施計画 ○ </td> <td data-bbox="293 1161 488 1257"> 検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検 </td> <td data-bbox="293 1353 488 1495"> 備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映 </td> </tr> </table>	機器又は系統名 原子炉設備系総括設備 【原子炉補機系総括機】	実施数（機器名） C原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 1台	点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機）	保全の重要度 高	保全方式又は頻度 B* 52回	今回の実施計画 ○	前回実施時期（定例回次） 18回	検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検	備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映 同*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映	機器又は系統名 原子炉補機系総括設備 【原子炉補機系総括機】	実施数（機器名） D原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 2台	点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機）	保全の重要度 高	保全方式又は頻度 B* 52回	今回の実施計画 ○	検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検	備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="972 252 1167 448"> 機器又は系統名 原子炉設備系総括設備 【原子炉補機系総括機】 </td> <td data-bbox="972 448 1167 762"> 実施数（機器名） C原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 2台 </td> <td data-bbox="972 762 1167 906"> 点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機） </td> <td data-bbox="972 906 1167 1002"> 保全の重要度 高 </td> <td data-bbox="972 1002 1167 1098"> 保全方式又は頻度 B* 52回 </td> <td data-bbox="972 1098 1167 1161"> 今回の実施計画 ○ </td> <td data-bbox="972 1161 1167 1257"> 検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検 </td> <td data-bbox="972 1353 1167 1495"> 備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 252 1361 448"> 機器又は系統名 原子炉設備系総括設備 【原子炉補機系総括機】 </td> <td data-bbox="1167 448 1361 762"> 実施数（機器名） D原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 2台 </td> <td data-bbox="1167 762 1361 906"> 点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機） </td> <td data-bbox="1167 906 1361 1002"> 保全の重要度 高 </td> <td data-bbox="1167 1002 1361 1098"> 保全方式又は頻度 B* 52回 </td> <td data-bbox="1167 1098 1361 1161"> 今回の実施計画 ○ </td> <td data-bbox="1167 1161 1361 1257"> 検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検 </td> <td data-bbox="1167 1353 1361 1495"> 備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映 </td> </tr> </table>	機器又は系統名 原子炉設備系総括設備 【原子炉補機系総括機】	実施数（機器名） C原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 2台	点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機）	保全の重要度 高	保全方式又は頻度 B* 52回	今回の実施計画 ○	検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検	備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映	機器又は系統名 原子炉設備系総括設備 【原子炉補機系総括機】	実施数（機器名） D原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 2台	点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機）	保全の重要度 高	保全方式又は頻度 B* 52回	今回の実施計画 ○	検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検	備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映	<p>① 保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更。（備考欄に関連事項の追記）</p> <p>② 記載の適正化（先行で実施するため、記載を追加）</p> <p>③ 振動診断周期見直しに伴う変更</p>
機器又は系統名 原子炉設備系総括設備 【原子炉補機系総括機】	実施数（機器名） C原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 1台	点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機）	保全の重要度 高	保全方式又は頻度 B* 52回	今回の実施計画 ○	前回実施時期（定例回次） 18回	検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検	備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映 同*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映																											
機器又は系統名 原子炉補機系総括設備 【原子炉補機系総括機】	実施数（機器名） D原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 2台	点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機）	保全の重要度 高	保全方式又は頻度 B* 52回	今回の実施計画 ○	検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検	備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映																												
機器又は系統名 原子炉設備系総括設備 【原子炉補機系総括機】	実施数（機器名） C原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 2台	点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機）	保全の重要度 高	保全方式又は頻度 B* 52回	今回の実施計画 ○	検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検	備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映																												
機器又は系統名 原子炉設備系総括設備 【原子炉補機系総括機】	実施数（機器名） D原子炉補機系総括機ボンプ・電動機 2台	点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 2.分解点検（ボンプ） 3.分解点検（電動機） 4.簡易点検（潤滑油入替）（ボンプ） 5.簡易点検（潤滑油入替）（電動機）	保全の重要度 高	保全方式又は頻度 B* 52回	今回の実施計画 ○	検査名 1.一次系ボンプ機能検査 2.一次系緊急降圧弁検査 3.一次系緊急機器検査 4.一次系緊急機器検査 5.潤滑油点検 6.潤滑油点検	備考 () 内容に用いる B*：ボンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施（振動診断：6回） 有効性評価 N1.3の反映 有効性評価 N1.4の反映																												

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更前		変更後	
機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び交換の項目	保全の重要性
原子炉圧力容器系統監視装置 【原子炉機械設備木造棟】 【蒸気タービンの附属設備】	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・中
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・中
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	

変更前		変更後	
機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び交換の項目	保全の重要性
原子炉圧力容器系統監視装置 【原子炉機械設備木造棟】 【蒸気タービンの附属設備】	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高
	原子炉圧力容器系統監視装置 木造棟	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高

- ① 保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更（備考欄に関連事項の追記）
- ② 振動診断周期見直しに伴う変更

設管理の実施に関する計画の変更 (別紙 点検計画)

変更前	変更後	変更理由																																																						
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="91 231 336 446"> <p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p> </td> <td data-bbox="91 446 336 1495"> <p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p> </td> <td data-bbox="336 231 974 446"> <p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p> </td> <td data-bbox="336 446 974 638"> <p>保全の重要性</p> <p>低</p> </td> <td data-bbox="336 638 974 798"> <p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p> </td> <td data-bbox="336 798 974 957"> <p>今回の実施計画</p> <p>—</p> </td> <td data-bbox="336 957 974 1117"> <p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p> </td> <td data-bbox="336 1117 974 1276"> <p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p> </td> <td data-bbox="336 1276 974 1495"> <p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 231 672 446"> <p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p> </td> <td data-bbox="336 446 672 1495"> <p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p> </td> <td data-bbox="336 231 672 446"> <p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p> </td> <td data-bbox="336 446 672 638"> <p>保全の重要性</p> <p>低</p> </td> <td data-bbox="336 638 672 798"> <p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p> </td> <td data-bbox="336 798 672 957"> <p>今回の実施計画</p> <p>—</p> </td> <td data-bbox="336 957 672 1117"> <p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p> </td> <td data-bbox="336 1117 672 1276"> <p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p> </td> <td data-bbox="336 1276 672 1495"> <p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="672 231 974 446"> <p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p> </td> <td data-bbox="672 446 974 1495"> <p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 B 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p> </td> <td data-bbox="672 231 974 446"> <p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p> </td> <td data-bbox="672 446 974 638"> <p>保全の重要性</p> <p>低</p> </td> <td data-bbox="672 638 974 798"> <p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p> </td> <td data-bbox="672 798 974 957"> <p>今回の実施計画</p> <p>—</p> </td> <td data-bbox="672 957 974 1117"> <p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p> </td> <td data-bbox="672 1117 974 1276"> <p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p> </td> <td data-bbox="672 1276 974 1495"> <p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p> </td> </tr> </table>	<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>	<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>	<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 B 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="974 231 1232 446"> <p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p> </td> <td data-bbox="974 446 1232 1495"> <p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p> </td> <td data-bbox="1232 231 1854 446"> <p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p> </td> <td data-bbox="1232 446 1854 638"> <p>保全の重要性</p> <p>低</p> </td> <td data-bbox="1232 638 1854 798"> <p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p> </td> <td data-bbox="1232 798 1854 957"> <p>今回の実施計画</p> <p>—</p> </td> <td data-bbox="1232 957 1854 1117"> <p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p> </td> <td data-bbox="1232 1117 1854 1276"> <p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p> </td> <td data-bbox="1232 1276 1854 1495"> <p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1232 231 1456 446"> <p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p> </td> <td data-bbox="1232 446 1456 1495"> <p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 B 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p> </td> <td data-bbox="1232 231 1456 446"> <p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p> </td> <td data-bbox="1232 446 1456 638"> <p>保全の重要性</p> <p>低</p> </td> <td data-bbox="1232 638 1456 798"> <p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p> </td> <td data-bbox="1232 798 1456 957"> <p>今回の実施計画</p> <p>—</p> </td> <td data-bbox="1232 957 1456 1117"> <p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p> </td> <td data-bbox="1232 1117 1456 1276"> <p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p> </td> <td data-bbox="1232 1276 1456 1495"> <p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1456 231 1680 446"> <p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p> </td> <td data-bbox="1456 446 1680 1495"> <p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p> </td> <td data-bbox="1456 231 1680 446"> <p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p> </td> <td data-bbox="1456 446 1680 638"> <p>保全の重要性</p> <p>低</p> </td> <td data-bbox="1456 638 1680 798"> <p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p> </td> <td data-bbox="1456 798 1680 957"> <p>今回の実施計画</p> <p>—</p> </td> <td data-bbox="1456 957 1680 1117"> <p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p> </td> <td data-bbox="1456 1117 1680 1276"> <p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p> </td> <td data-bbox="1456 1276 1680 1495"> <p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p> </td> </tr> </table>	<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>	<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 B 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>	<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>	<p>① 記載の適正化 (点検周期及び点検方法変更により、簡略点検を追加)</p> <p>② 保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更 (備考欄に関連事項の追記)</p> <p>③ 振動診断周期見直しに伴う変更</p>
<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>																																																
<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>																																																
<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 B 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>																																																
<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>																																																
<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 B 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>																																																
<p>機器又は系統名</p> <p>引調制御系統機器 [1.工学的安全確認等の作動停止]</p>	<p>実施数 (機器名)</p> <p>3 4 A 1 1 次系補給水ポンプ・電動機</p>	<p>点検及び試験の項目</p> <p>1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (電動機・性能試験 (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ) (注:ポンプ)</p>	<p>保全の重要性</p> <p>低</p>	<p>保全方式又は頻度</p> <p>B*</p>	<p>今回の実施計画</p> <p>—</p>	<p>前回の実施時期 (定検回次)</p> <p>13回</p>	<p>検査名</p> <p>1次系ポンプ機能検査</p>	<p>備考</p> <p>() 内は適用する 分検点検に於いて「点検」 (振動診断: 30) 先行実施</p>																																																

設管理の実施に関する計画の変更(別紙 点検計画)

変更前

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (1) 1回未満は適用する設備試験技術 16回連続定検時に設置
計測制御系統施設 【制御用空気設備】	1式	1.機能・性能試験	高・中	HF	○	158回	1次系弁検査	16回連続定検時に設置
		2.分解点検			○	158回	1次系弁検査	
		3.簡易点検			○	158回	1次系弁検査	
		2.分解点検他			○	158回	1次系弁検査	
計測制御系統施設 【その他設備】	1式	1.機能・性能試験	高・中	13M	○	158回	安全保護系設定確認検査	
		2.分解析点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		3.簡易点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		4.分解析点検他			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		1.特性試験			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		2.分解析点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		3.簡易点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		4.分解析点検他			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		1.機能・性能試験			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		2.分解析点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		3.簡易点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
4.分解析点検他	○	158回	安全保護系設定確認検査					
1.特性試験	○	158回	安全保護系設定確認検査					
2.分解析点検	○	158回	安全保護系設定確認検査					
3.簡易点検	○	158回	安全保護系設定確認検査					
4.分解析点検他	○	158回	安全保護系設定確認検査					

(22/52)

変更後

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (1) 1回未満は適用する設備試験技術 16回連続定検時に設置
計測制御系統施設 【制御用空気設備】	1式	1.機能・性能試験	高・中	HF	○	158回	安全保護系設定確認検査	
		2.分解析点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		3.簡易点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		4.分解析点検他			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		1.特性試験			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		2.分解析点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		3.簡易点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		4.分解析点検他			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		1.機能・性能試験			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		2.分解析点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		3.簡易点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		4.分解析点検他			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		1.特性試験			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		2.分解析点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		3.簡易点検			○	158回	安全保護系設定確認検査	
		4.分解析点検他			○	158回	安全保護系設定確認検査	

(22/52)

変更理由

保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更(備考欄に関連事項の追記)

設管理の実施に関する計画の変更(別紙 点検計画)

変更前		変更後		変更理由																																																																																																															
<table border="1"> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>機種名(機種名)</th> <th>点検及び交換の項目</th> <th>保全の重要度</th> <th>保全方式又は頻度</th> <th>今回の実施計画</th> <th>前回の実施時期(定例回数)</th> <th>機種名</th> <th>備考 ()内は適用する設備診断技術)</th> </tr> <tr> <td>計測制御系統施設 【その他設備】</td> <td>戸内計装用コンプレクチュア</td> <td>1. 特種交換 2. 分断点検 3. 備品点検(プラグ・バックアップ取替)</td> <td>高</td> <td>78H</td> <td>—</td> <td>18回</td> <td>戸内計装用コンプレクチュア 本体検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">放射線作業物の産業施設 【その他設備】</td> <td>総合インターロック・原子炉トリップ監視装置(原子炉・タービン・発電機・トリップ)・発電機トリップ信号</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>原子炉の停止制御関連性能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>中央制御室外の原子炉の停止制御回路</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>原子炉の停止制御関連性能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>恒設代替圧注本構築電線</td> <td>1. 特種交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器本構築電線</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器本構築電線</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器本構築電線</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器本構築電線</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器本構築電線</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器本構築電線</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器本構築電線</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器本構築電線</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器本構築電線</td> <td>1. 機能・性能交換</td> <td>高</td> <td>130H</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>圧注システム監視装置機能検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術)</td> </tr> </table>	機器又は系統名	機種名(機種名)	点検及び交換の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期(定例回数)	機種名	備考 ()内は適用する設備診断技術)	計測制御系統施設 【その他設備】	戸内計装用コンプレクチュア	1. 特種交換 2. 分断点検 3. 備品点検(プラグ・バックアップ取替)	高	78H	—	18回	戸内計装用コンプレクチュア 本体検査	()内は適用する設備診断技術)	放射線作業物の産業施設 【その他設備】	総合インターロック・原子炉トリップ監視装置(原子炉・タービン・発電機・トリップ)・発電機トリップ信号	1. 機能・性能交換	高	IF	○	18回	原子炉の停止制御関連性能検査	()内は適用する設備診断技術)	中央制御室外の原子炉の停止制御回路	1. 機能・性能交換	高	IF	○	18回	原子炉の停止制御関連性能検査	()内は適用する設備診断技術)	恒設代替圧注本構築電線	1. 特種交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)
機器又は系統名	機種名(機種名)	点検及び交換の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期(定例回数)	機種名	備考 ()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
計測制御系統施設 【その他設備】	戸内計装用コンプレクチュア	1. 特種交換 2. 分断点検 3. 備品点検(プラグ・バックアップ取替)	高	78H	—	18回	戸内計装用コンプレクチュア 本体検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
放射線作業物の産業施設 【その他設備】	総合インターロック・原子炉トリップ監視装置(原子炉・タービン・発電機・トリップ)・発電機トリップ信号	1. 機能・性能交換	高	IF	○	18回	原子炉の停止制御関連性能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	中央制御室外の原子炉の停止制御回路	1. 機能・性能交換	高	IF	○	18回	原子炉の停止制御関連性能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	恒設代替圧注本構築電線	1. 特種交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											
	可搬型格納容器本構築電線	1. 機能・性能交換	高	130H	○	18回	圧注システム監視装置機能検査	()内は適用する設備診断技術)																																																																																																											

 | 機器又は系統名 | 機種名(機種名) | 点検及び交換の項目 | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回の実施時期(定例回数) | 機種名 | 備考
()内は適用する設備診断技術) | |------------------------|--|---|--------|----------|---------|---------------|-----------------------|------------------------| | 計測制御系統施設
【その他設備】 | 戸内計装用コンプレクチュア | 1. 特種交換
2. 分断点検
3. 備品点検(プラグ・バックアップ取替) | 高 | 78H | — | 18回 | 戸内計装用コンプレクチュア
本体検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | 放射線作業物の産業施設
【その他設備】 | 総合インターロック・原子炉トリップ監視装置(原子炉・タービン・発電機・トリップ)・発電機トリップ信号 | 1. 機能・性能交換 | 高 | IF | ○ | 18回 | 原子炉の停止制御関連性能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 中央制御室外の原子炉の停止制御回路 | 1. 機能・性能交換 | 高 | IF | ○ | 18回 | 原子炉の停止制御関連性能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 恒設代替圧注本構築電線 | 1. 特種交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 可搬型格納容器本構築電線 | 1. 機能・性能交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 可搬型格納容器本構築電線 | 1. 機能・性能交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 可搬型格納容器本構築電線 | 1. 機能・性能交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 可搬型格納容器本構築電線 | 1. 機能・性能交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 可搬型格納容器本構築電線 | 1. 機能・性能交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 可搬型格納容器本構築電線 | 1. 機能・性能交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 可搬型格納容器本構築電線 | 1. 機能・性能交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 可搬型格納容器本構築電線 | 1. 機能・性能交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | | 可搬型格納容器本構築電線 | 1. 機能・性能交換 | 高 | 130H | ○ | 18回 | 圧注システム監視装置機能検査 | ()内は適用する設備診断技術) | | 保安の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更(備考欄に関連事項の追記) |

設管理の実施に関する計画の変更 (別紙 点検計画)

変更理由

振動診断周期見直しに伴う変更

変更前

機器又は系統名	実施数 (機器台)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は相違	今回の実施計画	前回の実施時期 (定回回数)	検査名	備考 (1)内が適用する設備数(台数)	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	放射線モニタリング区域エリアモニタ	3R-2	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	放射化学モニタリングエリアモニタ	3R-3	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	入浴エリアモニタリングエリアモニタ	3R-14	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	出浴エリアモニタリングエリアモニタ	3R-18	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	風呂エリアモニタリングエリアモニタ	3R-4C	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-5	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-1C	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-4C	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-4	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-7	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-8	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-11	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-12	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	緊急時対策用可搬型エリアモニタ	2台	1. 特性試験	高	1Y	○	159回	放射線監視装置機能検査	
	可搬式使用済燃料エリアモニタ	3台	1. 特性試験	高	13M	○	189回	放射線監視装置機能検査	
モニタリングシステム	1式	1. 特性試験	低	13M	○	189回	放射線監視装置機能検査		
可搬式モニタリングシステム	5台	1. 特性試験	高	1Y	○	189回	放射線監視装置機能検査		
可搬式モニタリングシステム	11台	1. 特性試験	低	1Y	○	189回	放射線監視装置機能検査		
放射線管理施設【放射線管理用計測装置】その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M	○	189回	放射線監視装置機能検査		
中央制御室非常用備蓄系		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. ハンパ/駆動部等含む	高	IF	○	189回	中央制御室非常用備蓄系機能検査		
A中央制御室非常用備蓄システム・電動機		1. 分解点検	高	91M	○	189回	中央制御室非常用備蓄システム		
B中央制御室非常用備蓄システム・電動機		1. 分解点検 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	78M	○	17回	中央制御室非常用備蓄システム		
中央制御室非常用備蓄システムユニット	1系列	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	IF	○	189回	中央制御室非常用備蓄システム		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	91M	○	17回	中央制御室非常用備蓄システム		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	78M	○	17回	中央制御室非常用備蓄システム		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	IF	○	189回	中央制御室非常用備蓄システム		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	200M	○	17回	中央制御室非常用備蓄システム		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	X*	○	17回	中央制御室非常用備蓄システム		

(29/52)

変更後

機器又は系統名	実施数 (機器台)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は相違	今回の実施計画	前回の実施時期 (定回回数)	検査名	備考 (1)内が適用する設備数(台数)	
放射線管理施設 【検査設備】	放射線モニタリング区域エリアモニタ	3R-2	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	放射化学モニタリングエリアモニタ	3R-3	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	入浴エリアモニタリングエリアモニタ	3R-14	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	出浴エリアモニタリングエリアモニタ	3R-18	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	風呂エリアモニタリングエリアモニタ	3R-4C	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-5	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-1C	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-4C	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-4	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-7	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-8	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-11	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料エリアモニタ	3R-12	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
	緊急時対策用可搬型エリアモニタ	2台	1. 特性試験	高	1Y	○	19回	放射線監視装置機能検査	
	可搬式使用済燃料エリアモニタ	3台	1. 特性試験	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査	
モニタリングシステム	1式	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査		
可搬式モニタリングシステム	5台	1. 特性試験	高	1Y	○	19回	放射線監視装置機能検査		
可搬式モニタリングシステム	17台	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査		
移動式モニタリング設備	1台	1. 特性試験	低	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査		
放射線管理施設【放射線管理用計測装置】その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M	○	19回	放射線監視装置機能検査		
中央制御室非常用備蓄系		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. ハンパ/駆動部等含む	高	IF	○	19回	中央制御室非常用備蓄系機能検査		
A中央制御室非常用備蓄システム・電動機		1. 分解点検	高	91M	○	18回	中央制御室非常用備蓄システム		
B中央制御室非常用備蓄システム・電動機		1. 分解点検 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	78M	○	18回	中央制御室非常用備蓄システム		
中央制御室非常用備蓄システムユニット	1系列	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	IF	○	19回	中央制御室非常用備蓄システム		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	X*	○	18回	中央制御室非常用備蓄システム		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	IF	○	19回	中央制御室非常用備蓄システム		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	200M	○	18回	中央制御室非常用備蓄システム		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. (ハンパ)	高	X*	○	18回	中央制御室非常用備蓄システム		

(30/52)

設管理の実施に関する計画の変更 (別紙 点検計画)

変更理由

振動診断周期見直しに伴う
変更

変更後

機器又は系統名	実施機 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回の実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ()内は適用する 点検診断回数
放料機管理用振設 【換気設備】	A 放料機管理用空冷化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	○	19回	1次系換気空調設備検査	()内は適用する 点検診断回数
		2. 劣化点検		130M	—	13回		
		3. フランジ 点検		63M	—	18回		
		1. 機能・性能試験	低	IF	○	19回	1次系換気空調設備検査	
		2. 劣化点検		130M	—	17回		
		3. 劣化点検		63M	—	18回		
		A 中央制御室換機ファン・電動機	高	IF	○	19回	1次系換気空調設備検査	
		2. 劣化点検		73M	—	17回		
		3. 劣化点検		73M	—	17回		
		B 中央制御室換機ファン・電動機	高	IF	○	19回	1次系換気空調設備検査	
		2. 劣化点検		73M	—	16回		
		3. 劣化点検		73M	—	16回		
A 中央制御室空調ファン・電動機	高	IF	○	19回	1次系換気空調設備検査			
2. 劣化点検		91M	—	18回				
3. 劣化点検		CBM	—	18回				
B 中央制御室空調ファン・電動機	高	IF	○	19回	1次系換気空調設備検査			
1. 機能・性能試験		IF	○	19回	1次系換気空調設備検査			
2. 劣化点検		130M	—	17回				
3. 劣化点検		CBM	—	17回				
3 4 B 放料機管理用空冷化ファン・電動機	低	IF	○	19回	1次系換気空調設備検査			
1. 機能・性能試験		IF	○	19回	1次系換気空調設備検査			
2. 劣化点検		130M	—	18回				
3. 劣化点検		CBM	—	18回				

(31/52)

変更前

機器又は系統名	実施機 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回の実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ()内は適用する 点検診断回数
放料機管理用振設 【換気設備】	A 放料機管理用空冷化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	○	13回	1次系換気空調設備検査	()内は適用する 点検診断回数
		2. フランジ 点検		130M	—	13回		
		3. 劣化点検		63M	—	13回		
		1. 機能・性能試験	低	IF	○	13回	1次系換気空調設備検査	
		2. 劣化点検		63M	—	17回		
		3. 劣化点検		63M	—	17回		
		A 中央制御室換機ファン・電動機	高	IF	○	13回	1次系換気空調設備検査	
		2. 劣化点検		91M	—	13回		
		3. 劣化点検		CBM	—	13回		
		B 中央制御室換機ファン・電動機	高	IF	○	13回	1次系換気空調設備検査	
		1. 機能・性能試験		IF	○	13回	1次系換気空調設備検査	
		2. 劣化点検		91M	—	17回		
3. 劣化点検		CBM	—	17回				
3 4 A 放料機管理用空冷化ファン・電動機	低	IF	○	13回	1次系換気空調設備検査			
1. 機能・性能試験		IF	○	13回	1次系換気空調設備検査			
2. 劣化点検		130M	—	17回				
3. 劣化点検		CBM	—	17回				
A 中央制御室空調ファン・電動機	高	IF	○	13回	1次系換気空調設備検査			
1. 機能・性能試験		IF	○	13回	1次系換気空調設備検査			
2. 劣化点検		91M	—	13回				
3. 劣化点検		CBM	—	13回				
B 中央制御室空調ファン・電動機	高	IF	○	13回	1次系換気空調設備検査			
1. 機能・性能試験		IF	○	13回	1次系換気空調設備検査			
2. 劣化点検		91M	—	17回				
3. 劣化点検		CBM	—	17回				
3 4 B 放料機管理用空冷化ファン・電動機	低	IF	○	13回	1次系換気空調設備検査			
1. 機能・性能試験		IF	○	13回	1次系換気空調設備検査			
2. 劣化点検		130M	—	13回				
3. 劣化点検		CBM	—	13回				

(31/52)

設管理の実施に関する計画の変更 (別紙 点検計画)

変更前		変更後		変更理由																																																																																																																																																																																																																																						
<table border="1"> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>実機数 (機器名)</th> <th>点検及び点検の項目</th> <th>保安の重要性</th> <th>保安方式又は種別</th> <th>今回の実施計画</th> <th>前回の実施時期 (定検回数)</th> <th>検査名</th> <th>備考 ()内は適用する設備診断技術</th> </tr> <tr> <td rowspan="15"> 放射線管理施設 [換気設備] </td> <td rowspan="15"> 34ホットワーク非汚染ゾーン・電動機 </td> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>低</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>低</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>14回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>14回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> </table>	機器又は系統名	実機数 (機器名)	点検及び点検の項目	保安の重要性	保安方式又は種別	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	放射線管理施設 [換気設備]	34ホットワーク非汚染ゾーン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	低	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	低	B	○	14回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	14回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	<table border="1"> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>実機数 (機器名)</th> <th>点検及び点検の項目</th> <th>保安の重要性</th> <th>保安方式又は種別</th> <th>今回の実施計画</th> <th>前回の実施時期 (定検回数)</th> <th>検査名</th> <th>備考 ()内は適用する設備診断技術</th> </tr> <tr> <td rowspan="15"> 放射線管理施設 [換気設備] </td> <td rowspan="15"> 34ホットワーク非汚染ゾーン・電動機 </td> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>低</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>低</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>14回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>14回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>点検機分解時、分解点検を実施</td> </tr> <tr> <td>1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検</td> <td>高</td> <td>IF</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>1次系統空気調製設備検査</td> <td>()内は適用する設備診断技術</td> </tr> </table>	機器又は系統名	実機数 (機器名)	点検及び点検の項目	保安の重要性	保安方式又は種別	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	放射線管理施設 [換気設備]	34ホットワーク非汚染ゾーン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	低	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	低	B	○	14回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	14回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術	<p>① 記載の適正化 (台数適正化、先行で実施するため記載を追加)</p> <p>② 記載の適正化 (B機同様、電動機取替の追加)</p> <p>③ 振動診断周期見直しに伴う変更</p>
機器又は系統名	実機数 (機器名)	点検及び点検の項目	保安の重要性	保安方式又は種別	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
放射線管理施設 [換気設備]	34ホットワーク非汚染ゾーン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	低	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	低	B	○	14回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	14回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
機器又は系統名	実機数 (機器名)	点検及び点検の項目	保安の重要性	保安方式又は種別	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
放射線管理施設 [換気設備]	34ホットワーク非汚染ゾーン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	低	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	低	B	○	14回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	14回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	点検機分解時、分解点検を実施																																																																																																																																																																																																																																		
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分極点検	高	IF	○	18回	1次系統空気調製設備検査	()内は適用する設備診断技術																																																																																																																																																																																																																																		

設管理の実施に関する計画の変更 (別紙 点検計画)

変更前

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今日の実施計画	前回の実施時期 (定例回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備等を指す
燃料格納容器 【換気設備】	自動ファン	1. 運転・性能試験 (運転部を含む) 2. 分解点検	高・低	IF	○	18回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
	自動ファン駆動部	1. 分解点検 2. 簡易点検	高・低	52M~182M 13M~182M	○	18回 17回		一部先行実施
	燃料格納容器換気【換気設備】 その他の弁	1. 運転・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 4. 簡易点検 5. 簡易点検 6. 簡易点検 7. 簡易点検	高・低	52M~182M 13M~182M 13M~182M 13M~182M 13M~182M	○ ○ ○ ○ ○ ○	18回 18回 18回 18回 18回 18回		一部先行実施
燃料格納容器換気【換気設備】 その他の弁	1. 運転・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 4. 簡易点検 5. 簡易点検 6. 簡易点検 7. 簡易点検	高・低	52M~182M 13M~182M 13M~182M 13M~182M 13M~182M	○ ○ ○ ○ ○ ○	18回 18回 18回 18回 18回 18回		一部先行実施	
燃料格納容器換気【換気設備】 【生体液装置】	中央制御室	1. 運転・性能試験 2. 簡易点検	高	6Y	—	16回	中央制御室の居住性能設備検査	② ①回検査定例から実施
	緊急時対策弁	1. 特性試験	高	1Y	○	18回	緊急時対策弁の居住性能設備検査	② ①回検査定例から実施
燃料格納容器換気【換気設備】 【その他設備】	可燃型気体測定機	1. 特性試験	低	1Y	○	18回	計測用測気監視機能検査	() 内は適用する設備を指す
	気体測定装置	1. 特性試験	低	1Y	○	18回	計測用測気監視機能検査	業者検査停止中 16回検査定例時に設置
	原子炉格納容器	1. 簡易点検	高	3F	○	16回	原子炉格納容器至換気設備検査	業者検査停止中 16回検査定例時に設置 10年ごとに設計責任力にて実施 (16回検査定例時に設計責任力にて実施)
燃料格納容器換気【換気設備】 【原子炉格納容器】	プレスレボコックワート格納容器	1. 運転・性能試験 2. 外観点検	高	5Y	—	16回	プレスレボコックワート格納容器使用期間中検査	
	エアロコック	1. 簡易点検 2. 分解点検 3. 簡易点検 4. 簡易点検 5. 簡易点検 6. 簡易点検 7. 簡易点検	高	2,3F 52M 26M 26M 26M 26M 26M	—	16回 16回 16回 16回 16回 16回 16回	原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検	
	機器類入口	1回	高	2,3F 10Y	—	16回 16回	原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検	IS1プログラムのよる。【別表-6】

(35/62)

変更後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今日の実施計画	前回の実施時期 (定例回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備等を指す
燃料格納容器換気【換気設備】	自動ファン	1. 運転・性能試験 (運転部を含む) 2. 分解点検	高・低	IF	○	19回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
	自動ファン駆動部	1. 分解点検 2. 簡易点検	高・低	52M~182M 13M~182M	○	19回 17回		一部先行実施
	燃料格納容器換気【換気設備】 その他の弁	1. 運転・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 4. 簡易点検 5. 簡易点検 6. 簡易点検 7. 簡易点検	高・低	52M~182M 13M~182M 13M~182M 13M~182M 13M~182M	○ ○ ○ ○ ○ ○	19回 19回 19回 19回 19回 19回		一部先行実施
燃料格納容器換気【換気設備】 【生体液装置】	中央制御室	1. 運転・性能試験 2. 簡易点検	高	6Y	○	16回	中央制御室の居住性能設備検査	② ①回検査定例から実施
	緊急時対策弁	1. 特性試験	高	1Y	○	19回	緊急時対策弁の居住性能設備検査	② ①回検査定例から実施
燃料格納容器換気【換気設備】 【その他設備】	可燃型気体測定機	1. 特性試験	低	1Y	○	19回	計測用測気監視機能検査	() 内は適用する設備を指す
	気体測定装置	1. 特性試験	低	1Y	○	19回	計測用測気監視機能検査	業者検査停止中 16回検査定例時に設置
	原子炉格納容器	1. 簡易点検	高	3F	○	19回	原子炉格納容器至換気設備検査	業者検査停止中 16回検査定例時に設置 10年ごとに設計責任力にて実施 (16回検査定例時に設計責任力にて実施)
燃料格納容器換気【換気設備】 【原子炉格納容器】	プレスレボコックワート格納容器	1. 運転・性能試験 2. 外観点検	高	5Y	—	16回	プレスレボコックワート格納容器使用期間中検査	
	エアロコック	1. 簡易点検 2. 分解点検 3. 簡易点検 4. 簡易点検 5. 簡易点検 6. 簡易点検 7. 簡易点検	高	2,3F 52M 26M 26M 26M 26M 26M	—	18回 18回 18回 18回 18回 18回 18回	原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検	
	機器類入口	1回	高	2,3F 10Y	—	18回 18回	原子炉格納容器局部簡易点検 原子炉格納容器局部簡易点検	IS1プログラムのよる。【別表-6】

(38/62)

変更理由

- ① 保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更 (備考欄に関連事項の追記)
- ② 記載の適正化 (先行で実施するため、記載を追加)

設管理の実施に関する計画の変更 (別紙 点検計画)

変更理由

記載の適正化

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び点検の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉格納容器 【原子炉格納容器】	実施数 (機器名) 配管貫通部 (貫通配管停止フレンチ部) 16箇所 電線貫通部 14箇所 原子炉格納容器隔離弁 15箇所 原子炉格納容器隔離弁(T・V閉弁及びT+V閉弁) 16箇所 原子炉格納容器隔離弁(T・V閉弁) 16箇所 原子炉格納容器隔離弁(T・V閉弁) 16箇所 原子炉格納容器隔離弁 16箇所	1. 漏えい点検	高	2/3年	○	18回	原子炉格納容器高圧漏えい点検	()内は適用する設備診断技術
		2. 閉鎖点検	高	開放の回数	○	19回	原子炉格納容器高圧漏えい点検	
		3. 漏えい点検	高	2/3年	○	18回	原子炉格納容器高圧漏えい点検	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	19回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 機能・性能試験	高	520t	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	520t	○	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	520t	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130t	○	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	104t	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	104t	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130t	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130t	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130t	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	

(36/52)

変更後

変更前

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び点検の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉格納容器 【原子炉格納容器】	実施数 (機器名) 配管貫通部 (貫通配管停止フレンチ部) 6箇所 電線貫通部 14箇所 原子炉格納容器隔離弁 62箇所 原子炉格納容器隔離弁(T・V閉弁及びT+V閉弁) 16箇所 原子炉格納容器隔離弁(T・V閉弁) 16箇所 原子炉格納容器隔離弁 16箇所	1. 漏えい点検	高	2/3年	○	18回	原子炉格納容器高圧漏えい点検	()内は適用する設備診断技術
		2. 閉鎖点検	高	開放の回数	○	19回	原子炉格納容器高圧漏えい点検	
		3. 漏えい点検	高	2/3年	○	18回	原子炉格納容器高圧漏えい点検	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	18回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	18回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 分解点検	高	520t	○	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	520t	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	520t	○	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130t	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	104t	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	104t	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130t	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130t	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130t	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	

(36/52)

設管理の実施に関する計画の変更 (別紙 点検計画)

変更理由

保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更(備考欄に関連事項の追記)

変更後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び点検の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納箱施設 [原子炉格納箱]	原子炉格納箱施設内分解装置	33-CG-342	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-365	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-401	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-403	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-427	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-429	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-1A-3083A	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-1A-3088	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		1式	1. 分解点検 2. 前見点検 3. 前見点検 4. 前見点検 5. 前見点検 6. 前見点検 7. 前見点検 8. 前見点検 9. 前見点検 10. 前見点検 11. 前見点検 12. 前見点検 13. 前見点検 14. 前見点検 15. 前見点検 16. 前見点検 17. 前見点検 18. 前見点検 19. 前見点検 20. 前見点検 21. 前見点検 22. 前見点検 23. 前見点検 24. 前見点検 25. 前見点検 26. 前見点検 27. 前見点検 28. 前見点検 29. 前見点検 30. 前見点検 31. 前見点検 32. 前見点検 33. 前見点検 34. 前見点検 35. 前見点検 36. 前見点検 37. 前見点検 38. 前見点検 39. 前見点検 40. 前見点検 41. 前見点検 42. 前見点検 43. 前見点検 44. 前見点検 45. 前見点検 46. 前見点検 47. 前見点検 48. 前見点検 49. 前見点検 50. 前見点検 51. 前見点検 52. 前見点検 53. 前見点検 54. 前見点検 55. 前見点検 56. 前見点検 57. 前見点検 58. 前見点検 59. 前見点検 60. 前見点検 61. 前見点検 62. 前見点検 63. 前見点検 64. 前見点検 65. 前見点検 66. 前見点検 67. 前見点検 68. 前見点検 69. 前見点検 70. 前見点検 71. 前見点検 72. 前見点検 73. 前見点検 74. 前見点検 75. 前見点検 76. 前見点検 77. 前見点検 78. 前見点検 79. 前見点検 80. 前見点検 81. 前見点検 82. 前見点検 83. 前見点検 84. 前見点検 85. 前見点検 86. 前見点検 87. 前見点検 88. 前見点検 89. 前見点検 90. 前見点検 91. 前見点検 92. 前見点検 93. 前見点検 94. 前見点検 95. 前見点検 96. 前見点検 97. 前見点検 98. 前見点検 99. 前見点検 100. 前見点検	高・低 32M~130M	高	130回	130回		1式安全検査
		原子炉格納箱施設「原子炉格納箱」 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 (「ワン・トゥ・キープ」取組)	高・低	32M~130M	高		130回
原子炉格納箱施設「原子炉格納箱」 その他の機器	1式	1. 機能・性能試験 (「ワン・トゥ・キープ」取組)	高・低	32M~130M	高	130回	1式安全検査		

(37/52)

変更前

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び点検の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納箱施設 [原子炉格納箱]	原子炉格納箱施設内分解装置	33-CG-342	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-365	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-401	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-403	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-427	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-CG-429	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-1A-3083A	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		33-1A-3088	1. 分解点検	高	130回	130回	原子炉格納箱施設内分解装置		
		1式	1. 分解点検 2. 前見点検 3. 前見点検 4. 前見点検 5. 前見点検 6. 前見点検 7. 前見点検 8. 前見点検 9. 前見点検 10. 前見点検 11. 前見点検 12. 前見点検 13. 前見点検 14. 前見点検 15. 前見点検 16. 前見点検 17. 前見点検 18. 前見点検 19. 前見点検 20. 前見点検 21. 前見点検 22. 前見点検 23. 前見点検 24. 前見点検 25. 前見点検 26. 前見点検 27. 前見点検 28. 前見点検 29. 前見点検 30. 前見点検 31. 前見点検 32. 前見点検 33. 前見点検 34. 前見点検 35. 前見点検 36. 前見点検 37. 前見点検 38. 前見点検 39. 前見点検 40. 前見点検 41. 前見点検 42. 前見点検 43. 前見点検 44. 前見点検 45. 前見点検 46. 前見点検 47. 前見点検 48. 前見点検 49. 前見点検 50. 前見点検 51. 前見点検 52. 前見点検 53. 前見点検 54. 前見点検 55. 前見点検 56. 前見点検 57. 前見点検 58. 前見点検 59. 前見点検 60. 前見点検 61. 前見点検 62. 前見点検 63. 前見点検 64. 前見点検 65. 前見点検 66. 前見点検 67. 前見点検 68. 前見点検 69. 前見点検 70. 前見点検 71. 前見点検 72. 前見点検 73. 前見点検 74. 前見点検 75. 前見点検 76. 前見点検 77. 前見点検 78. 前見点検 79. 前見点検 80. 前見点検 81. 前見点検 82. 前見点検 83. 前見点検 84. 前見点検 85. 前見点検 86. 前見点検 87. 前見点検 88. 前見点検 89. 前見点検 90. 前見点検 91. 前見点検 92. 前見点検 93. 前見点検 94. 前見点検 95. 前見点検 96. 前見点検 97. 前見点検 98. 前見点検 99. 前見点検 100. 前見点検	高・低 32M~130M	高	130回	130回		1式安全検査
		原子炉格納箱施設「原子炉格納箱」 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 (「ワン・トゥ・キープ」取組)	高・低	32M~130M	高		130回
原子炉格納箱施設「原子炉格納箱」 その他の機器	1式	1. 機能・性能試験 (「ワン・トゥ・キープ」取組)	高・低	32M~130M	高	130回	1式安全検査		

(37/52)

設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更理由

振動診断周期見直しに伴う変更

変更後

機器又は系統名 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全の 方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回の実施時期 (定検/回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)					
A格貯留器スライドボンプ・電動機	A格貯留器スライドボンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ・電動機、弁、 電動機・圧送試験)	高	IF	○	19回	原子炉格納貯留器安全系機能検査 その他原子炉注水系統機能検査	〔対象設備〕 A格貯留器スライドボンプ による代替貯心注入系 の有効性評価					
		2. 分解点検 (電動機)							130回	—	16回	その他原子炉注水系統ボンプ分解 点検 〔振動診断〕：11回は、格納貯留器スライドボンプ による代替貯心注入系として実施 その他の原子炉注水系統ボンプ分 解検査は、16回定期検査から 決定	
		3. 簡易点検 (メカニカルコントロール取 組)(ポンプ)							130回	—	12回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							20回	○	18回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							20回	—	18回		
		1. 分解点検 (ポンプ)							130回	—	11回		原子炉格納貯留器安全系ボンプ分 解検査 〔振動診断〕：11回 は、格納貯留器スライドボ ンプ分解検査として実施
		2. 分解点検 (電動機)							130回	—	17回		
		3. 簡易点検 (メカニカルコントロール取 組)(ポンプ)							130回	—	11回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							20回	—	19回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							20回	—	19回		

(38/52)

変更前

機器又は系統名 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全の 方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回の実施時期 (定検/回次)	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)					
A格貯留器スライドボンプ・電動機	A格貯留器スライドボンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ・電動機、弁、 電動機・圧送試験)	高	IF	○	18回	原子炉格納貯留器安全系機能検査 その他原子炉注水系統機能検査	〔対象設備〕 A格貯留器スライドボンプ による代替貯心注入系 の有効性評価 Ns1807反映					
		2. 分解点検 (電動機)							130回	—	16回	その他原子炉注水系統ボンプ分 解検査 〔振動診断〕：30回 は、格納貯留器スライドボ ンプによる代替貯心注入系 として実施 その他の原子炉注水系統ボンプ分 解検査は、16回定期検査から 決定	
		3. 簡易点検 (メカニカルコントロール取 組)(ポンプ)							130回	—	12回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							20回	—	18回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							20回	—	18回		
		1. 分解点検 (ポンプ)							130回	—	11回		原子炉格納貯留器安全系ボンプ分 解検査 〔振動診断〕：30回 は、格納貯留器スライドボ ンプによる代替貯心注入系 として実施 その他の原子炉注水系統ボンプ分 解検査は、16回定期検査から 決定
		2. 分解点検 (電動機)							130回	—	17回		
		3. 簡易点検 (メカニカルコントロール取 組)(ポンプ)							130回	—	11回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							20回	○	17回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)							20回	○	17回		

(38/52)

設管理の実施に関する計画の変更 (別紙 点検計画)

変更前		変更後		変更理由																																																																																																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>実施数 (機器名)</th> <th>点検及び試験の項目</th> <th>保全の 重要性</th> <th>保全方式 又は程度</th> <th>今回の実施 計画</th> <th>今回の実施 計画 (訂正/再訂正)</th> <th>計画開始時期 (年/月/日)</th> <th>計画終了時期 (年/月/日)</th> <th>検査名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子力設備 【その他設備】</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td>(1) 内は適用する設備検査技術</td> </tr> <tr> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>2. 漏えい試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>3. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>4. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>5. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>6. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>7. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>8. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>9. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子力設備 (供用前期中検査対象)</td> <td>10. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要性	保全方式 又は程度	今回の実施 計画	今回の実施 計画 (訂正/再訂正)	計画開始時期 (年/月/日)	計画終了時期 (年/月/日)	検査名	備考	原子力設備 【その他設備】	原子力設備 (供用前期中検査対象)	1. 非破壊試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】	(1) 内は適用する設備検査技術	原子力設備 (供用前期中検査対象)	2. 漏えい試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		原子力設備 (供用前期中検査対象)	3. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		原子力設備 (供用前期中検査対象)	4. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		原子力設備 (供用前期中検査対象)	5. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		原子力設備 (供用前期中検査対象)	6. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		原子力設備 (供用前期中検査対象)	7. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		原子力設備 (供用前期中検査対象)	8. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		原子力設備 (供用前期中検査対象)	9. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		原子力設備 (供用前期中検査対象)	10. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器又は系統名</th> <th>実施数 (機器名)</th> <th>点検及び試験の項目</th> <th>保全の 重要性</th> <th>保全方式 又は程度</th> <th>今回の実施 計画</th> <th>今回の実施 計画 (訂正/再訂正)</th> <th>計画開始時期 (年/月/日)</th> <th>計画終了時期 (年/月/日)</th> <th>検査名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子力設備・タービン設備 【その他設備】</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>1. 非破壊試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td>(1) 内は適用する設備検査技術</td> </tr> <tr> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>2. 漏えい試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>3. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>4. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>5. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>6. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>7. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>8. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>9. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン機器 (供用前期中検査対象)</td> <td>10. 閉鎖試験</td> <td>高</td> <td>100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>18回</td> <td>18回</td> <td>タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要性	保全方式 又は程度	今回の実施 計画	今回の実施 計画 (訂正/再訂正)	計画開始時期 (年/月/日)	計画終了時期 (年/月/日)	検査名	備考	原子力設備・タービン設備 【その他設備】	タービン機器 (供用前期中検査対象)	1. 非破壊試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】	(1) 内は適用する設備検査技術	タービン機器 (供用前期中検査対象)	2. 漏えい試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		タービン機器 (供用前期中検査対象)	3. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		タービン機器 (供用前期中検査対象)	4. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		タービン機器 (供用前期中検査対象)	5. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		タービン機器 (供用前期中検査対象)	6. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		タービン機器 (供用前期中検査対象)	7. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		タービン機器 (供用前期中検査対象)	8. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		タービン機器 (供用前期中検査対象)	9. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		タービン機器 (供用前期中検査対象)	10. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】		<p>① 記載の適正化</p> <p>② 検査追加に伴う別表番号の繰り下げ</p> <p>③ 長期施設管理方針 No 追加</p>
機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要性	保全方式 又は程度	今回の実施 計画	今回の実施 計画 (訂正/再訂正)	計画開始時期 (年/月/日)	計画終了時期 (年/月/日)	検査名	備考																																																																																																																																																																																																																								
原子力設備 【その他設備】	原子力設備 (供用前期中検査対象)	1. 非破壊試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】	(1) 内は適用する設備検査技術																																																																																																																																																																																																																								
	原子力設備 (供用前期中検査対象)	2. 漏えい試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	原子力設備 (供用前期中検査対象)	3. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	原子力設備 (供用前期中検査対象)	4. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	原子力設備 (供用前期中検査対象)	5. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	原子力設備 (供用前期中検査対象)	6. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	原子力設備 (供用前期中検査対象)	7. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	原子力設備 (供用前期中検査対象)	8. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	原子力設備 (供用前期中検査対象)	9. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	原子力設備 (供用前期中検査対象)	10. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	原子力設備 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要性	保全方式 又は程度	今回の実施 計画	今回の実施 計画 (訂正/再訂正)	計画開始時期 (年/月/日)	計画終了時期 (年/月/日)	検査名	備考																																																																																																																																																																																																																								
原子力設備・タービン設備 【その他設備】	タービン機器 (供用前期中検査対象)	1. 非破壊試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】	(1) 内は適用する設備検査技術																																																																																																																																																																																																																								
	タービン機器 (供用前期中検査対象)	2. 漏えい試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	タービン機器 (供用前期中検査対象)	3. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	タービン機器 (供用前期中検査対象)	4. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	タービン機器 (供用前期中検査対象)	5. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	タービン機器 (供用前期中検査対象)	6. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	タービン機器 (供用前期中検査対象)	7. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	タービン機器 (供用前期中検査対象)	8. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	タービン機器 (供用前期中検査対象)	9. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									
	タービン機器 (供用前期中検査対象)	10. 閉鎖試験	高	100%	○	○	18回	18回	タービン機器 (供用前期中検査) IS1/ログラムによる。【別表-1】																																																																																																																																																																																																																									

